
熊谷市 子ども・子育て支援に関する
ニーズ調査報告書

平成31年1月

熊谷市

目 次

I. 調査の概要.....	1
II. 就学前児童調査.....	3
1. お住まいの地域について.....	4
2. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について.....	5
3. お子さんの育ちをめぐる環境について.....	7
4. 宛名のお子さんの保護者の方の就労状況について.....	12
5. 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について...	22
6. 宛名のお子さんの子育て支援事業の利用状況について.....	33
7. 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育 事業の利用希望について.....	41
8. 宛名のお子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用 する方のみ）.....	49
9. 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等 の利用について.....	56
10. すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など、家庭と職場の両立支 援制度について.....	63
III. 5歳以上児童調査.....	75
1. お住まいの地区について.....	75
2. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について.....	77
3. お子さんの育ちをめぐる環境について.....	80
4. 宛名のお子さんの保護者の方の就労状況について.....	85
5. 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望について.....	95
6. すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など、家庭と職場の両立支 援制度について.....	105

I . 調査の概要

I 調査の概要

(1) 目的

熊谷市子ども・子育て支援事業計画の策定にあたって、市民の皆様の子育てに関する生活実態やご要望・ご意見等を把握するため、ニーズ調査を実施しました。

(2) 調査期間

平成 30 年 11 月 19 日（月）～ 平成 30 年 12 月 3 日（月）

(3) 調査対象者

熊谷市内にお住まいで 0 歳から小学生のお子さんを持つ保護者の方を対象に調査を実施しました。

(4) 配布数及び回収数

	配布数	回収数	回収率
就学前児童	2,000 件	1,217 件	60.9%
5 歳以上児童	1,000 件	629 件	62.9%
計	3,000 件	1,846 件	61.5%

※「5 歳以上児童」の回収数は 631 件でしたが、2 件を無効としたため 629 件となっています。無効は 2 歳児、3 歳児を想定して回答している可能性があるため。

(5) 報告書の見方

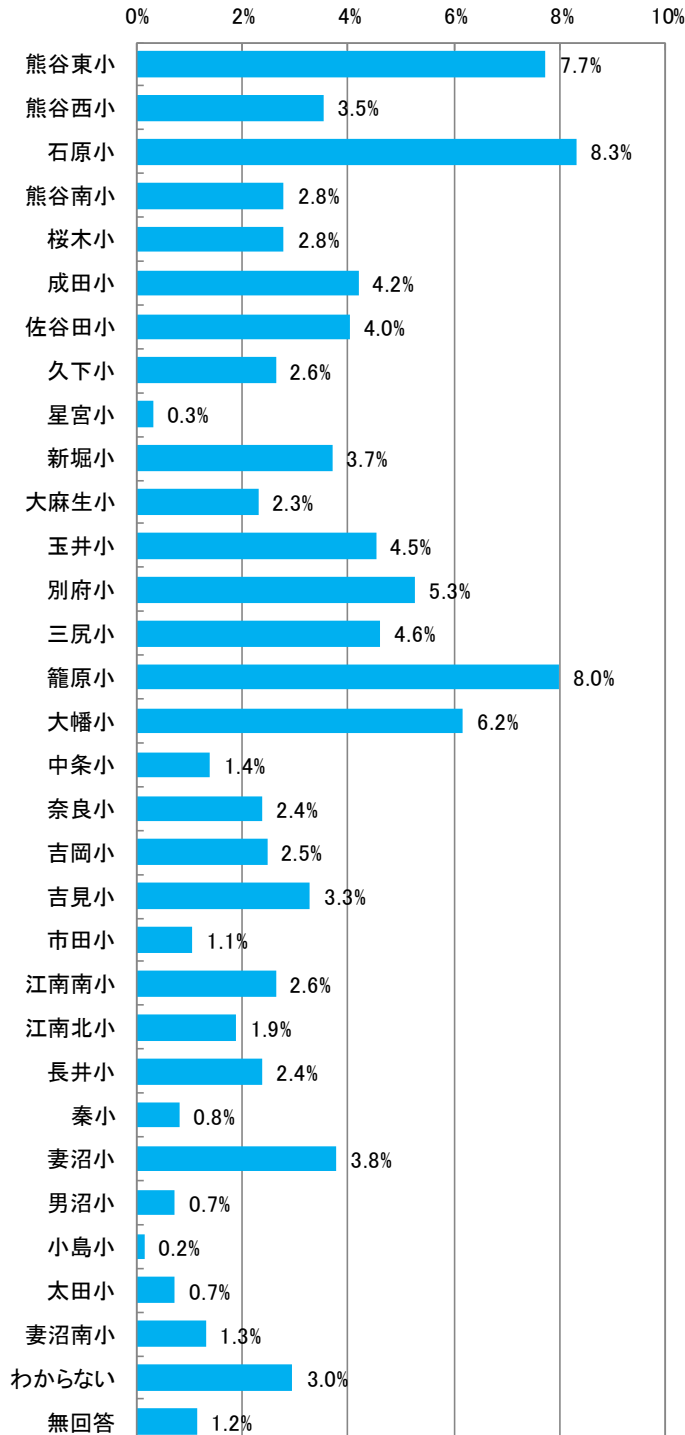
- ・本報告書では、回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱います。
- ・本報告書では、回答する必要のない箇所及び回答すべき箇所でないところを回答している場合は「非該当」として扱います。
- ・設問の構成比は、回答者数（該当設問での該当者数）を基数として百分率（％）で示している。したがって、非該当者数は、構成比に含まれません。
- ・比率は全て百分率（％）で表し、小数点以下第二位を四捨五入し算出しているため合計が 100％にならない場合があります。
- ・複数回答については、回答者数を基数として百分率（％）で示しています。したがって、合計値は 100％にならない場合もあります。

II. 就学前児童調査

1. お住まいの地域について

問1 お住まいの地区について、あてはまる小学校区名の番号1つに○をつけてください。

居住地区は、「石原小（8.3%）」、「籠原小（8.0%）」、「熊谷東小（7.7%）」の回答が高くなっています。

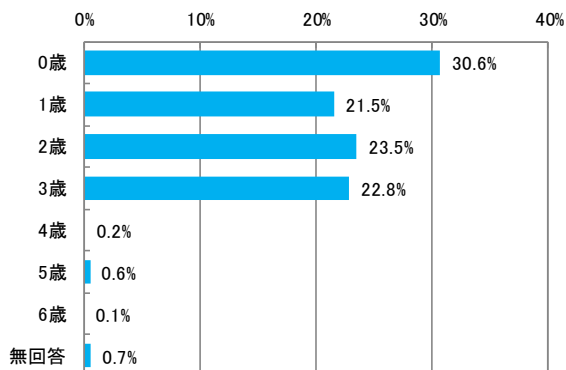


項目	度数	構成比
熊谷東小	94	7.7%
熊谷西小	43	3.5%
石原小	101	8.3%
熊谷南小	34	2.8%
桜木小	34	2.8%
成田小	51	4.2%
佐谷田小	49	4.0%
久下小	32	2.6%
星宮小	4	0.3%
新堀小	45	3.7%
大麻生小	28	2.3%
玉井小	55	4.5%
別府小	64	5.3%
三尻小	56	4.6%
籠原小	97	8.0%
大幡小	75	6.2%
中条小	17	1.4%
奈良小	29	2.4%
吉岡小	30	2.5%
吉見小	40	3.3%
市田小	13	1.1%
江南南小	32	2.6%
江南北小	23	1.9%
長井小	29	2.4%
秦小	10	0.8%
妻沼小	46	3.8%
男沼小	9	0.7%
小島小	2	0.2%
太田小	9	0.7%
妻沼南小	16	1.3%
わからない	36	3.0%
無回答	14	1.2%
回答者数	1,217	100.0%

2. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください（口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）。

子どもの年齢は、「0歳」の割合が30.6%と高く、次いで「2歳」が23.5%、「3歳」が22.8%となっています。（※年齢算出基準日：平成30年4月1日）



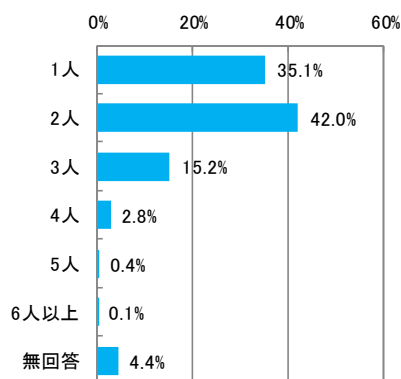
項目	度数	構成比
0歳	373	30.6%
1歳	262	21.5%
2歳	286	23.5%
3歳	278	22.8%
4歳	2	0.2%
5歳	7	0.6%
6歳	1	0.1%
無回答	8	0.7%
回答者数	1,217	100.0%

問3 宛名のお子さんの兄弟姉妹は何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

1世帯あたりの子どもの人数は、「2人」の割合が42.0%と最も高く、次いで「1人」が35.1%、「3人」が15.2%となっています。

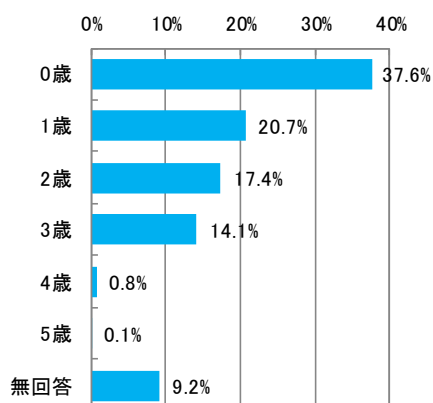
また、2人以上のきょうだいがいる世帯の末子の年齢は、「0歳」の割合が37.6%と最も高くなっています。

■きょうだいの人数



項目	度数	構成比
1人	427	35.1%
2人	511	42.0%
3人	185	15.2%
4人	34	2.8%
5人	5	0.4%
6人以上	1	0.1%
無回答	54	4.4%
回答者数	1,217	100.0%

■末子の生年月

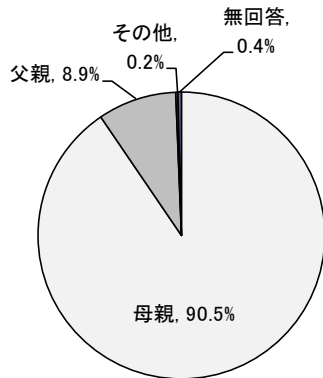


項目	度数	構成比
0歳	277	37.6%
1歳	152	20.7%
2歳	128	17.4%
3歳	104	14.1%
4歳	6	0.8%
5歳	1	0.1%
無回答	68	9.2%
回答者数	736	
非該当	481	

Ⅱ 就学前児童調査

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

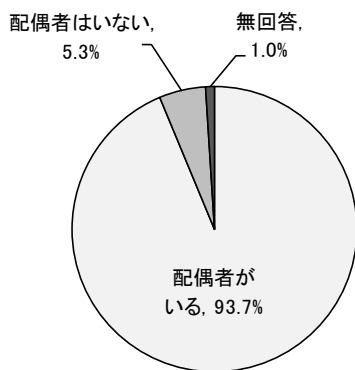
調査票の回答者は、「母親」の90.5%に対し、「父親」が8.9%となっており、「母親」の割合が大きく上回っています。



項目	度数	構成比
母親	1,101	90.5%
父親	108	8.9%
その他	3	0.2%
無回答	5	0.4%
回答者数	1,217	100.0%

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。(問4で「3. その他」と回答した方は回答不要です。)

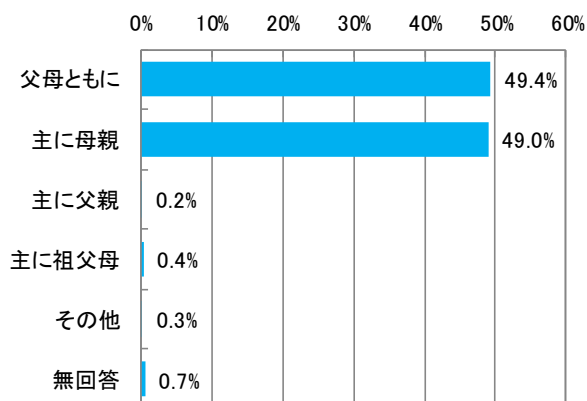
調査票の回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」の93.7%に対し、「配偶者はいない」が5.3%となっています。



項目	度数	構成比
配偶者がいる	1,133	93.7%
配偶者はいない	64	5.3%
無回答	12	1.0%
回答者数	1,209	
非該当	8	

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む。)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

子どもの子育て(教育を含む。)を主に行っているのは、「父母ともに」の割合が49.4%と高く、次いで「主に母親」が49.0%となっています。

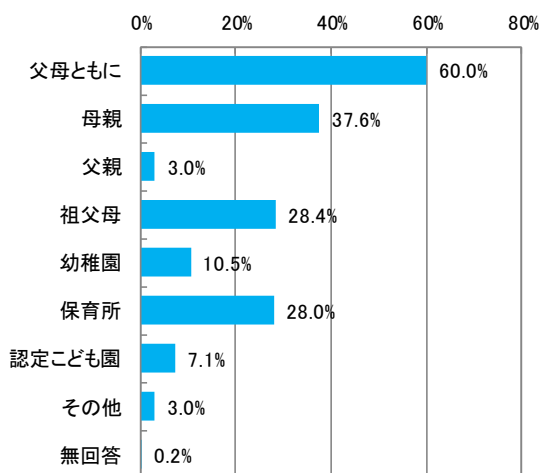


項目	度数	構成比
父母ともに	601	49.4%
主に母親	596	49.0%
主に父親	3	0.2%
主に祖父母	5	0.4%
その他	4	0.3%
無回答	8	0.7%
回答者数	1,217	100.0%

3. お子さんの育ちをめぐる環境について

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む。）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

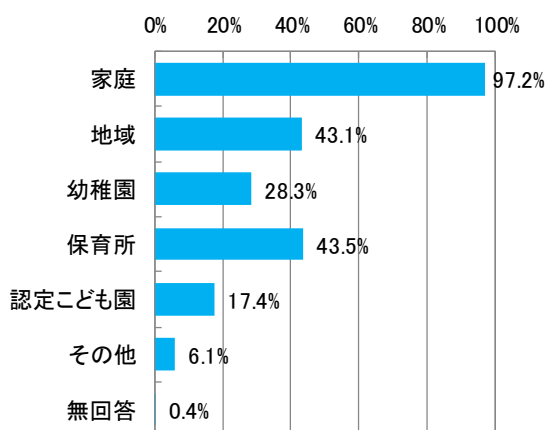
子どもの子育て（教育を含む。）に日常的に関わっている方は、「父母ともに」の割合が60.0%と最も高く、次いで「母親」が37.6%、「祖父母」が28.4%となっています。



項目	度数	構成比
父母ともに	730	60.0%
母親	457	37.6%
父親	37	3.0%
祖父母	346	28.4%
幼稚園	128	10.5%
保育所	341	28.0%
認定こども園	87	7.1%
その他	36	3.0%
無回答	2	0.2%
回答者数	1,217	

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む。）に影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

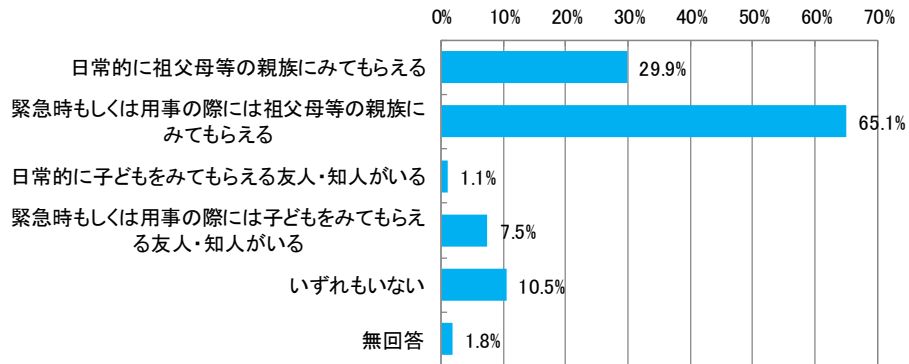
子どもの子育て（教育を含む。）に、もっとも影響すると思われる環境は、「家庭」の割合が97.2%と最も高く、次いで「保育所」が43.5%、「地域」が43.1%となっています。



項目	度数	構成比
家庭	1,183	97.2%
地域	524	43.1%
幼稚園	345	28.3%
保育所	530	43.5%
認定こども園	212	17.4%
その他	74	6.1%
無回答	5	0.4%
回答者数	1,217	

問 9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 65.1%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 29.9%となっています。

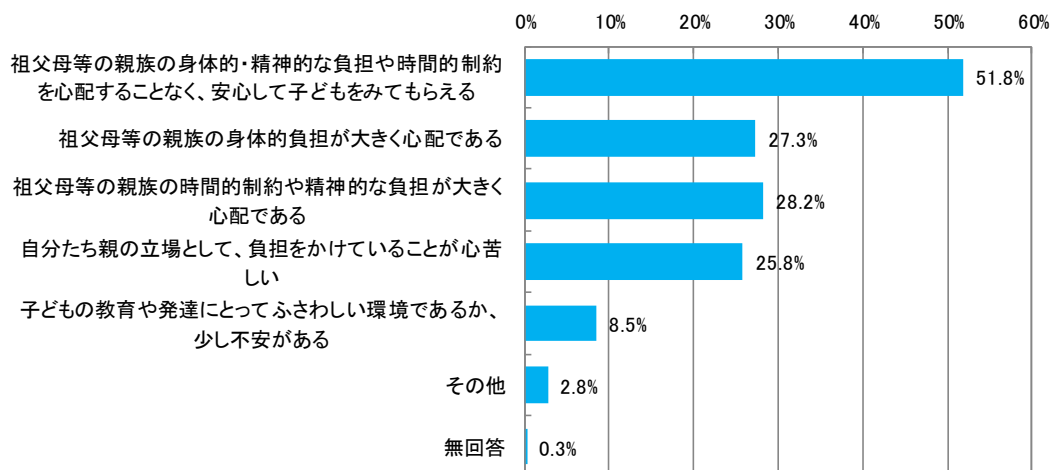


項目	度数	構成比
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	364	29.9%
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	792	65.1%
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	13	1.1%
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	91	7.5%
いずれもない	128	10.5%
無回答	22	1.8%
回答者数	1,217	

問 9-1 問 9 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況は、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 28.2%となっています。

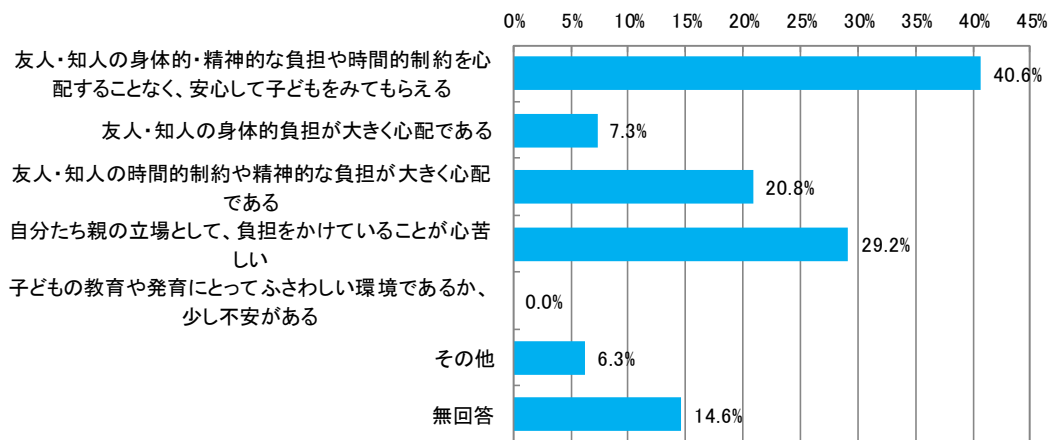
また、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」が 8.5%となっています。



項目	度数	構成比
祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	540	51.8%
祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	285	27.3%
祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	294	28.2%
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	269	25.8%
子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	89	8.5%
その他	29	2.8%
無回答	3	0.3%
回答者数	1,043	
非該当	174	

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況は、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が40.6%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が29.2%となっています。

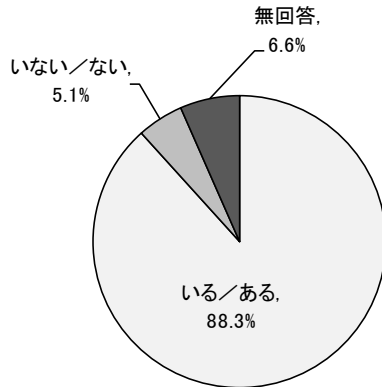


項目	度数	構成比
友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	39	40.6%
友人・知人の身体的負担が大きく心配である	7	7.3%
友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	20	20.8%
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	28	29.2%
子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	0	0.0%
その他	6	6.3%
無回答	14	14.6%
回答者数	96	
非該当	1,121	

Ⅱ 就学前児童調査

問 10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む。）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

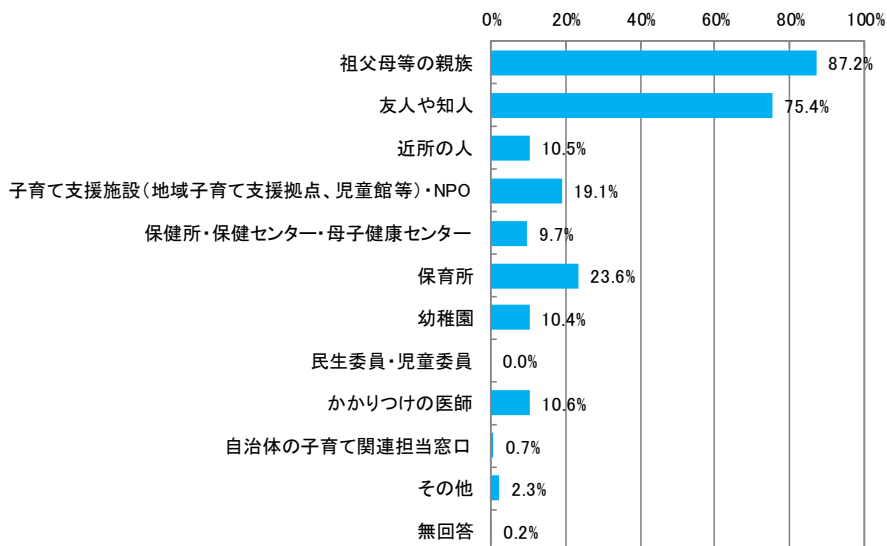
子育て（教育を含む。）をする上で、気軽に相談できる人及び場所の有無は、「いる／ある」の 88.3% に対し、「いない／ない」が 5.1% と、「いる／ある」の割合が大きく上回っています。



項目	度数	構成比
いる／ある	1,075	88.3%
いない／ない	62	5.1%
無回答	80	6.6%
回答者数	1,217	100.0%

問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む。）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育て（教育を含む。）に関して、気軽に相談できる先は、「祖父母等の親族」の割合が 87.2% と高く、次いで「友人や知人」が 75.4% となっています。



項目	度数	構成比
祖父母等の親族	937	87.2%
友人や知人	811	75.4%
近所の人	113	10.5%
子育て支援施設(地域子育て支援拠点、児童館等)・NPO	205	19.1%
保健所・保健センター・母子健康センター	104	9.7%
保育所	254	23.6%
幼稚園	112	10.4%
民生委員・児童委員	0	0.0%
かかりつけの医師	114	10.6%
自治体の子育て関連担当窓口	8	0.7%
その他	25	2.3%
無回答	2	0.2%
回答者数	1,075	
非該当	142	

問 11 子育て(教育を含む。)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

※自由記述編を参照ください。

4. 宛名のお子さんの保護者の方の就労状況について

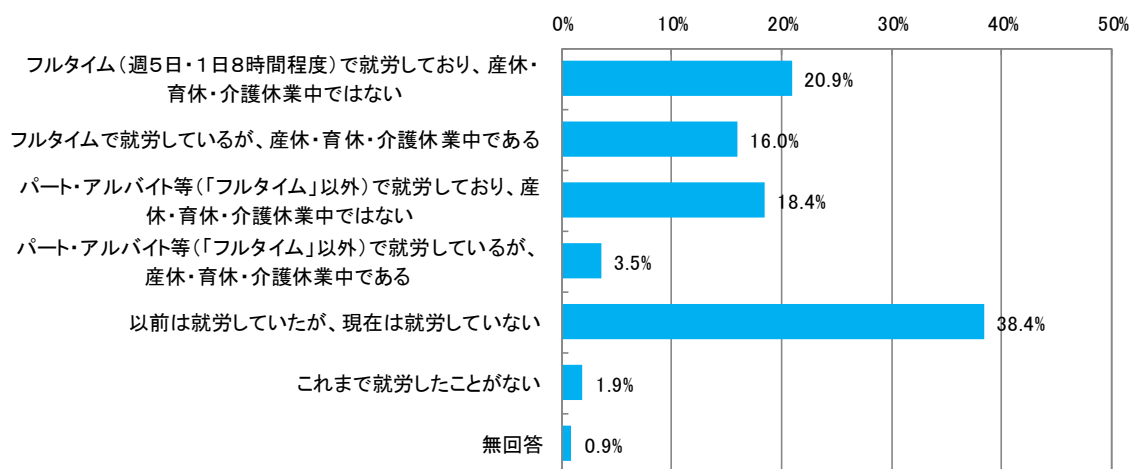
問 12 宛名のお子さんの保護者の方の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む。）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です。】当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親の就労状況は、「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が20.9%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が18.4%となっています。

「産休・育休・介護休業中」のフルタイムとパートタイムを含めた割合は、19.5%となっています。

また、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合は38.4%となっています。

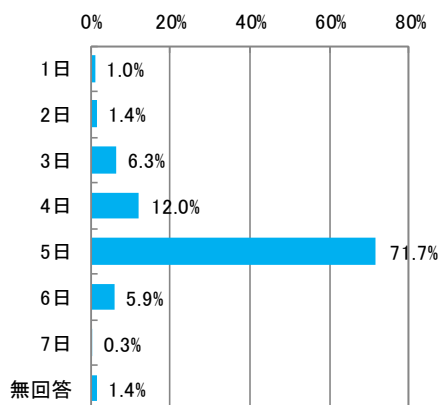


項目	度数	構成比
フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	254	20.9%
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	194	16.0%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	224	18.4%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	43	3.5%
以前は就労していたが、現在は就労していない	466	38.4%
これまで就労したことがない	23	1.9%
無回答	11	0.9%
回答者数	1,215	
非該当	2	

(1)-1 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

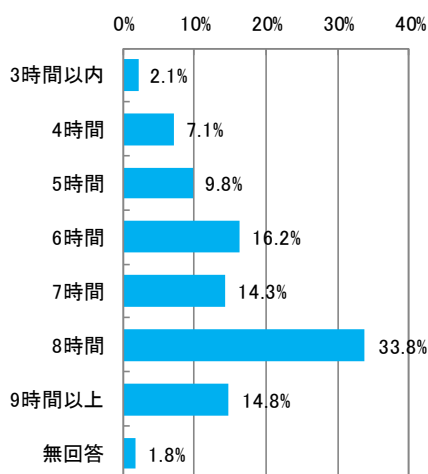
現在就労している「母親」の1週あたり就労日数は、「5日」の割合が71.7%、1日あたり就労時間(残業を含む)は、「8時間」の割合が33.8%とそれぞれ高くなっています。

■ 1週当たりの「就労日数」



項目	度数	構成比
1日	7	1.0%
2日	10	1.4%
3日	45	6.3%
4日	86	12.0%
5日	513	71.7%
6日	42	5.9%
7日	2	0.3%
無回答	10	1.4%
回答者数	715	
非該当	502	

■ 1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」



項目	度数	構成比
3時間以内	15	2.1%
4時間	51	7.1%
5時間	70	9.8%
6時間	116	16.2%
7時間	102	14.3%
8時間	242	33.8%
9時間以上	106	14.8%
無回答	13	1.8%
回答者数	715	
非該当	502	

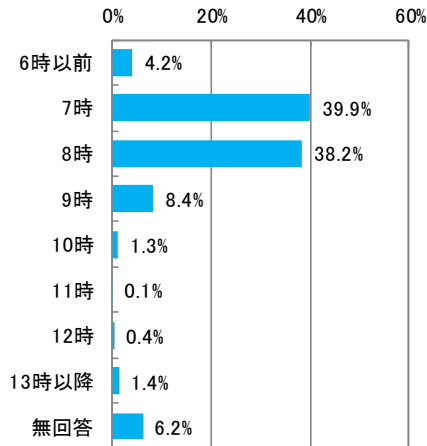
II 就学前児童調査

(1)-2 (1) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は(例)08時15分頃~18時30分頃のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。

現在就労している「母親」の家を出る時刻は、「7時」が39.9%、「8時」が38.2%、帰宅時刻は、「18時」が28.4%、「17時」が23.6%とそれぞれ高くなっています。

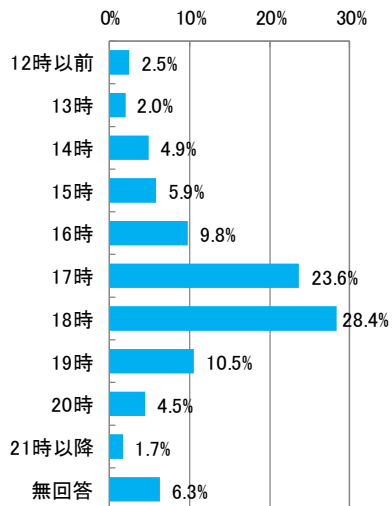
また、家を出てから帰宅するまでの時間は、「10時間」が19.0%と高くなっています。

■家を出る時刻



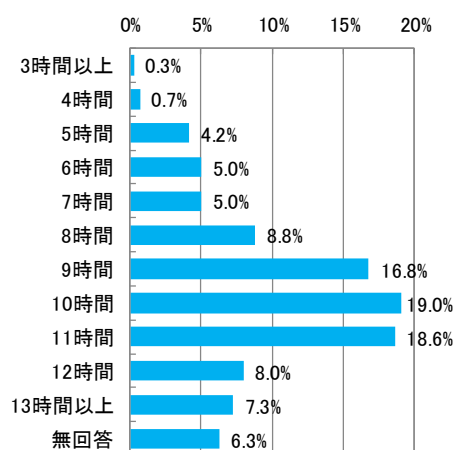
項目	度数	構成比
6時以前	30	4.2%
7時	285	39.9%
8時	273	38.2%
9時	60	8.4%
10時	9	1.3%
11時	1	0.1%
12時	3	0.4%
13時以降	10	1.4%
無回答	44	6.2%
回答者数	715	
非該当	502	

■帰宅時刻



項目	度数	構成比
12時以前	18	2.5%
13時	14	2.0%
14時	35	4.9%
15時	42	5.9%
16時	70	9.8%
17時	169	23.6%
18時	203	28.4%
19時	75	10.5%
20時	32	4.5%
21時以降	12	1.7%
無回答	45	6.3%
回答者数	715	
非該当	502	

■家を出てから帰宅するまでの時間

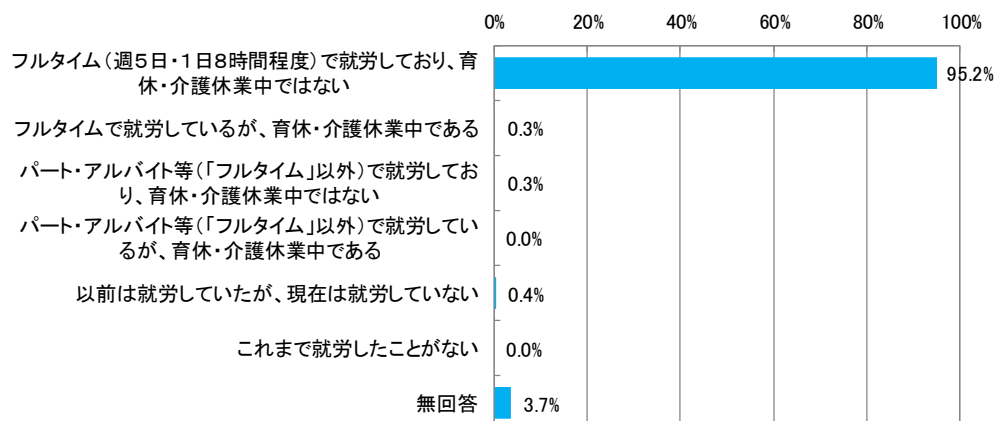


項目	度数	構成比
3時間以上	2	0.3%
4時間	5	0.7%
5時間	30	4.2%
6時間	36	5.0%
7時間	36	5.0%
8時間	63	8.8%
9時間	120	16.8%
10時間	136	19.0%
11時間	133	18.6%
12時間	57	8.0%
13時間以上	52	7.3%
無回答	45	6.3%
回答者数	715	
非該当	502	

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です。】当てはまる番号1つに○をつけてください。

父親の就労状況は、「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が95.2%と最も高くなっています。

育児・介護休暇中の割合は、フルタイムとパートタイムを含め0.3%となっています。



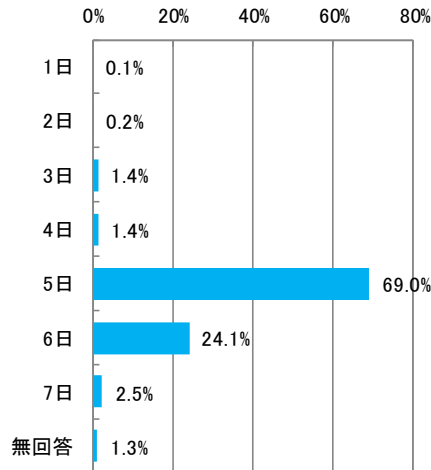
項目	度数	構成比
フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない	1,099	95.2%
フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である	4	0.3%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、育休・介護休業中ではない	4	0.3%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、育休・介護休業中である	0	0.0%
以前は就労していたが、現在は就労していない	5	0.4%
これまで就労したことがない	0	0.0%
無回答	43	3.7%
回答者数	1,155	
非該当	62	

II 就学前児童調査

(2)-1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。

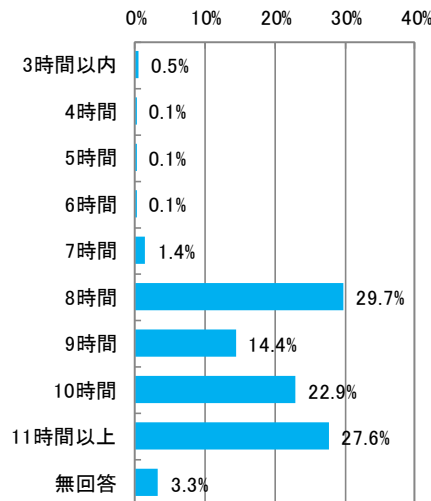
現在就労している「父親」の1週あたり就労日数は、「5日」が69.0%、1日あたり就労時間(残業を含む)は「8時間」が29.7%とそれぞれ高くなっています。

■ 1週当たりの「就労日数」



項目	度数	構成比
1日	1	0.1%
2日	2	0.2%
3日	15	1.4%
4日	16	1.4%
5日	764	69.0%
6日	267	24.1%
7日	28	2.5%
無回答	14	1.3%
回答者数	1,107	
非該当	110	

■ 1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」



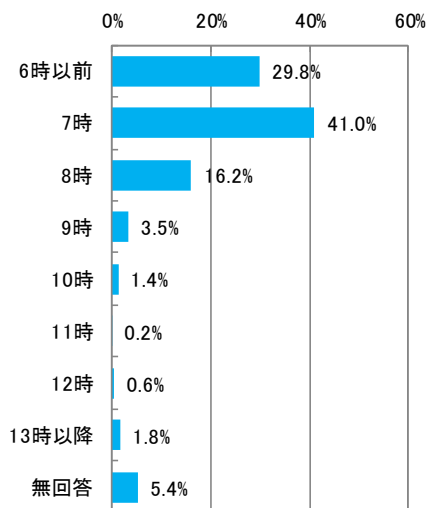
項目	度数	構成比
3時間以内	5	0.5%
4時間	1	0.1%
5時間	1	0.1%
6時間	1	0.1%
7時間	15	1.4%
8時間	329	29.7%
9時間	159	14.4%
10時間	254	22.9%
11時間以上	306	27.6%
無回答	36	3.3%
回答者数	1,107	
非該当	110	

(2) -2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は(例)08時15分頃~18時30分頃のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。

現在就労している「父親」の家を出る時刻は、「7時」が41.0%、帰宅時刻は、「21時以降」が28.7%とそれぞれ最も高くなっています。

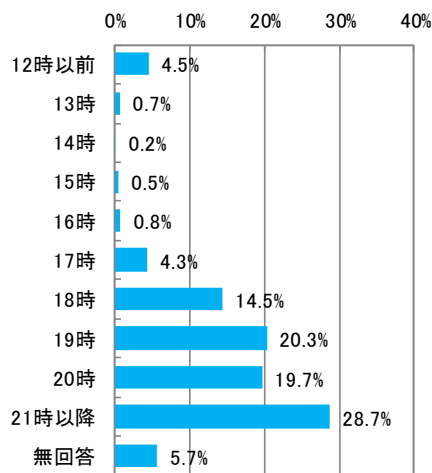
また、家を出てから帰宅するまでの時間は、「13時間」が19.4%と高くなっています。

■家を出る時刻



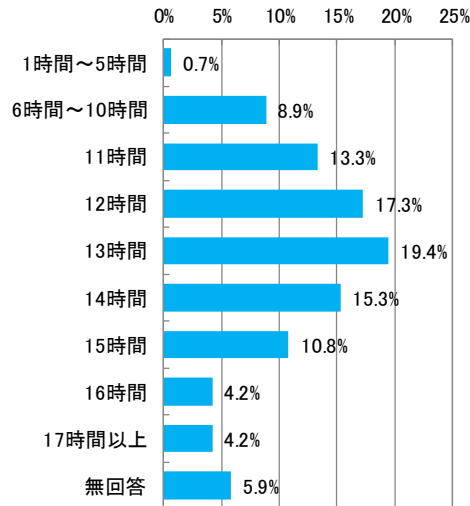
項目	度数	構成比
6時以前	330	29.8%
7時	454	41.0%
8時	179	16.2%
9時	39	3.5%
10時	16	1.4%
11時	2	0.2%
12時	7	0.6%
13時以降	20	1.8%
無回答	60	5.4%
回答者数	1,107	
非該当	110	

■帰宅時刻



項目	度数	構成比
12時以前	50	4.5%
13時	8	0.7%
14時	2	0.2%
15時	6	0.5%
16時	9	0.8%
17時	48	4.3%
18時	160	14.5%
19時	225	20.3%
20時	218	19.7%
21時以降	318	28.7%
無回答	63	5.7%
回答者数	1,107	
非該当	110	

■家を出てから帰宅するまでの時間



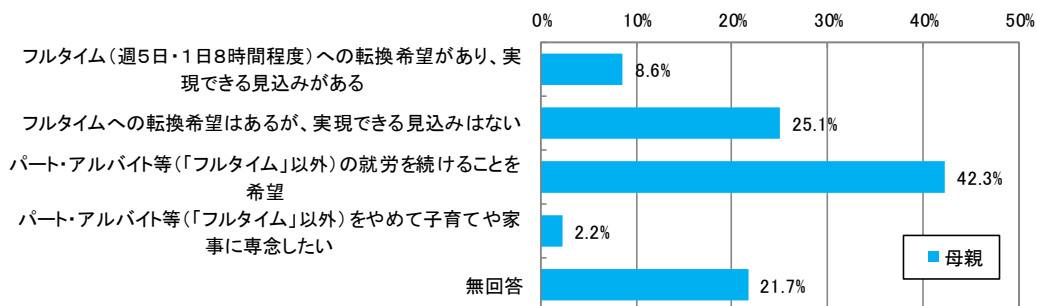
項目	度数	構成比
1時間～5時間	8	0.7%
6時間～10時間	98	8.9%
11時間	147	13.3%
12時間	191	17.3%
13時間	215	19.4%
14時間	169	15.3%
15時間	120	10.8%
16時間	47	4.2%
17時間以上	47	4.2%
無回答	65	5.9%
回答者数	1,107	
非該当	110	

問 13 問 12 の (1) または (2) で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親 (2) 父親

パート・アルバイト等で就労している「母親」のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が42.3%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が25.1%となっています。

「父親」のフルタイムへの転換希望は、「フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」がそれぞれ1件となっています。



項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある	23	8.6%	1	25.0%
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	67	25.1%	1	25.0%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	113	42.3%	1	25.0%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	6	2.2%	0	0.0%
無回答	58	21.7%	1	25.0%
回答者数	267		4	
非該当	950		1,213	

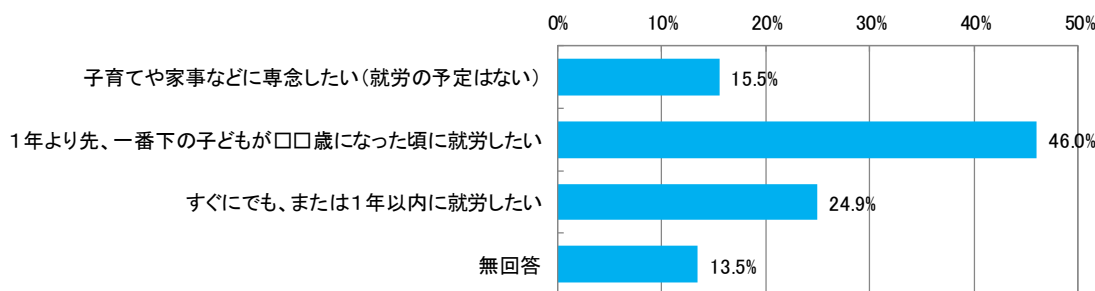
問 14 問 12 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した「母親」の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい」の割合が46.0%と最も高く、次いで「すぐにでも、または1年以内に就労したい」が24.9%となっています。

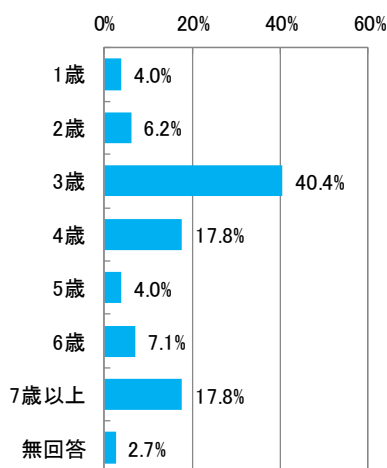
また、就労を希望する時期（一番下の子どもの年齢）は、「3歳」の割合が40.4%となっています。

さらに、現在就労していない「母親」の今後希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」の割合が73.0%、「フルタイム（週5日・1日8時間程度）」が18.0%となっています。希望する就労形態がパートタイム・アルバイト等の場合の、1週あたりの勤務日数及び1日あたりの勤務時間は、「3日」が34.8%、「3～5時間」が78.7%となっています。



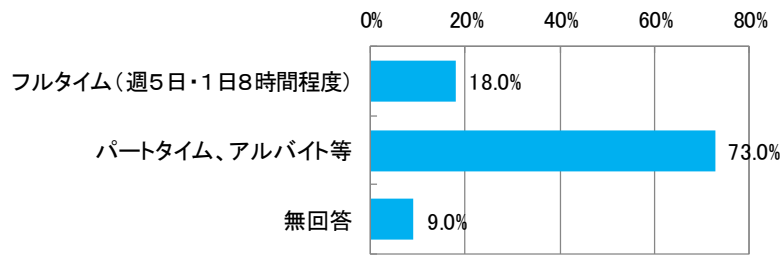
項目	度数	構成比
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	76	15.5%
1年より先、一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい	225	46.0%
すぐにでも、または1年以内に就労したい	122	24.9%
無回答	66	13.5%
回答者数	489	
非該当	728	

■ 就労を希望する時期（一番下の子どもの年齢）※2を選択した方



項目	度数	構成比
1歳	9	4.0%
2歳	14	6.2%
3歳	91	40.4%
4歳	40	17.8%
5歳	9	4.0%
6歳	16	7.1%
7歳以上	40	17.8%
無回答	6	2.7%
回答者数	225	
非該当	992	

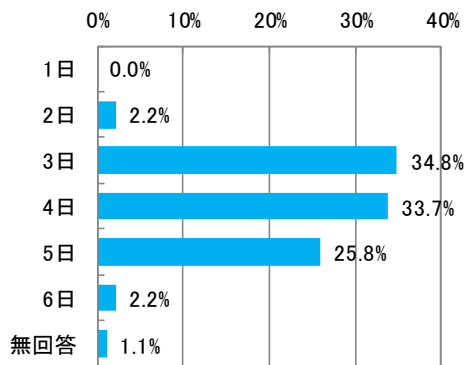
■希望する就労形態 ※3を選択した方



項目	度数	構成比
フルタイム(週5日・1日8時間程度)	22	18.0%
パートタイム、アルバイト等	89	73.0%
無回答	11	9.0%
回答者数	122	
非該当	1,095	

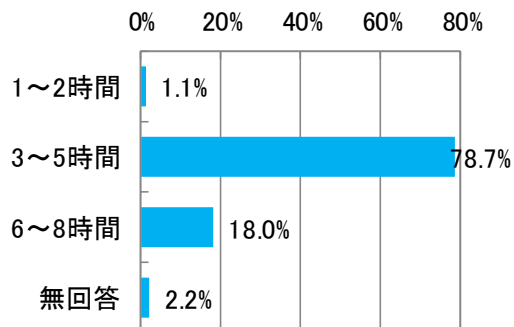
■希望する就労形態がパートタイム・アルバイト等の場合の勤務日数・時間 ※イを選択した方

(1週当たり勤務日数)



項目	度数	構成比
1日	0	0.0%
2日	2	2.2%
3日	31	34.8%
4日	30	33.7%
5日	23	25.8%
6日	2	2.2%
無回答	1	1.1%
回答者数	89	
非該当	1,128	

(1日当たり勤務時間)



項目	度数	構成比
1~2時間	1	1.1%
3~5時間	70	78.7%
6~8時間	16	18.0%
無回答	2	2.2%
回答者数	89	
非該当	1,128	

(2) 父親

「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した「父親」の就労希望は、5件中「すぐにでも、または1年以内に就労したい」が3件となっています。

項目	度数	構成比
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	1	20.0%
1年より先、一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい	0	0.0%
すぐにでも、または1年以内に就労したい	3	60.0%
無回答	1	20.0%
回答者数	5	
非該当	1,212	

■希望する就労形態

項目	度数	構成比
フルタイム(週5日・1日8時間程度)	2	66.7%
パートタイム、アルバイト等	0	0.0%
無回答	1	33.3%
回答者数	3	
非該当	1,214	

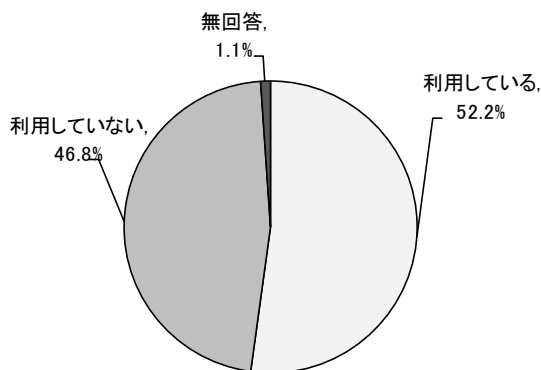
■希望する就労形態がパートタイム・アルバイト等の場合の希望する勤務日数・時間(※イを選択した方)の回答はなし

5. 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

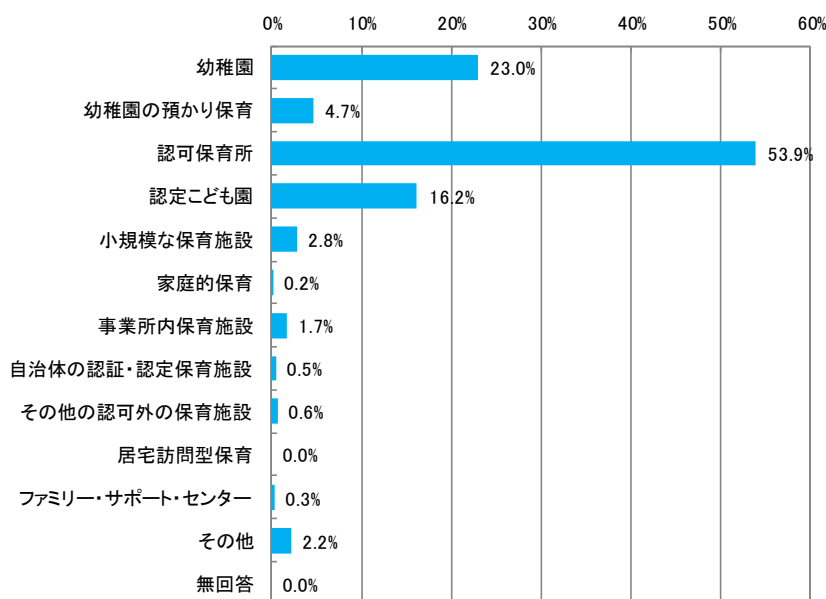
定期的な教育・保育の事業の利用状況は、「利用している」の割合が 52.2%に対し、「利用していない」が 46.8%と、「利用している」の割合が上回っています。



項目	度数	構成比
利用している	635	52.2%
利用していない	569	46.8%
無回答	13	1.1%
回答者数	1,217	100.0%

問 15-1 問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日の教育・保育の事業の利用種別は、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」の割合が 53.9%と最も高く、次いで「幼稚園」が 23.0%、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が 16.2%となっています。



項目	度数	構成比
幼稚園	146	23.0%
幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	30	4.7%
認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	342	53.9%
認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	103	16.2%
小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6~19人のもの)	18	2.8%
家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもの保育する事業)	1	0.2%
事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	11	1.7%
自治体の認証・認定保育施設(認可保育所ではないが自治体が認証・認定した施設)	3	0.5%
その他の認可外の保育施設(上記7.や8.以外の施設)	4	0.6%
居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	0	0.0%
ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	2	0.3%
その他	14	2.2%
無回答	0	0.0%
回答者数	635	
非該当	582	

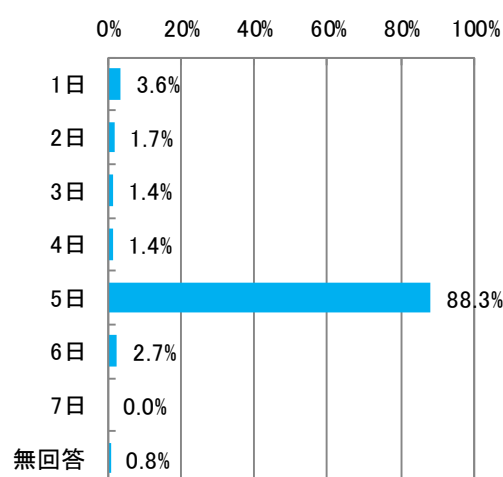
問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。時刻は(例)09時15分~18時30分のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

平日の教育・保育の事業の日数などの利用状況は、1週あたりの日数については、「5日」の割合が88.3%、1日あたりの時間については、「7時間~10時間」が66.5%とそれぞれ高くなっています。

また、利用時間帯は、登園時刻については、「8時」が48.2%、「9時」が28.7%、帰園時刻については、「16時」が27.9%、「17時」が25.0%と比較的高くなっています。

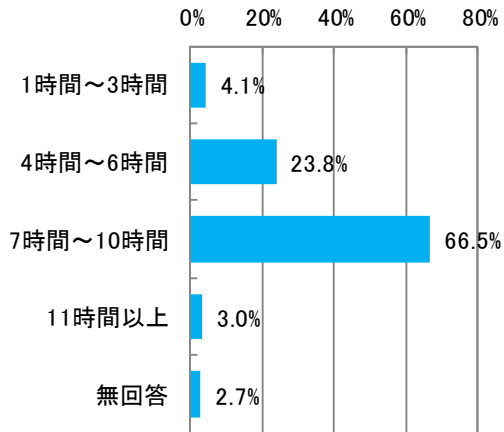
■1週あたりの日数



項目	度数	構成比
1日	23	3.6%
2日	11	1.7%
3日	9	1.4%
4日	9	1.4%
5日	561	88.3%
6日	17	2.7%
7日	0	0.0%
無回答	5	0.8%
回答者数	635	
非該当	582	

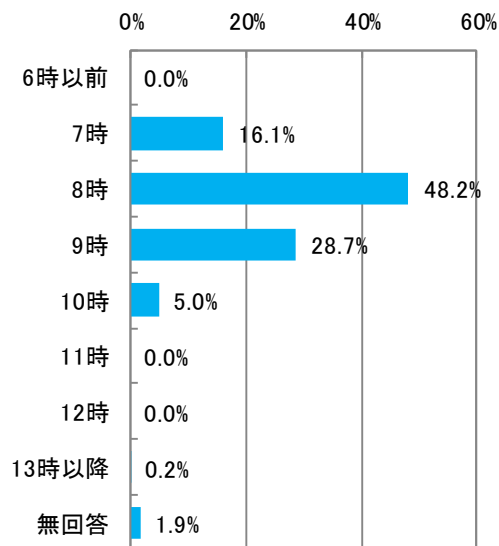
II 就学前児童調査

■ 1日あたりの時間



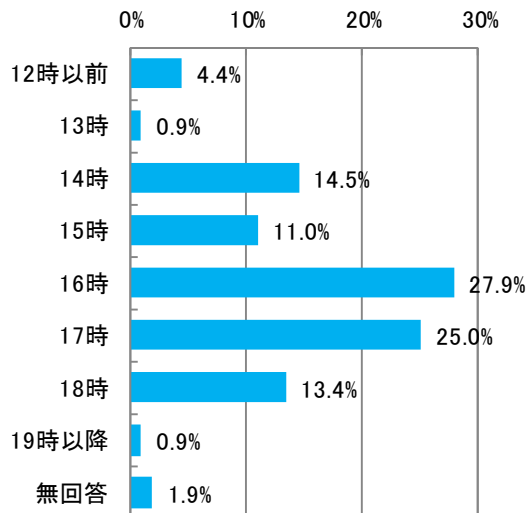
項目	度数	構成比
1時間～3時間	26	4.1%
4時間～6時間	151	23.8%
7時間～10時間	422	66.5%
11時間以上	19	3.0%
無回答	17	2.7%
回答者数	635	
非該当	582	

■ 利用時間帯（登園時刻）



項目	度数	構成比
6時以前	0	0.0%
7時	102	16.1%
8時	306	48.2%
9時	182	28.7%
10時	32	5.0%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時以降	1	0.2%
無回答	12	1.9%
回答者数	635	
非該当	582	

■ 利用時間帯（帰園時刻）



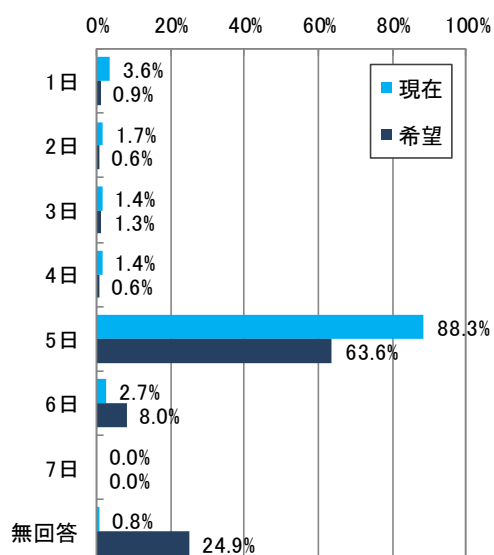
項目	度数	構成比
12時以前	28	4.4%
13時	6	0.9%
14時	92	14.5%
15時	70	11.0%
16時	177	27.9%
17時	159	25.0%
18時	85	13.4%
19時以降	6	0.9%
無回答	12	1.9%
回答者数	635	
非該当	582	

(2) 希望

平日の教育・保育の事業の日数などの利用希望は、1週あたりの日数については、「5日」の割合が63.6%、1日あたりの時間については、「7時間～10時間」の割合が56.1%と、それぞれ高くなっています。

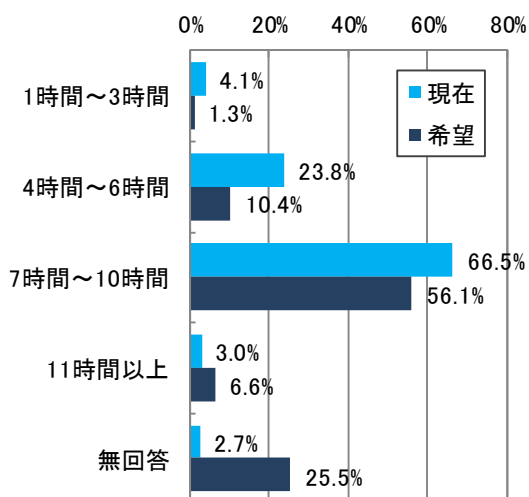
また、利用希望時間帯は、登園時刻については、「8時」が37.3%、「9時」が19.7%、帰園時刻については、「17時」が19.4%、「16時」が17.8%、「18時」が16.4%と比較的高くなっています。

■1週あたりの日数



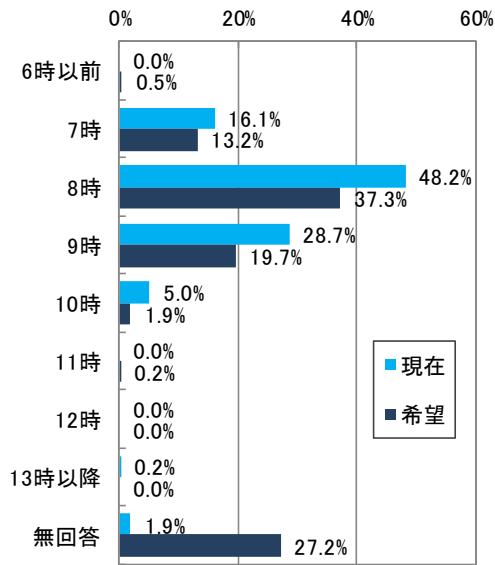
項目	度数	構成比
1日	6	0.9%
2日	4	0.6%
3日	8	1.3%
4日	4	0.6%
5日	404	63.6%
6日	51	8.0%
7日	0	0.0%
無回答	158	24.9%
回答者数	635	
非該当	582	

■1日あたりの時間



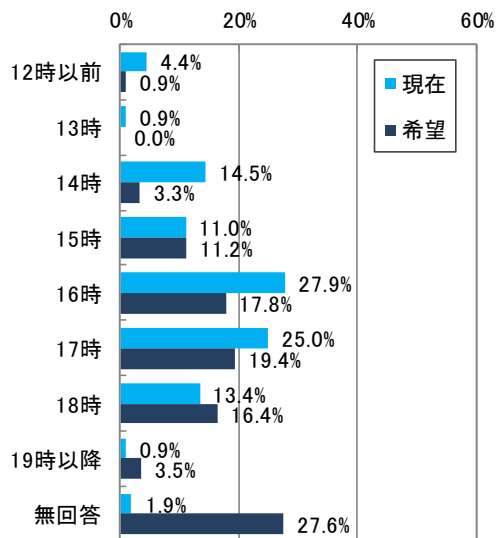
項目	度数	構成比
1時間～3時間	8	1.3%
4時間～6時間	66	10.4%
7時間～10時間	356	56.1%
11時間以上	42	6.6%
無回答	162	25.5%
回答者数	635	
非該当	582	

■ 利用時間帯（登園時刻）



項目	度数	構成比
6時以前	3	0.5%
7時	84	13.2%
8時	237	37.3%
9時	125	19.7%
10時	12	1.9%
11時	1	0.2%
12時	0	0.0%
13時以降	0	0.0%
無回答	173	27.2%
回答者数	635	
非該当	582	

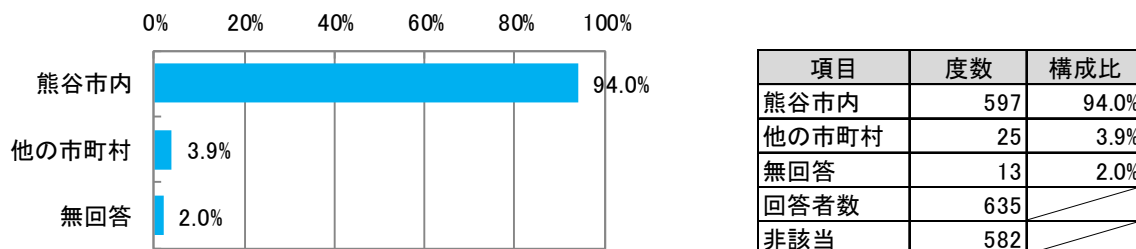
■ 利用時間帯（帰園時刻）



項目	度数	構成比
12時以前	6	0.9%
13時	0	0.0%
14時	21	3.3%
15時	71	11.2%
16時	113	17.8%
17時	123	19.4%
18時	104	16.4%
19時以降	22	3.5%
無回答	175	27.6%
回答者数	635	
非該当	582	

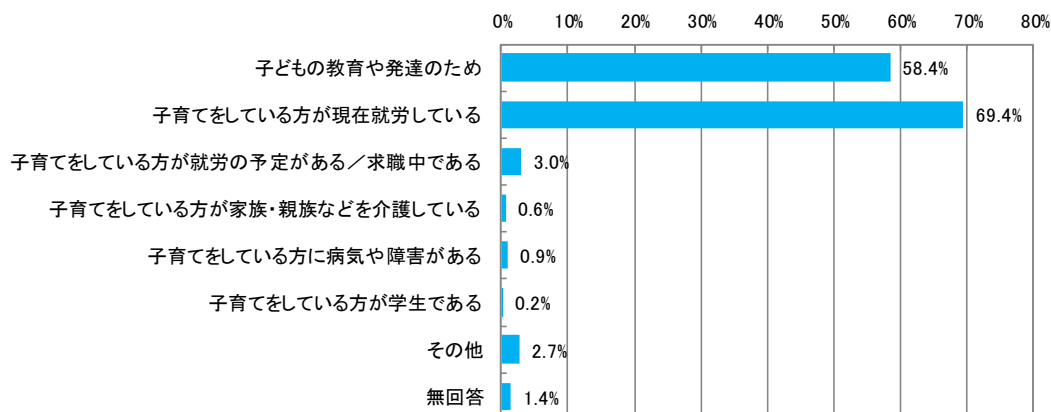
問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。「2 他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。

現在、利用している教育・保育事業の実施場所については、「熊谷市内」の割合が94.0%と最も高く、「他の市町村」が3.9%となっています。



問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は、「子育てをしている方が現在就労している」の割合が69.4%と高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が58.4%となっています。



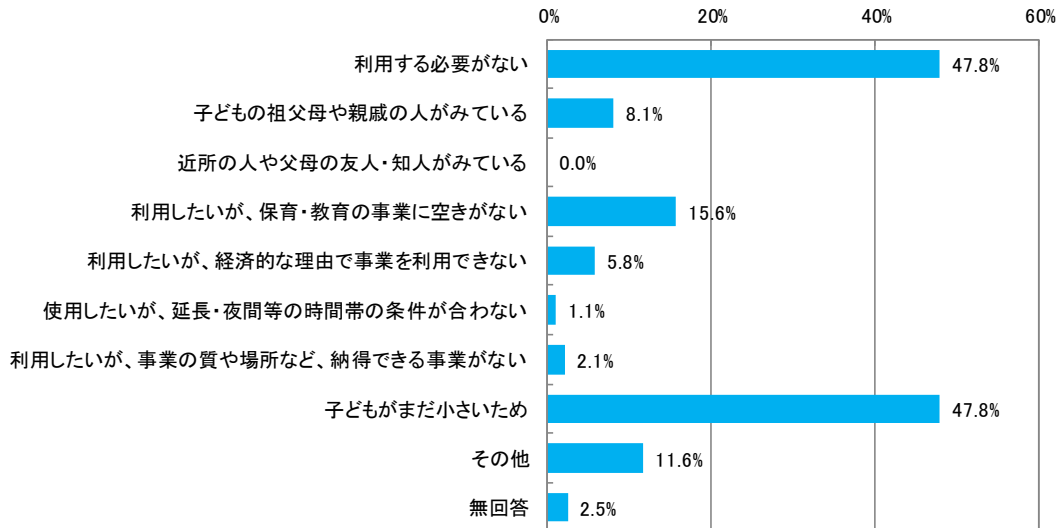
項目	度数	構成比
子どもの教育や発達のため	371	58.4%
子育てをしている方が現在就労している	441	69.4%
子育てをしている方が就労の予定がある／求職中である	19	3.0%
子育てをしている方が家族・親族などを介護している	4	0.6%
子育てをしている方に病気や障害がある	6	0.9%
子育てをしている方が学生である	1	0.2%
その他	17	2.7%
無回答	9	1.4%
回答者数	635	
非該当	582	

Ⅱ 就学前児童調査

問 15-5 問 15 で「2 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

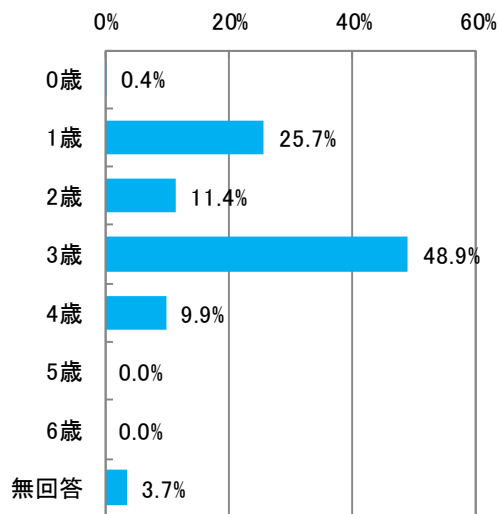
定期的な教育・保育事業を利用していない理由は、「利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないため等）」、「子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）」の割合がいずれも 47.8% と高くなっています。

また、教育・保育事業の利用開始年齢は、「3 歳」の割合が 48.9% と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
利用する必要がない (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないため等)	272	47.8%
子どもの祖父母や親戚の人がみている	46	8.1%
近所の人や父母の友人・知人がみている	0	0.0%
利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	89	15.6%
利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	33	5.8%
使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	6	1.1%
利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	12	2.1%
子どもがまだ小さいため(歳くらいになったら利用しようと考えている)	272	47.8%
その他	66	11.6%
無回答	14	2.5%
回答者数	569	
非該当	648	

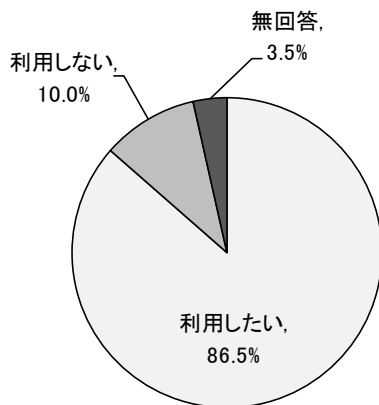
■教育・保育事業の利用開始年齢（子どもの年齢） ※「子どもがまだ小さいため」を選択した方



項目	度数	構成比
0歳	1	0.4%
1歳	70	25.7%
2歳	31	11.4%
3歳	133	48.9%
4歳	27	9.9%
5歳	0	0.0%
6歳	0	0.0%
無回答	10	3.7%
回答者数	272	
非該当	945	

問 15-6 問 15 で「2 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。保育料無償化が実現した場合、利用したいですか。なお、保育料無償化の対象は、原則0歳～2歳児は非課税世帯、3～5歳児は全世帯となります。当てはまる番号1つに○をつけてください。

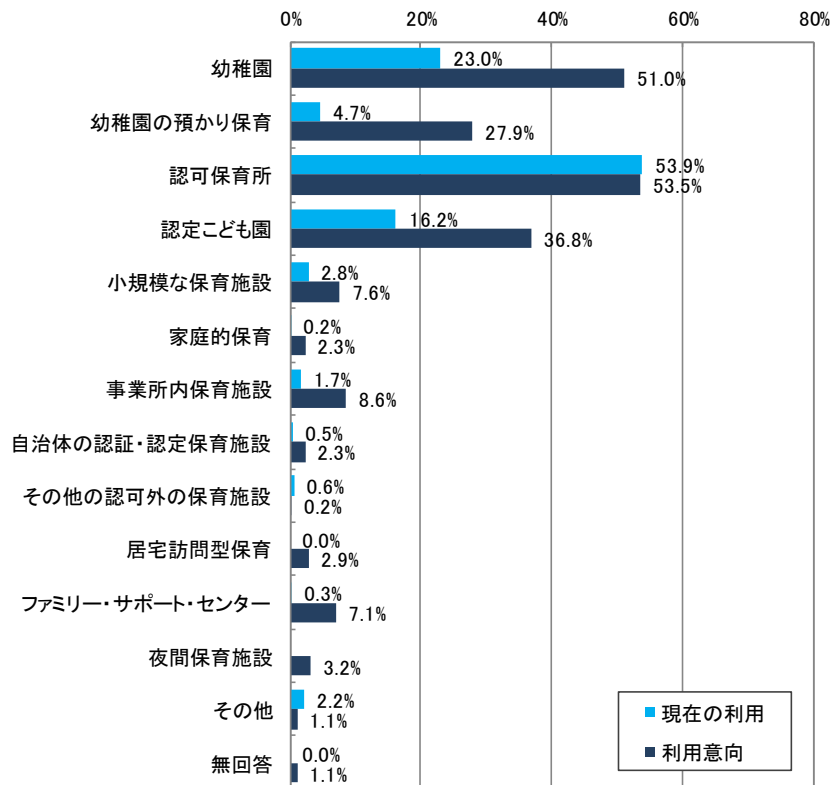
保育料無償化が実現した場合、「利用したい」の割合が86.5%に対し、「利用しない」が10.0%と、「利用したい」の割合が上回っています。



項目	度数	構成比
利用したい	492	86.5%
利用しない	57	10.0%
無回答	20	3.5%
回答者数	569	
非該当	648	

問 16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

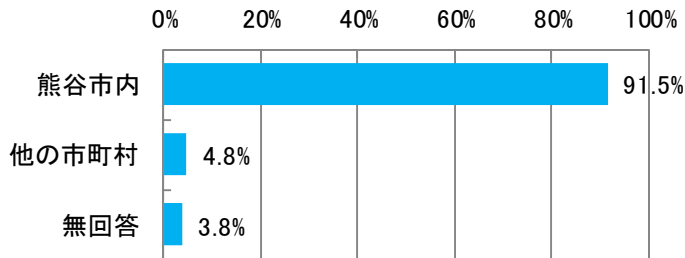
平日の教育・保育の事業の利用意向は、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」の割合が 53.5%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 51.0%、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設。熊谷市では三尻こども園、荒川こども園、まことこども園）」が 36.8%となっています。



項目	度数	構成比
幼稚園(通常の就園時間の利用)	621	51.0%
幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	339	27.9%
認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	651	53.5%
認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設。熊谷市では三尻こども園、荒川こども園、まことこども園)	448	36.8%
小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6~19のもの。熊谷市では、もみの木共同保育所、保育所キッズハウス籠原保育室、野鳥の森うさぎ保育園、あかね保育室など)	93	7.6%
家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)	28	2.3%
事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)※現在お勤めの企業が設置していない場合でも、利用希望があれば○をつけてください	105	8.6%
自治体の認証・認定保育施設(認可保育所ではないが自治体が認証・認定した施設)	28	2.3%
その他の認可外の保育施設	3	0.2%
居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	35	2.9%
ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	86	7.1%
夜間保育施設(夜遅くまで開所している認可保育所)	39	3.2%
その他	13	1.1%
無回答	13	1.1%
回答者数	1,217	

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。「2. 他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。

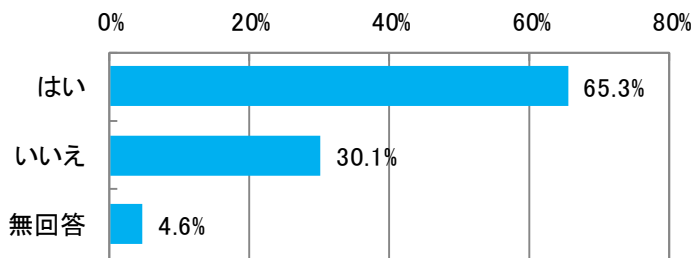
利用したい教育・保育事業の場所については、「熊谷市内」の割合が91.5%と最も高く、次いで「他の市町村」が4.8%となっています。



項目	度数	構成比
熊谷市内	1,113	91.5%
他の市町村	58	4.8%
無回答	46	3.8%
回答者数	1,217	
非該当	0	

問 16-2 問 16で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～13にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

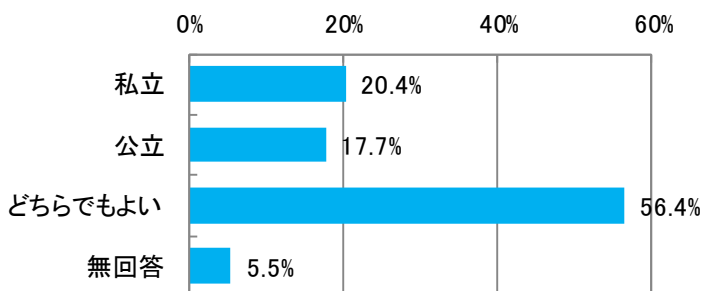
幼稚園の利用を希望しますかについて、「はい」の割合が65.3%に対し、「いいえ」の割合が30.1%で、「はい」の割合が高くなっています。



項目	度数	構成比
はい	271	65.3%
いいえ	125	30.1%
無回答	19	4.6%
回答者数	415	
非該当	802	

問 16-3 利用したい教育・保育事業の実施主体について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

利用したい教育・保育事業の実施主体については、「私立」の割合が20.4%に対し、「公立」の割合が17.7%で、「私立」の割合が若干高くなっています。また、「どちらでもよい」の割合は56.4%となっています。

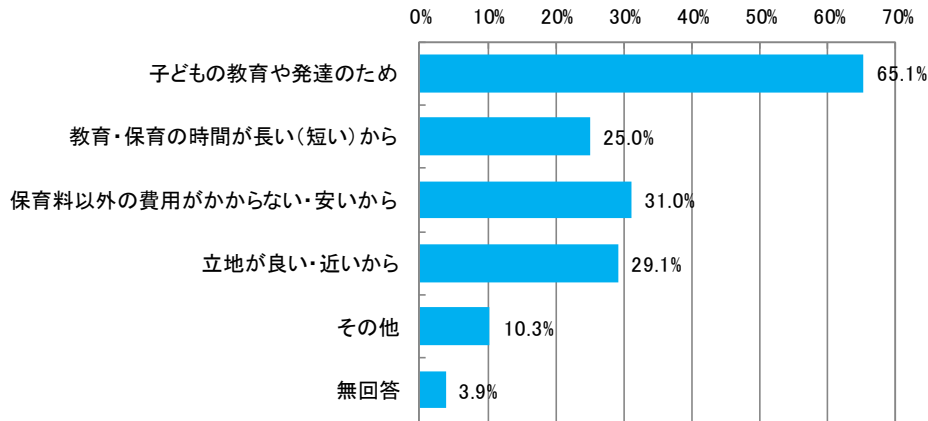


項目	度数	構成比
私立	248	20.4%
公立	216	17.7%
どちらでもよい	686	56.4%
無回答	67	5.5%
回答者数	1,217	100.0%

II 就学前児童調査

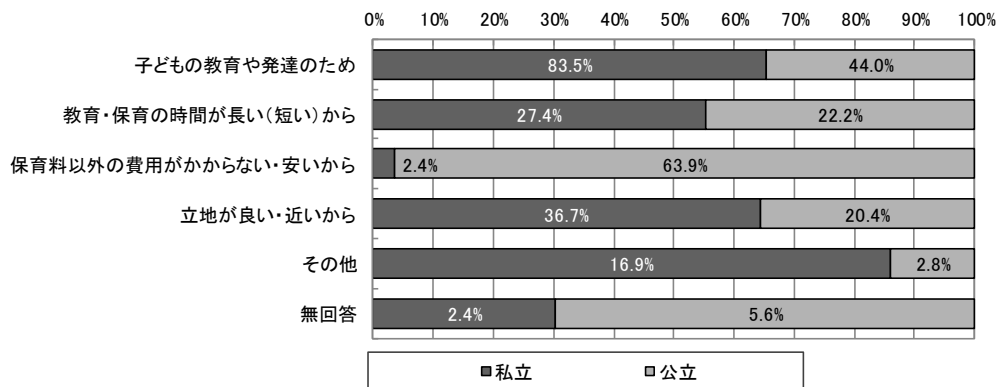
問 16-4 問 16-3 で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。利用したい理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

利用したい教育・保育事業の実施主体で、「私立」または「公立」を利用したい理由は、「子どもの教育や発達のため」の割合が 65.1%と最も高くなっています。次いで「保育料以外の費用がかからない・安いから」が 31.0%、「立地が良い・近いから」が 29.1%となっています。



項目	度数	構成比
子どもの教育や発達のため	302	65.1%
教育・保育の時間が長い(短い)から	116	25.0%
保育料以外の費用がかからない・安いから	144	31.0%
立地が良い・近いから	135	29.1%
その他	48	10.3%
無回答	18	3.9%
回答者数	464	
非該当	753	

■ 私立、公立別に見た「利用したい理由」の回答



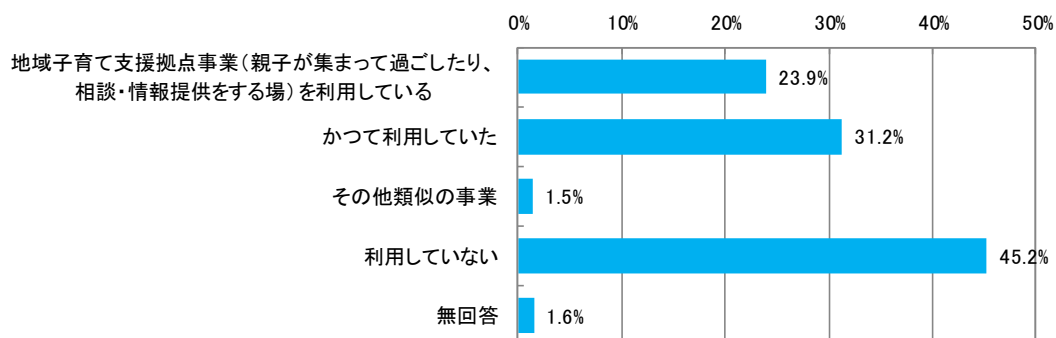
	子どもの教育や発達のため	教育・保育の時間が長い(短い)から	保育料以外の費用がかからない・安いから	立地が良い・近いから	その他	無回答	回答者計
全体	302	116	144	135	48	18	464
	65.1%	25.0%	31.0%	29.1%	10.3%	3.9%	
私立	207	68	6	91	42	6	248
	83.5%	27.4%	2.4%	36.7%	16.9%	2.4%	
公立	95	48	138	44	6	12	216
	44.0%	22.2%	63.9%	20.4%	2.8%	5.6%	

6. 宛名のお子さんの子育て支援事業の利用状況について

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援拠点」や「子育て広場」と呼ばれ、熊谷市内には現在19箇所あります。）などを利用していますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

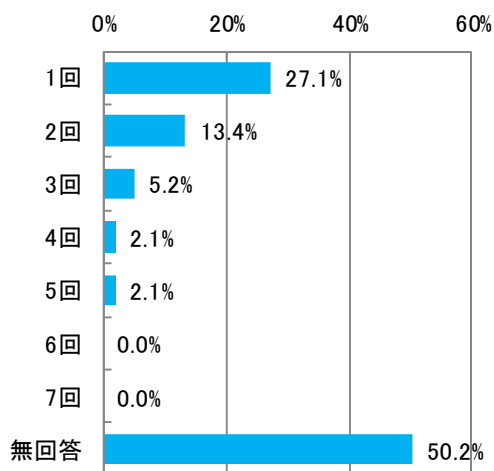
地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談・情報提供をする場）を利用している」の割合が23.9%に対し、「利用していない」が45.2%となっています。

地域子育て支援拠点事業の利用回数は、1週あたり「1回」の割合が27.1%、1か月あたり「1回～3回」の割合が50.5%と高くなっています。



項目	度数	構成比
地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談・情報提供をする場)を利用している	291	23.9%
かつて利用していた	380	31.2%
その他類似の事業	18	1.5%
利用していない	550	45.2%
無回答	19	1.6%
回答者数	1,217	

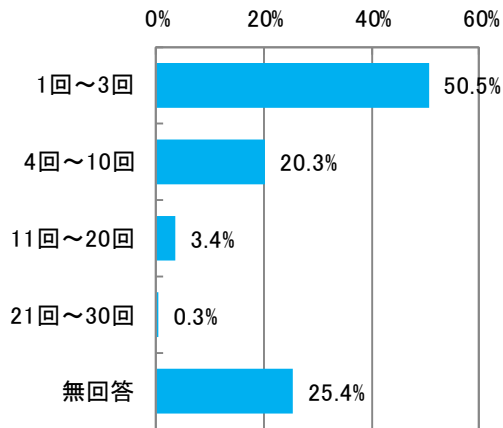
■ 地域子育て支援拠点事業の利用（1週あたり回数または1か月あたり回数） ※1を選択した方 （1週あたり回数）



項目	度数	構成比
1回	79	27.1%
2回	39	13.4%
3回	15	5.2%
4回	6	2.1%
5回	6	2.1%
6回	0	0.0%
7回	0	0.0%
無回答	146	50.2%
回答者数	291	
非該当	926	

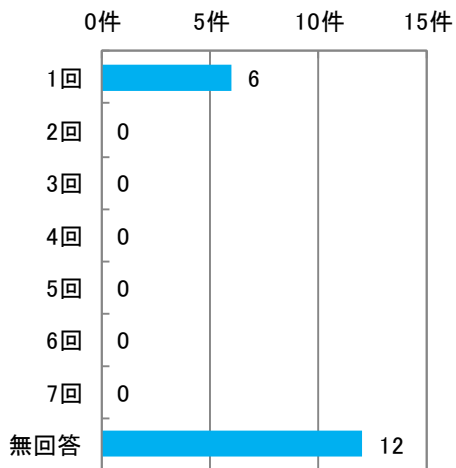
II 就学前児童調査

(1 か月あたり回数)



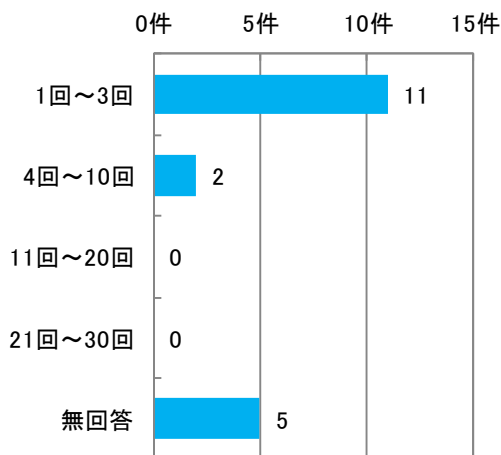
項目	度数	構成比
1回～3回	147	50.5%
4回～10回	59	20.3%
11回～20回	10	3.4%
21回～30回	1	0.3%
無回答	74	25.4%
回答者数	291	
非該当	926	

■その他類似の事業 ※3を選択した方
(1 週あたり回数)



項目	度数	構成比
1回	6	33.3%
2回	0	0.0%
3回	0	0.0%
4回	0	0.0%
5回	0	0.0%
6回	0	0.0%
7回	0	0.0%
無回答	12	66.7%
回答者数	18	
非該当	1,199	

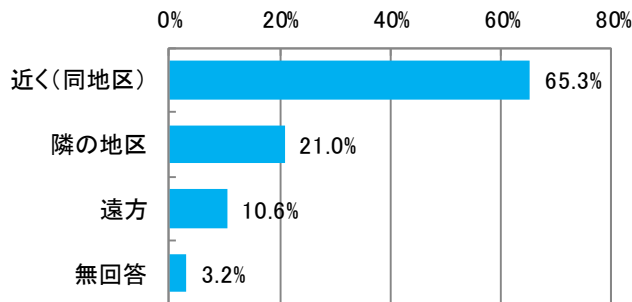
(1 か月あたり回数)



項目	度数	構成比
1回～3回	11	61.1%
4回～10回	2	11.1%
11回～20回	0	0.0%
21回～30回	0	0.0%
無回答	5	27.8%
回答者数	18	
非該当	1,199	

問 17-1 問 17 で「1」もしくは「2」に○をつけた方にうかがいます。利用している（かつて利用していた）子育て支援拠点は、お住まいの近く（地区）ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

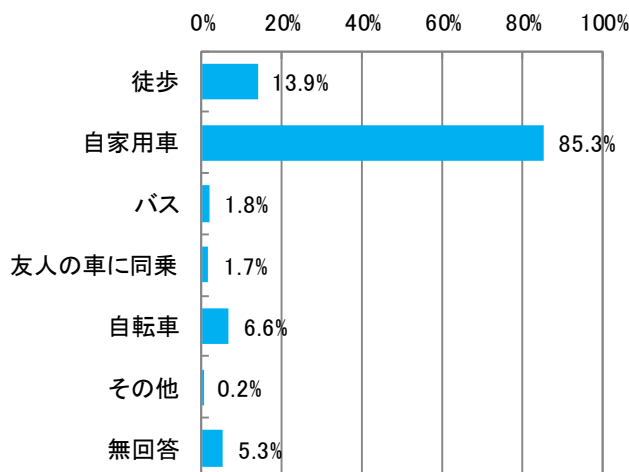
利用している子育て支援拠点については、「近く（同地区）」の割合が 65.3%と最も高くなっています。また、「隣の地区（21.0%）」、「遠方（10.6%）」の割合は低くなっています。



項目	度数	構成比
近く(同地区)	432	65.3%
隣の地区	139	21.0%
遠方	70	10.6%
無回答	21	3.2%
回答者数	662	
非該当	555	

問 17-2 問 17 で「1」もしくは「2」に○をつけた方にうかがいます。子育て支援拠点を利用する際に利用する交通手段は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育て支援拠点を利用する際の交通手段は、「自家用車」の割合が 85.3%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が 13.9%、「自転車」の割合が 6.6%となっています。

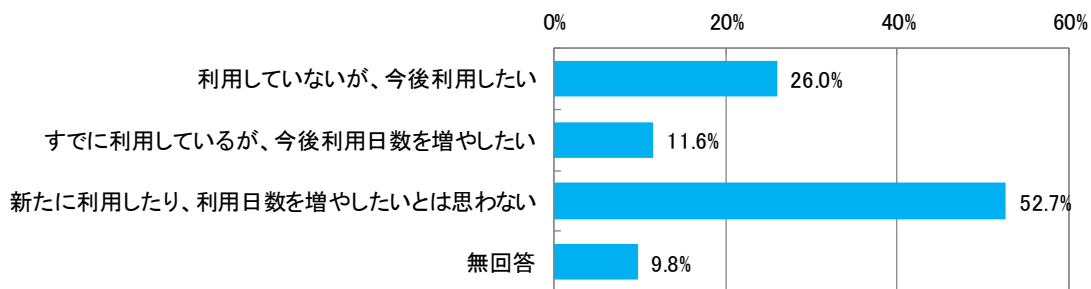


項目	度数	構成比
徒歩	92	13.9%
自家用車	565	85.3%
バス	12	1.8%
友人の車に同乗	11	1.7%
自転車	44	6.6%
その他	1	0.2%
無回答	35	5.3%
回答者数	662	
非該当	555	

問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業などについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、または、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、熊谷市ではこれらの事業の利用は原則無料です。

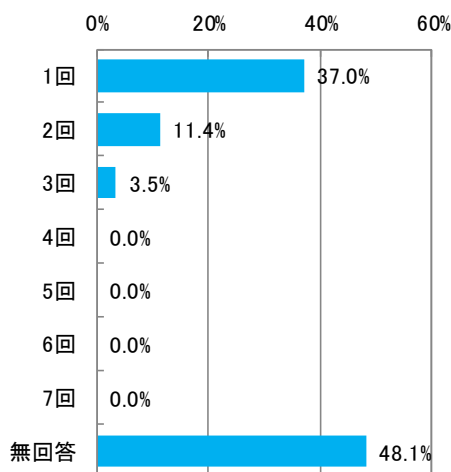
地域子育て支援拠点事業の新規の利用及び利用拡大の意向は、「利用していないが、今後利用したい（26.0%）」と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい（11.6%）」の合計割合が 37.6% に対し、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 52.7% となっています。

地域子育て支援拠点事業の利用回数は、新規の利用及び利用を増やしたいともに、1 週あたりでは「1 回（37.0%、31.9%）」、1 か月あたりでは「1 回～3 回（52.5%、27.0%）」の割合がそれぞれ高くなっています。



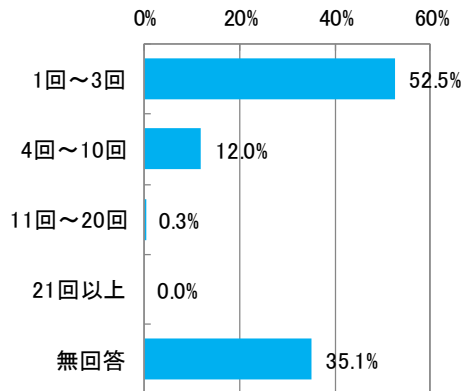
項目	度数	構成比
利用していないが、今後利用したい	316	26.0%
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	141	11.6%
新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	641	52.7%
無回答	119	9.8%
回答者数	1,217	100.0%

■利用していないが、今後利用したい ※1 を選択した方
(1 週あたり回数)



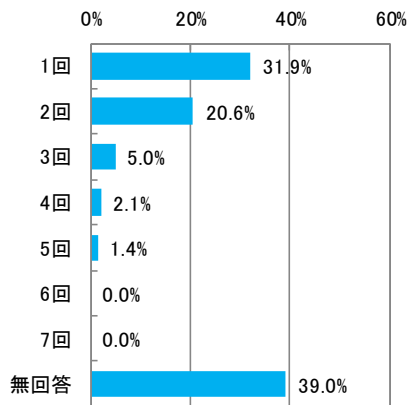
項目	度数	構成比
1回	117	37.0%
2回	36	11.4%
3回	11	3.5%
4回	0	0.0%
5回	0	0.0%
6回	0	0.0%
7回	0	0.0%
無回答	152	48.1%
回答者数	316	
非該当	901	

(1 か月あたり回数)



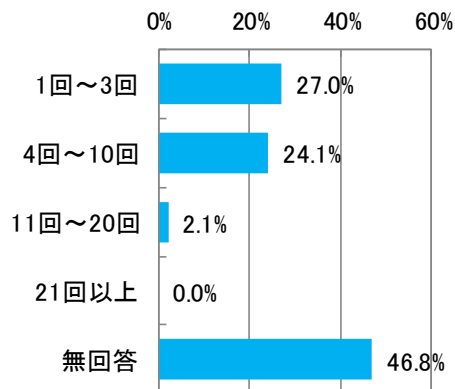
項目	度数	構成比
1回～3回	166	52.5%
4回～10回	38	12.0%
11回～20回	1	0.3%
21回以上	0	0.0%
無回答	111	35.1%
回答者数	316	
非該当	901	

■すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい ※2を選択した方
(1 週あたり回数)



項目	度数	構成比
1回	45	31.9%
2回	29	20.6%
3回	7	5.0%
4回	3	2.1%
5回	2	1.4%
6回	0	0.0%
7回	0	0.0%
無回答	55	39.0%
回答者数	141	
非該当	1,076	

(1 か月あたり回数)



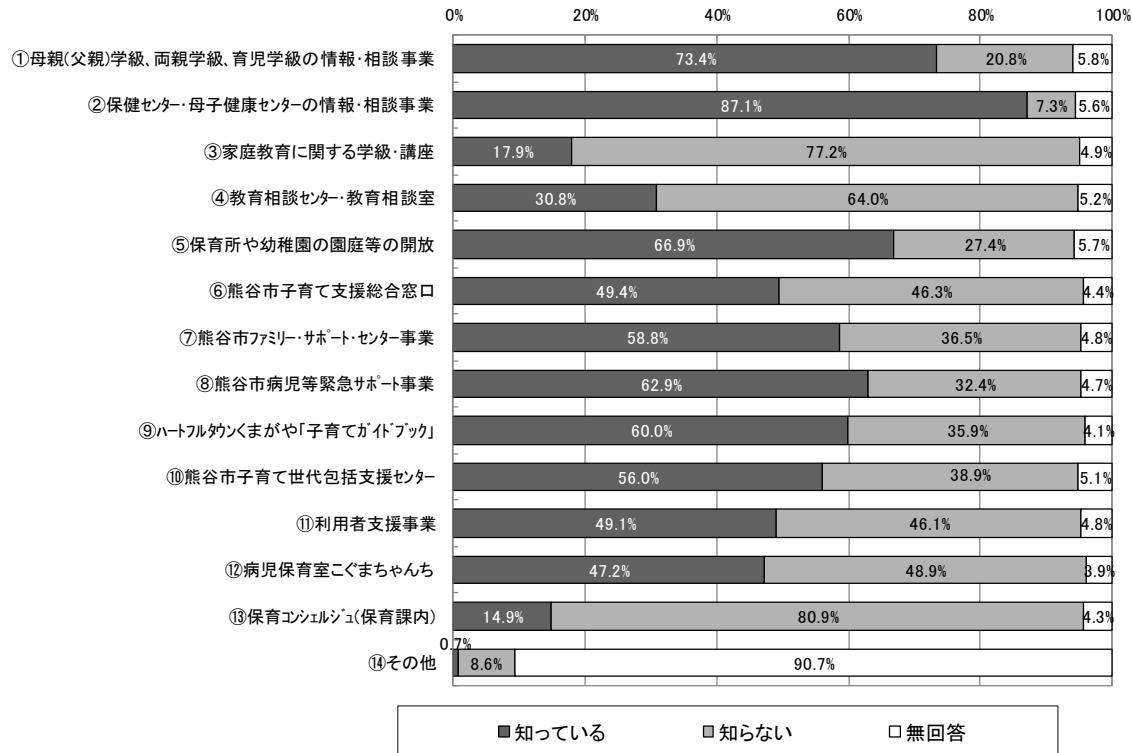
項目	度数	構成比
1回～3回	38	27.0%
4回～10回	34	24.1%
11回～20回	3	2.1%
21回以上	0	0.0%
無回答	66	46.8%
回答者数	141	
非該当	1,076	

II 就学前児童調査

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑭の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

認知度は、「②保険センター・母子健康センターの情報・相談事業（87.1%）」の割合が8割を超え高く、次いで「③母親（父親）学級、両親学級、育児学級の情報・相談事業（73.4%）」となっています。

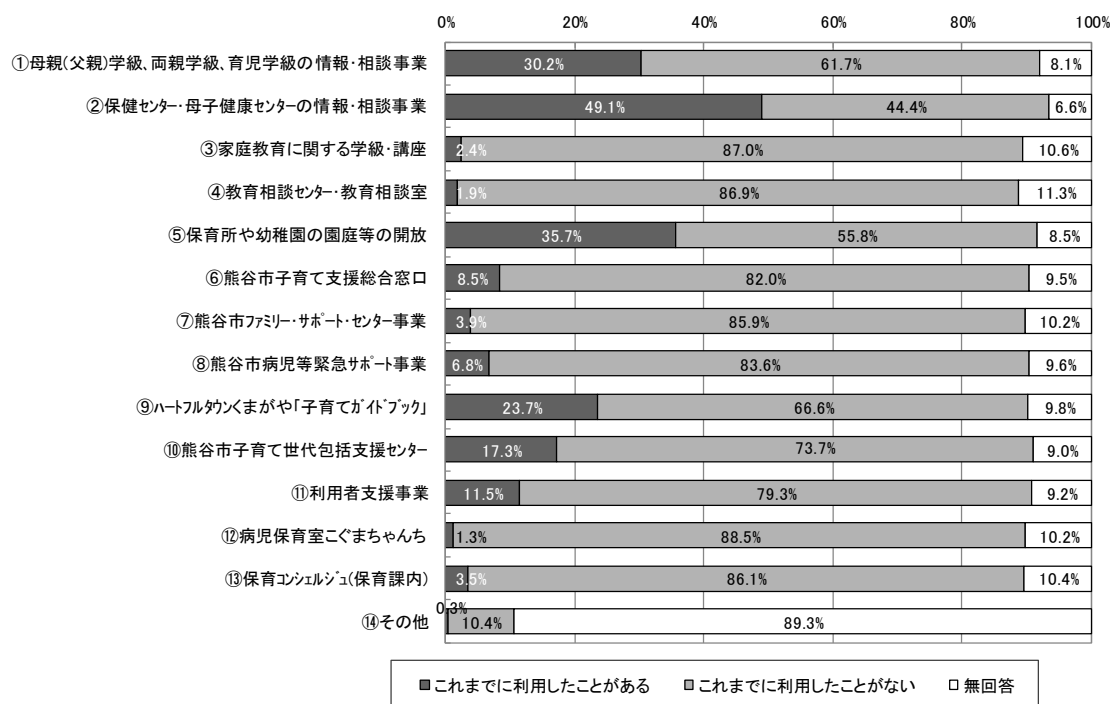
■ 認知度



項目	知っている	知らない	無回答	回答者数
①母親(父親)学級、両親学級、育児学級の情報・相談事業	893	253	71	1,217
	73.4%	20.8%	5.8%	100.0%
②保健センター・母子健康センターの情報・相談事業	1,060	89	68	1,217
	87.1%	7.3%	5.6%	100.0%
③家庭教育に関する学級・講座	218	939	60	1,217
	17.9%	77.2%	4.9%	100.0%
④教育相談センター・教育相談室	375	779	63	1,217
	30.8%	64.0%	5.2%	100.0%
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	814	334	69	1,217
	66.9%	27.4%	5.7%	100.0%
⑥熊谷市子育て支援総合窓口	601	563	53	1,217
	49.4%	46.3%	4.4%	100.0%
⑦熊谷市ファミリーサポートセンター事業	715	444	58	1,217
	58.8%	36.5%	4.8%	100.0%
⑧熊谷市病児等緊急サポート事業	766	394	57	1,217
	62.9%	32.4%	4.7%	100.0%
⑨ハートフルくまがや「子育てガイドブック」	730	437	50	1,217
	60.0%	35.9%	4.1%	100.0%
⑩熊谷市子育て世代包括支援センターくまっこる-むくまっこる-む母子健	681	474	62	1,217
	56.0%	38.9%	5.1%	100.0%
⑪利用者支援事業すずかけ相談室・くまっぺ相談室・たじまっこ相談室	598	561	58	1,217
	49.1%	46.1%	4.8%	100.0%
⑫病児保育室くまちゃんち	574	595	48	1,217
	47.2%	48.9%	3.9%	100.0%
⑬保育コンシェルジュ(保育課内)	181	984	52	1,217
	14.9%	80.9%	4.3%	100.0%
⑭その他	8	105	1,104	1,217
	0.7%	8.6%	90.7%	100.0%

利用度は、「②保健センター・母子健康センターの情報・相談事業（49.1%）」、「⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放（35.7%）」、「①母親（父親）学級、両親学級、育児学級の情報・相談事業（30.2%）」の割合が比較的高くなっています。

■ 利用度

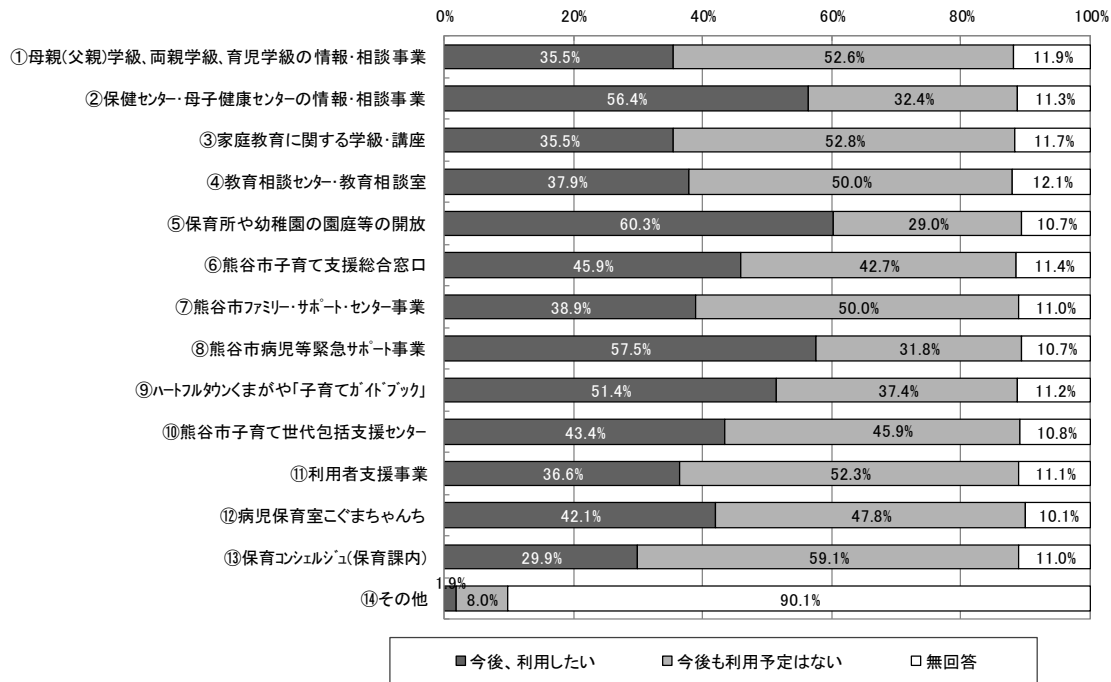


項目	これまでに利用したことがある	これまでに利用したことがない	無回答	回答者数
①母親(父親)学級、両親学級、育児学級の情報・相談事業	368	751	98	1,217
②保健センター・母子健康センターの情報・相談事業	597	540	80	1,217
③家庭教育に関する学級・講座	29	1,059	129	1,217
④教育相談センター・教育相談室	23	1,057	137	1,217
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	435	679	103	1,217
⑥熊谷市子育て支援総合窓口	103	998	116	1,217
⑦熊谷市ファミリーサポートセンター事業	47	1,046	124	1,217
⑧熊谷市病児等緊急サポート事業	83	1,017	117	1,217
⑨ハートフルなぐまがや「子育てガイドブック」	288	810	119	1,217
⑩熊谷市子育て世代包括支援センターくまっころ-むくまっころ-む母子健	210	897	110	1,217
⑪利用者支援事業すずかけ相談室・くまっころ相談室・たじまっころ相談室	140	965	112	1,217
⑫病児保育室こぐまちゃんち	16	1,077	124	1,217
⑬保育コンシェルジュ(保育課内)	42	1,048	127	1,217
⑭その他	4	126	1,087	1,217

II 就学前児童調査

利用意向は、「⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放（60.3%）」、「⑧熊谷市病児等緊急サポート事業（57.5%）」、「②保健センター・母子健康センターの情報・相談事業（56.4%）」の利用意向割合が高くなっています。

■ 利用意向



項目	今後、利用したい	今後も利用予定はない	無回答	回答者数
①母親(父親)学級、両親学級、育児学級の情報・相談事業	432	640	145	1,217
	35.5%	52.6%	11.9%	100.0%
②保健センター・母子健康センターの情報・相談事業	686	394	137	1,217
	56.4%	32.4%	11.3%	100.0%
③家庭教育に関する学級・講座	432	643	142	1,217
	35.5%	52.8%	11.7%	100.0%
④教育相談センター・教育相談室	461	609	147	1,217
	37.9%	50.0%	12.1%	100.0%
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	734	353	130	1,217
	60.3%	29.0%	10.7%	100.0%
⑥熊谷市子育て支援総合窓口	558	520	139	1,217
	45.9%	42.7%	11.4%	100.0%
⑦熊谷市ファミリー・サポート・センター事業	474	609	134	1,217
	38.9%	50.0%	11.0%	100.0%
⑧熊谷市病児等緊急サポート事業	700	387	130	1,217
	57.5%	31.8%	10.7%	100.0%
⑨ハートフルなくまがや「子育てガイドブック」	626	455	136	1,217
	51.4%	37.4%	11.2%	100.0%
⑩熊谷市子育て世代包括支援センターくまっころ-む・くまっころ-む母子健	528	558	131	1,217
	43.4%	45.9%	10.8%	100.0%
⑪利用者支援事業すずかけ相談室・くまっぺ相談室・たじまっこ相談室	445	637	135	1,217
	36.6%	52.3%	11.1%	100.0%
⑫病児保育室くまちゃんち	512	582	123	1,217
	42.1%	47.8%	10.1%	100.0%
⑬保育コンシェルジュ(保育課内)	364	719	134	1,217
	29.9%	59.1%	11.0%	100.0%
⑭その他	23	97	1,097	1,217
	1.9%	8.0%	90.1%	100.0%

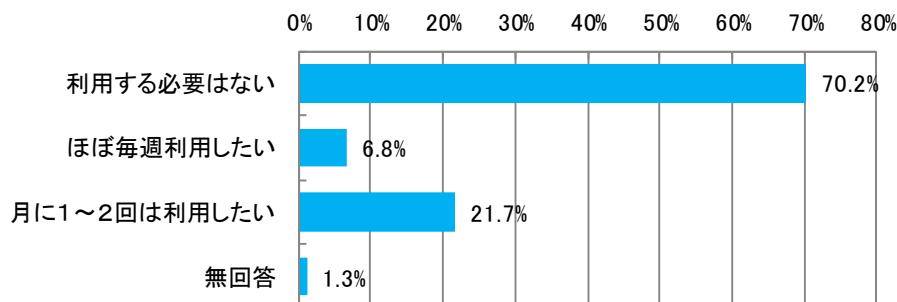
7. 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます。）。希望がある場合は、利用したい時間帯を(例)09時15分頃～18時30分頃のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」の割合が70.2%に対し、「ほぼ毎週利用したい（6.8%）」と「月に1～2回は利用したい（21.7%）」の合計割合は28.5%となっています。

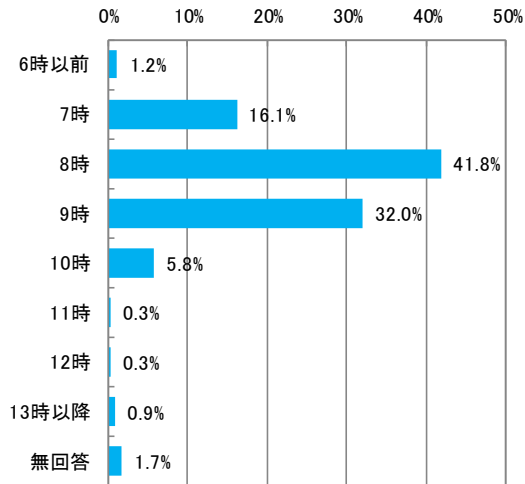
「ほぼ毎週利用したい」、「月に1～2回は利用したい」と回答した方の利用したい時間帯では、登園時間については「8時」が41.8%、「9時」が32.0%、帰園時間については、「17時」が25.4%、「18時」が22.5%となっています。さらに、1日あたりの利用希望時間は、「7時間～10時間」が62.2%と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
利用する必要はない	854	70.2%
ほぼ毎週利用したい	83	6.8%
月に1～2回は利用したい	264	21.7%
無回答	16	1.3%
回答者数	1,217	100.0%

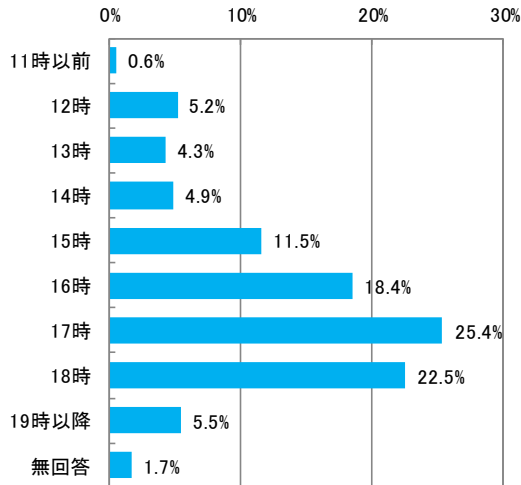
II 就学前児童調査

■ 利用時間帯（登園時間）



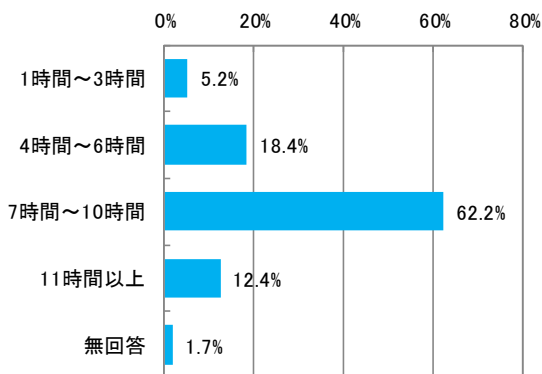
項目	度数	構成比
6時以前	4	1.2%
7時	56	16.1%
8時	145	41.8%
9時	111	32.0%
10時	20	5.8%
11時	1	0.3%
12時	1	0.3%
13時以降	3	0.9%
無回答	6	1.7%
回答者数	347	
非該当	870	

■ 利用時間帯（帰園時間）



項目	度数	構成比
11時以前	2	0.6%
12時	18	5.2%
13時	15	4.3%
14時	17	4.9%
15時	40	11.5%
16時	64	18.4%
17時	88	25.4%
18時	78	22.5%
19時以降	19	5.5%
無回答	6	1.7%
回答者数	347	
非該当	870	

■ 1日あたり利用時間

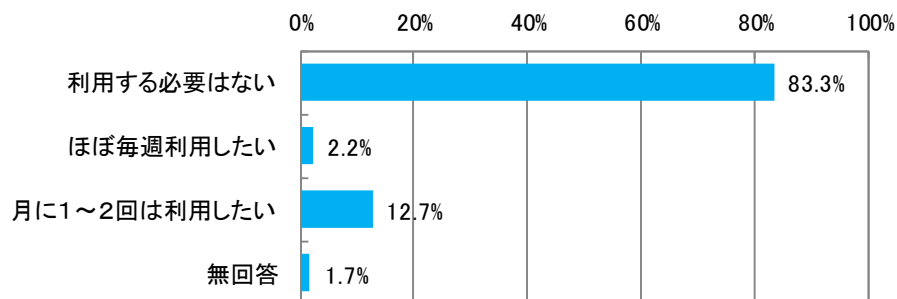


項目	度数	構成比
1時間～3時間	18	5.2%
4時間～6時間	64	18.4%
7時間～10時間	216	62.2%
11時間以上	43	12.4%
無回答	6	1.7%
回答者数	347	
非該当	870	

(2) 日曜日・祝日

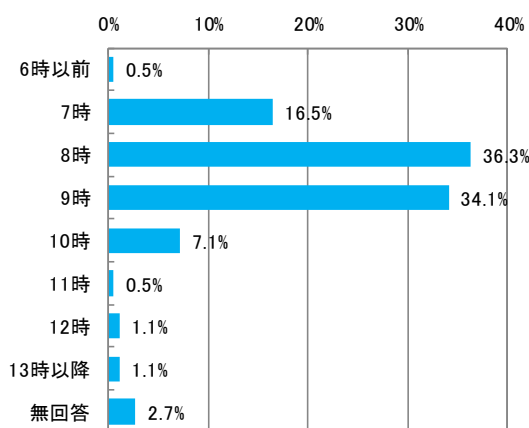
日曜・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」の割合が83.3%に対し、「ほぼ毎週利用したい(2.2%)」と「月に1～2回は利用したい(12.7%)」の合計割合は14.9%となっています。

「ほぼ毎週利用したい」、「月に1～2回は利用したい」と回答した方の利用したい時間帯では、登園時刻については、「8時」が36.3%、「9時」が34.1%、帰園時刻については、「18時」が28.0%、「17時」が22.0%の割合が比較的高くなっています。さらに、1日あたりの利用希望時間は、「7時間～10時間」の割合が56.0%と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
利用する必要はない	1,014	83.3%
ほぼ毎週利用したい	27	2.2%
月に1～2回は利用したい	155	12.7%
無回答	21	1.7%
回答者数	1,217	100.0%

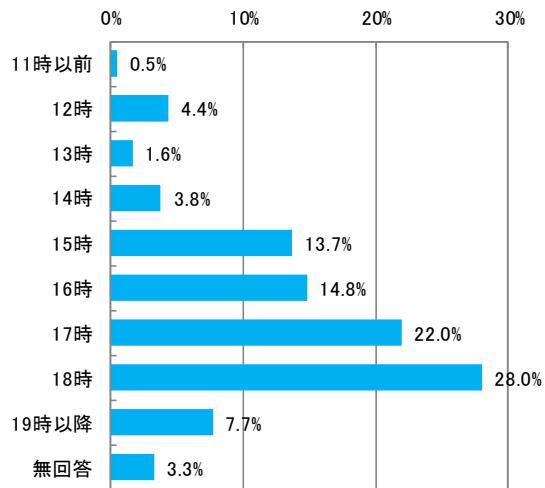
■ 利用時間帯（登園時間）



項目	度数	構成比
6時以前	1	0.5%
7時	30	16.5%
8時	66	36.3%
9時	62	34.1%
10時	13	7.1%
11時	1	0.5%
12時	2	1.1%
13時以降	2	1.1%
無回答	5	2.7%
回答者数	182	
非該当	1,035	

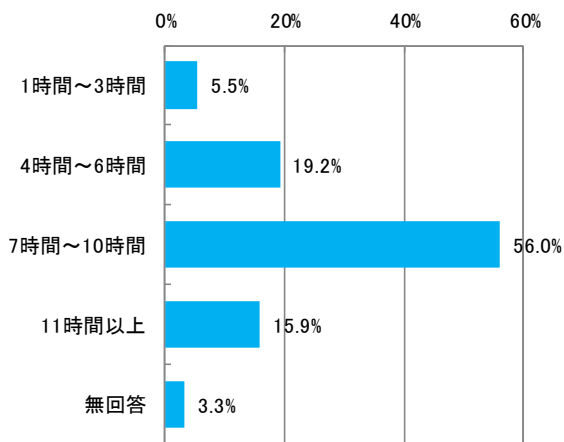
II 就学前児童調査

■ 利用時間帯（帰園時間）



項目	度数	構成比
11時以前	1	0.5%
12時	8	4.4%
13時	3	1.6%
14時	7	3.8%
15時	25	13.7%
16時	27	14.8%
17時	40	22.0%
18時	51	28.0%
19時以降	14	7.7%
無回答	6	3.3%
回答者数	182	
非該当	1,035	

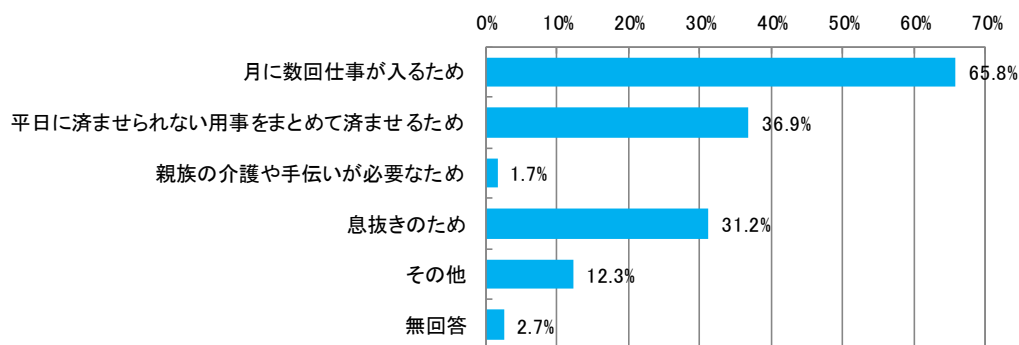
■ 1日あたり利用時間



項目	度数	構成比
1時間～3時間	10	5.5%
4時間～6時間	35	19.2%
7時間～10時間	102	56.0%
11時間以上	29	15.9%
無回答	6	3.3%
回答者数	182	
非該当	1,035	

問 20-1 問 20 の（１）または（２）で、「3.月に1～2回は利用したい」に○をつけた方
 にかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号
 すべてに○をつけてください。

日曜・祝日の教育・保育の事業を毎週ではなく、たまに利用したい理由は、「月に
 数回仕事が入るため」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「平日に済ませられない
 用事をまとめて済ませるため」が 36.9%、「息抜きのため」が 31.2%となっていま
 す。

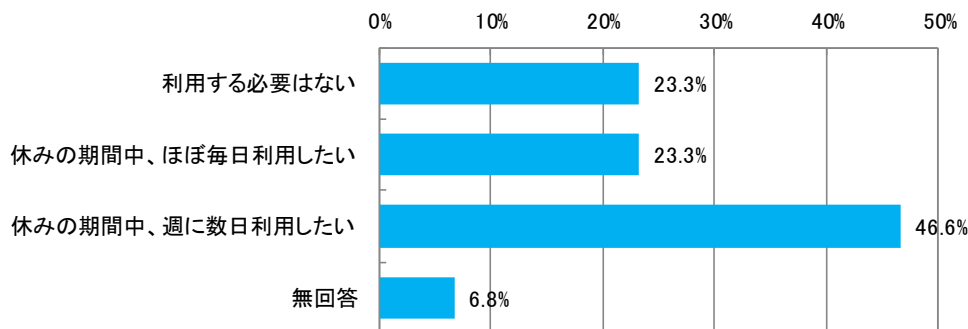


項目	度数	構成比
月に数回仕事が入るため	198	65.8%
平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	111	36.9%
親族の介護や手伝いが必要なため	5	1.7%
息抜きのため	94	31.2%
その他	37	12.3%
無回答	7	2.3%
回答者数	301	
非該当	916	

問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を(例)09時15分頃～18時30分頃のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

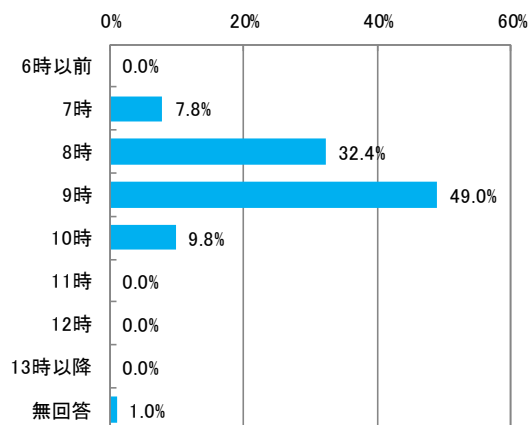
幼稚園利用者の夏休み・冬休みなどの長期の休暇中の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」の割合が23.3%に対し、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい(23.3%)」と「休みの期間中、週に数日利用したい(46.6%)」の割合合計は69.9%となっています。

「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」、「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方の利用したい時間帯では、登園時刻については、「9時」が49.0%、「8時」が32.4%、帰園時刻については、「15時」が35.3%、「16時」が23.5%と高くなっています。さらに、1日あたりの利用希望時間は、「7時間～10時間」の割合が51.0%と高くなっています。



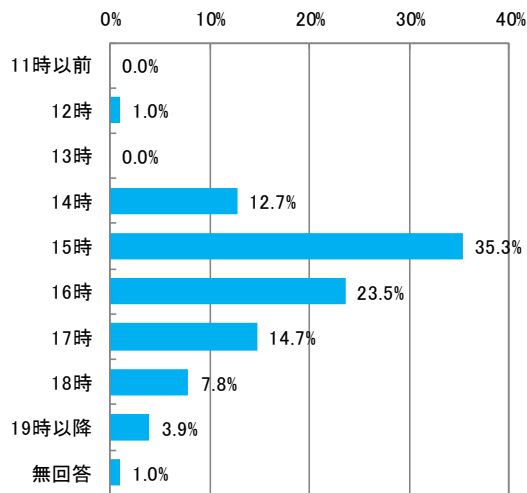
項目	度数	構成比
利用する必要はない	34	23.3%
休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	34	23.3%
休みの期間中、週に数日利用したい	68	46.6%
無回答	10	6.8%
回答者数	146	
非該当	1,071	

■ 利用時間帯 (登園時刻)



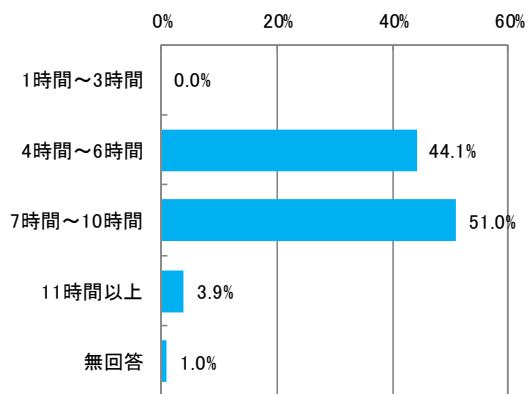
項目	度数	構成比
6時以前	0	0.0%
7時	8	7.8%
8時	33	32.4%
9時	50	49.0%
10時	10	9.8%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時以降	0	0.0%
無回答	1	1.0%
回答者数	102	
非該当	1,115	

■ 利用時間帯（帰園時刻）



項目	度数	構成比
11時以前	0	0.0%
12時	1	1.0%
13時	0	0.0%
14時	13	12.7%
15時	36	35.3%
16時	24	23.5%
17時	15	14.7%
18時	8	7.8%
19時以降	4	3.9%
無回答	1	1.0%
回答者数	102	
非該当	1,115	

■ 1日あたり利用希望時間

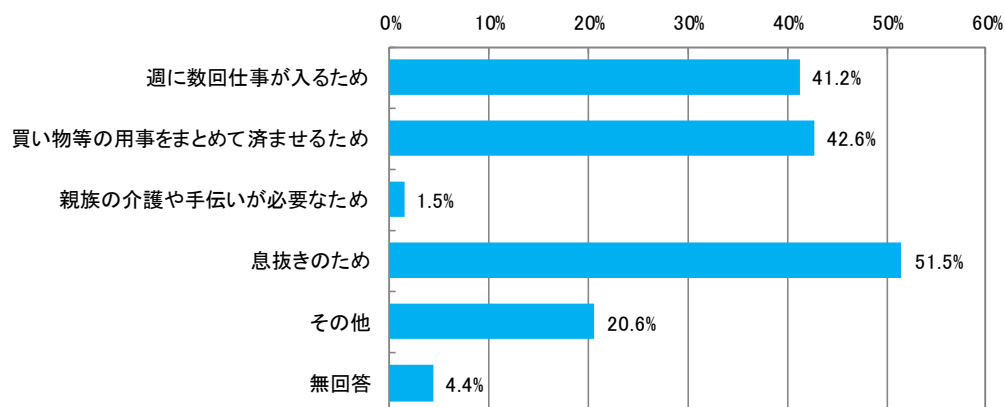


項目	度数	構成比
1時間～3時間	0	0.0%
4時間～6時間	45	44.1%
7時間～10時間	52	51.0%
11時間以上	4	3.9%
無回答	1	1.0%
回答者数	102	
非該当	1,115	

II 就学前児童調査

問 21-1 問 21 で、「3.週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

幼稚園利用者の夏休み・冬休みなどの長期の休暇中の定期的な教育・保育の事業を毎週ではなく、たまに利用したい理由は、「息抜きのため（51.5%）」、「買い物等の用事をまとめて済ませるため（42.6%）」、「週に数回仕事が入るため（41.2%）」の割合が高くなっています。

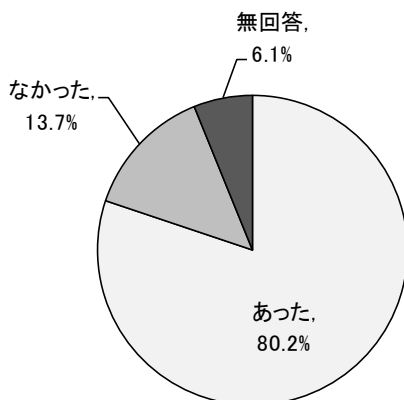


項目	度数	構成比
週に数回仕事が入るため	28	41.2%
買い物等の用事をまとめて済ませるため	29	42.6%
親族の介護や手伝いが必要なため	1	1.5%
息抜きのため	35	51.5%
その他	14	20.6%
無回答	3	4.4%
回答者数	68	
非該当	1,149	

8. 宛名のお子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 23 にお進みください。この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やけがにより「平日の定期的な教育・保育の事業」が利用できなかったことはありますか。

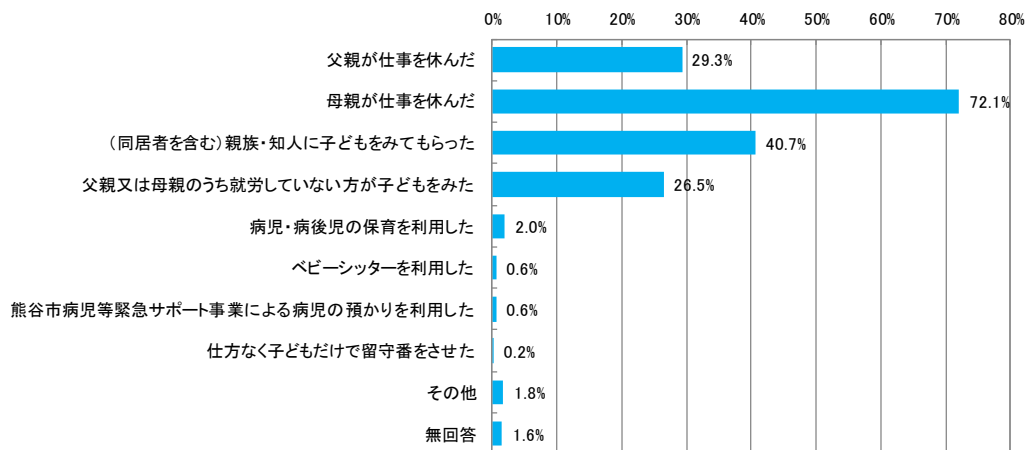
平日の定期的な教育・保育の事業の利用者のうち、子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験は、「あった」の割合が 80.2% に対し、「なかった」が 13.7% となっており、「あった」の割合が上回っています。



項目	度数	構成比
あった	509	80.2%
なかった	87	13.7%
無回答	39	6.1%
回答者数	635	
非該当	582	

問 22-1 宛名のお子さんが、病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も 1 日としてください。数字は一桁に一字）。

子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の、この 1 年間に行った対処方法は、「母親が仕事を休んだ」の割合が 72.1% と最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が 40.7%、「父親が仕事を休んだ」が 29.3% となっています。



II 就学前児童調査

項目	度数	構成比
父親が仕事を休んだ	149	29.3%
母親が仕事を休んだ	367	72.1%
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	207	40.7%
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	135	26.5%
病児・病後児の保育を利用した(病児保育こぐまちゃんち・保育施設で実施しているもの)	10	2.0%
ベビーシッターを利用した	3	0.6%
熊谷市病児等緊急サポート事業による病児の預かりを利用した	3	0.6%
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	0.2%
その他	9	1.8%
無回答	8	1.6%
回答者数	509	
非該当	708	

ア. 父親が仕事を休んだ

項目	度数	構成比
1日～3日	86	57.7%
4日～7日	38	25.5%
8日～10日	15	10.1%
11日～20日	5	3.4%
21日～30日	1	0.7%
31日以上	0	0.0%
無回答	4	2.7%
回答者数	149	
非該当	1,068	

イ. 母親が仕事を休んだ

項目	度数	構成比
1日～3日	104	28.3%
4日～7日	79	21.5%
8日～10日	90	24.5%
11日～20日	60	16.3%
21日～30日	13	3.5%
31日以上	5	1.4%
無回答	16	4.4%
回答者数	367	
非該当	850	

ウ. 親族・知人に子どもをみてもらった

項目	度数	構成比
1日～3日	89	43.0%
4日～7日	52	25.1%
8日～10日	37	17.9%
11日～20日	12	5.8%
21日～30日	5	2.4%
31日以上	3	1.4%
無回答	9	4.3%
回答者数	207	
非該当	1,010	

エ. 就労していない保護者

項目	度数	構成比
1日～3日	39	28.9%
4日～7日	46	34.1%
8日～10日	12	8.9%
11日～20日	22	16.3%
21日～30日	2	1.5%
31日以上	5	3.7%
無回答	9	6.7%
回答者数	135	
非該当	1,082	

オ. 病児・病後児保育

項目	度数	構成比
1日～3日	6	60.0%
4日～7日	1	10.0%
8日～10日	3	30.0%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	10	
非該当	1,207	

カ. ベビーシッター

項目	度数	構成比
1日～3日	3	100.0%
4日～7日	0	0.0%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	3	
非該当	1,214	

キ. 熊谷市病児等緊急サポート事業

項目	度数	構成比
1日～3日	3	100.0%
4日～7日	0	0.0%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	3	
非該当	1,214	

ク. 子どもだけで留守番

項目	度数	構成比
1日～3日	1	100.0%
4日～7日	0	0.0%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	1	
非該当	1,216	

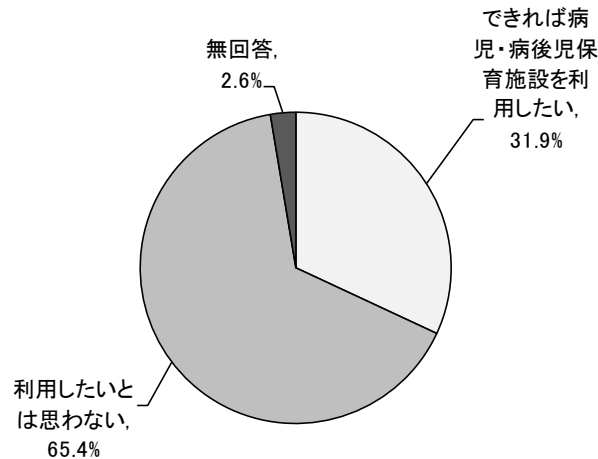
ケ. その他

項目	度数	構成比
1日～3日	1	11.1%
4日～7日	2	22.2%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	2	22.2%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	4	44.4%
回答者数	9	
非該当	1,208	

問 22-2 問 22-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、仕事を休まずに「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となる場合があります。

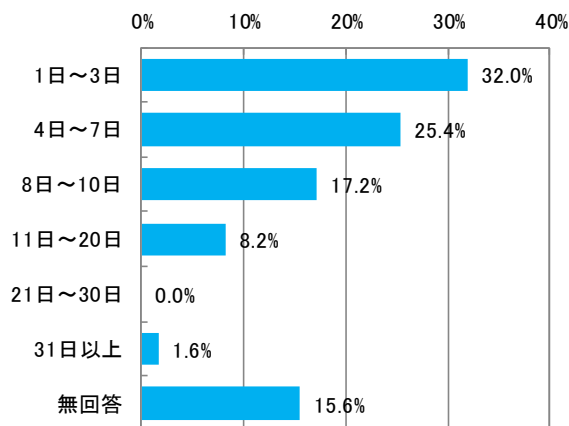
子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の、病児・病後児保育施設の利用希望は、「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」の割合が 31.9% に対し、「利用したいとは思わない」の割合が 65.4% となっています。

また、利用希望日数は、「1 日～3 日」の割合が 32.0% と高くなっています。



項目	度数	構成比
できれば病児・病後児保育施設を利用したい	122	31.9%
利用したいとは思わない	250	65.4%
無回答	10	2.6%
回答者数	382	
非該当	835	

■ 利用希望日数

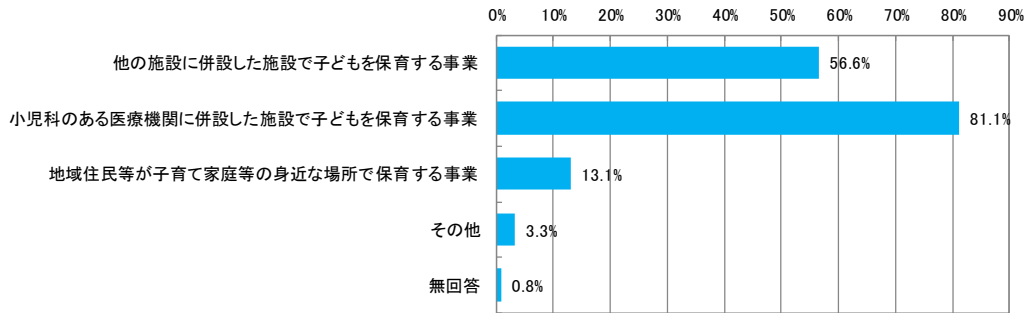


項目	度数	構成比
1日～3日	39	32.0%
4日～7日	31	25.4%
8日～10日	21	17.2%
11日～20日	10	8.2%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	2	1.6%
無回答	19	15.6%
回答者数	122	
非該当	1,095	

II 就学前児童調査

問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方
にうかがいます。その場合、どのような事業形態が望ましいと思われませんか。当ては
まる番号すべてに○をつけてください。

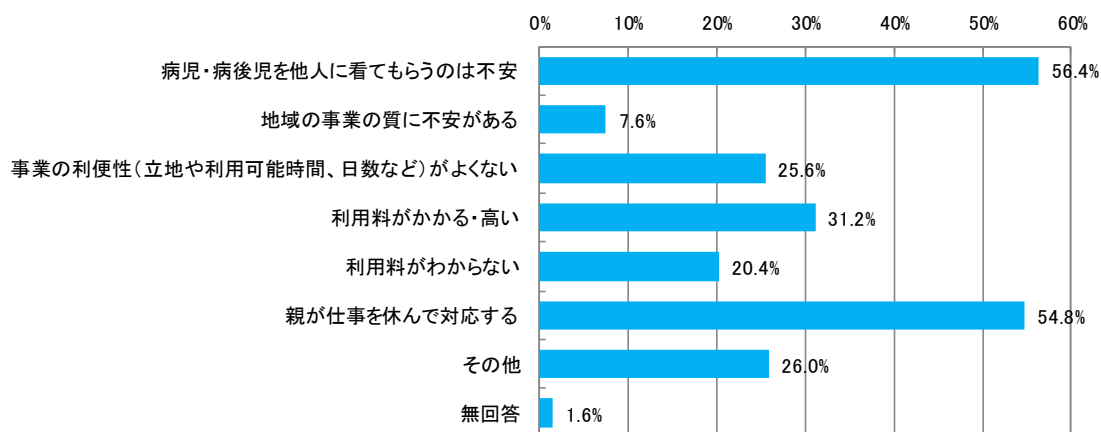
病児・病後児保育施設の望ましい事業形態は、「小児科のある医療機関に併設した
施設で子どもを保育する事業」の割合が 81.1%と最も高く、次いで「他の施設（例：
幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が 56.6%となってい
ます。



項目	度数	構成比
他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業	69	56.6%
小児科のある医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業	99	81.1%
地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業 （例：熊谷市病児等緊急サポート事業など）	16	13.1%
その他	4	3.3%
無回答	1	0.8%
回答者数	122	
非該当	1,095	

問 22-4 問 22-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由は、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が 56.4%と高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が 54.8%、「利用料がかかる・高い」が 31.2%となっています。



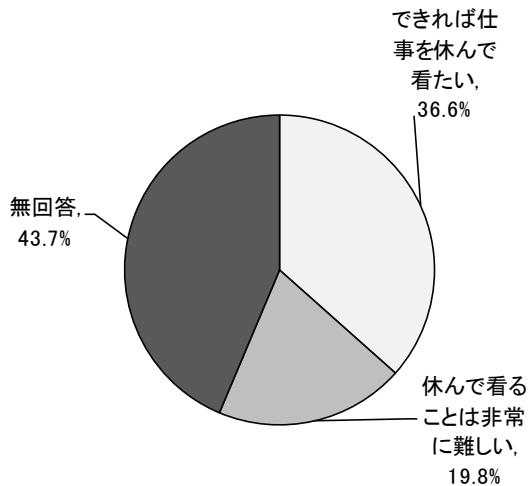
項目	度数	構成比
病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	141	56.4%
地域の事業の質に不安がある	19	7.6%
事業の利便性(立地や利用可能時間、日数など)がよくない	64	25.6%
利用料がかかる・高い	78	31.2%
利用料がわからない	51	20.4%
親が仕事を休んで対応する	137	54.8%
その他	65	26.0%
無回答	4	1.6%
回答者数	250	
非該当	967	

II 就学前児童調査

問 22-5 問 22-1 で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

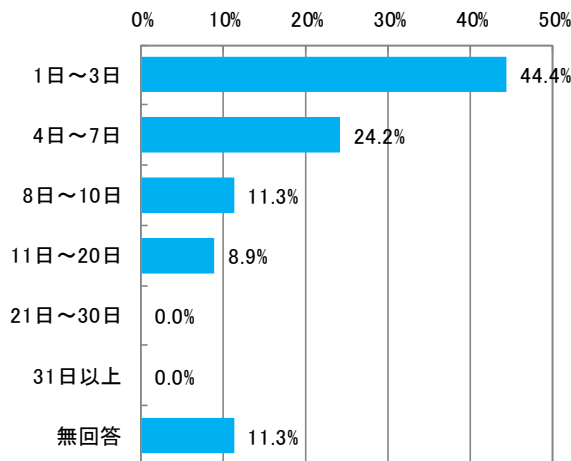
子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかったときの対処方法で、父親や母親が休んだ以外を回答した保護者のうち、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が 36.6%に対し、「休んで看ることは非常に難しい」が 19.8%と、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が上回っています。

また、父親や母親が休んで子どもを看たい日数は、「1日～3日」の割合が 44.4%と高くなっています。



項目	度数	構成比
できれば仕事を休んで看たい	124	36.6%
休んで看ることは非常に難しい	67	19.8%
無回答	148	43.7%
回答者数	339	
非該当	878	

■休んで子どもをみたい日数

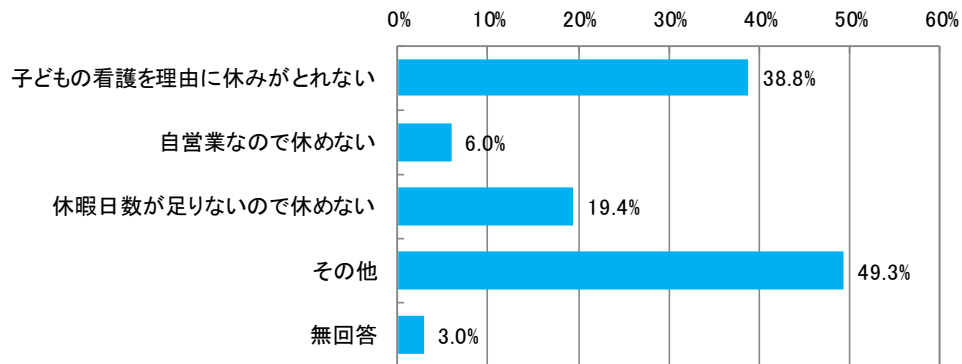


項目	度数	構成比
1日～3日	55	44.4%
4日～7日	30	24.2%
8日～10日	14	11.3%
11日～20日	11	8.9%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	14	11.3%
回答者数	124	
非該当	1,093	

問 22-6 問 22-5 で「2 休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかったとき、父親や母親が休んで見ることは難しいと回答した理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が 38.8%と高くなっています。

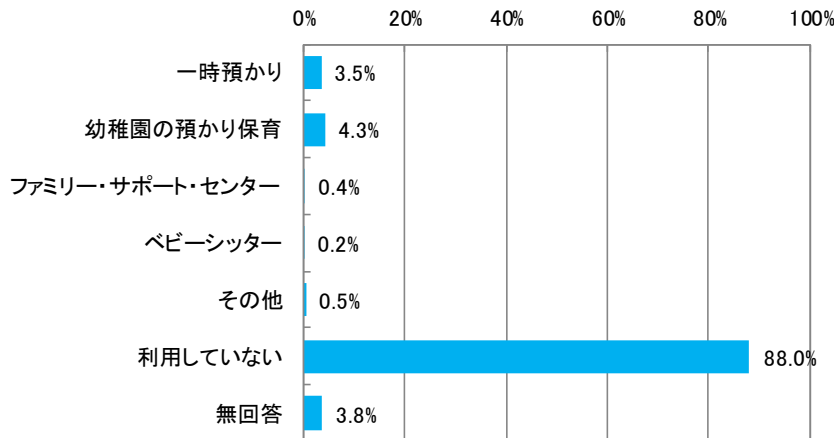


項目	度数	構成比
子どもの看護を理由に休みがとれない	26	38.8%
自営業なので休めない	4	6.0%
休暇日数が足りないので休めない	13	19.4%
その他	33	49.3%
無回答	2	3.0%
回答者数	67	
非該当	1,150	

9. 宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業は、「幼稚園の預かり保育（4.3%）」、「一時預かり（3.5%）」の割合は低く、「利用していない」の割合が88.0%と高くなっています。



項目	度数	構成比
一時預かり(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	43	3.5%
幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	52	4.3%
ファミリー・サポート・センター(保育所への送迎や学童保育終了後に一時的に子どもを預かる事業)	5	0.4%
ベビーシッター	3	0.2%
その他	6	0.5%
利用していない	1,071	88.0%
無回答	46	3.8%
回答者数	1,217	

1. 一時預かり

項目	度数	構成比
1日～3日	22	51.2%
4日～7日	10	23.3%
8日～10日	5	11.6%
11日～20日	4	9.3%
21日～30日	2	4.7%
31日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	43	
非該当	1,174	

2. 幼稚園の預かり保育

項目	度数	構成比
1日～3日	7	13.5%
4日～7日	12	23.1%
8日～10日	12	23.1%
11日～20日	11	21.2%
21日～30日	2	3.8%
31日以上	6	11.5%
無回答	2	3.8%
回答者数	52	
非該当	1,165	

3. ファミリー・サポート・センター

項目	度数	構成比
1日～3日	2	40.0%
4日～7日	0	0.0%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	1	20.0%
無回答	2	40.0%
回答者数	5	
非該当	1,212	

4. ベビーシッター

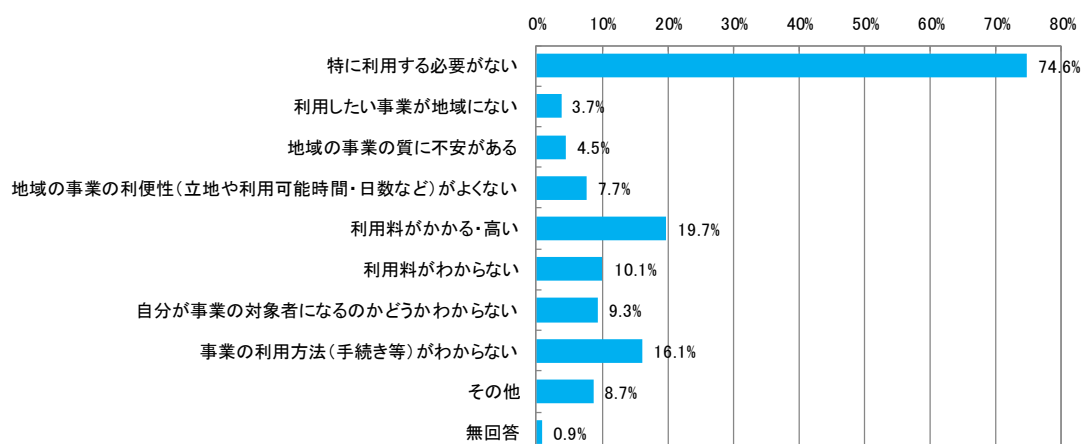
項目	度数	構成比
1日～3日	2	66.7%
4日～7日	1	33.3%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	3	
非該当	1,214	

5. その他

項目	度数	構成比
1日～3日	0	0.0%
4日～7日	1	16.7%
8日～10日	1	16.7%
11日～20日	2	33.3%
21日～30日	1	16.7%
31日以上	0	0.0%
無回答	1	16.7%
回答者数	6	
非該当	1,211	

問 23-1 問 23 で「6 利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」の割合が 74.6%と最も高くなっています。また、「利用料がかかる・高い」が 19.7%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 16.1%となっています。

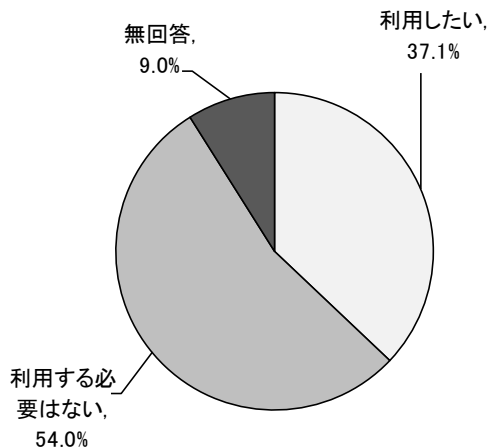


項目	度数	構成比
特に利用する必要がない	799	74.6%
利用したい事業が地域にない	40	3.7%
地域の事業の質に不安がある	48	4.5%
地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	82	7.7%
利用料がかかる・高い	211	19.7%
利用料がわからない	108	10.1%
自分が事業の対象者になるのかわからない	100	9.3%
事業の利用方法(手続き等)がわからない	172	16.1%
その他	93	8.7%
無回答	10	0.9%
回答者数	1,071	
非該当	146	

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）。なお事業の利用にあたっては一定の利用料がかかります。

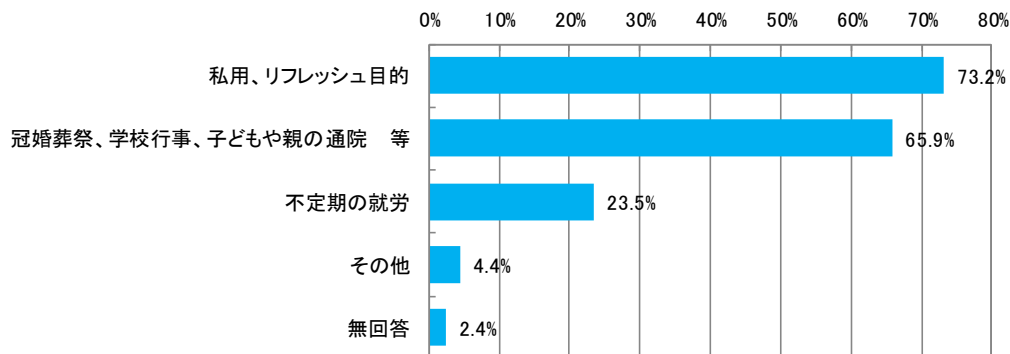
私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業の利用希望は、「利用したい」の割合が 37.1%に対し、「利用する必要はない」が 54.0%となっています。

また、利用目的別では、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が 73.2%「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」が 65.9%、「不定期の就労」が 23.5%となっています。年間利用日数の合計では、「11日～20日」の割合が 26.4%と高くなっています。



項目	度数	構成比
利用したい	451	37.1%
利用する必要はない	657	54.0%
無回答	109	9.0%
回答者数	1,217	100.0%

■ 利用意向内容



項目	度数	構成比
私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	330	73.2%
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	297	65.9%
不定期の就労	106	23.5%
その他	20	4.4%
無回答	11	2.4%
回答者数	451	
非該当	766	

■年間利用日数（合計）

項目	度数	構成比
1日～3日	53	11.8%
4日～7日	74	16.4%
8日～10日	74	16.4%
11日～20日	119	26.4%
21日～30日	44	9.8%
31日以上	58	12.9%
無回答	9	2.0%
回答者数	451	
非該当	766	

ア. 私用、リフレッシュ目的

項目	度数	構成比
1日～3日	78	23.6%
4日～7日	71	21.5%
8日～10日	57	17.3%
11日～20日	80	24.2%
21日～30日	20	6.1%
31日以上	13	3.9%
無回答	11	3.3%
回答者数	330	
非該当	887	

イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院 等

項目	度数	構成比
1日～3日	87	29.3%
4日～7日	103	34.7%
8日～10日	54	18.2%
11日～20日	30	10.1%
21日～30日	9	3.0%
31日以上	4	1.3%
無回答	10	3.4%
回答者数	297	
非該当	920	

ウ. 不定期の就労

項目	度数	構成比
1日～3日	18	17.0%
4日～7日	15	14.2%
8日～10日	28	26.4%
11日～20日	16	15.1%
21日～30日	14	13.2%
31日以上	12	11.3%
無回答	2	1.9%
回答者数	106	
非該当	1,111	

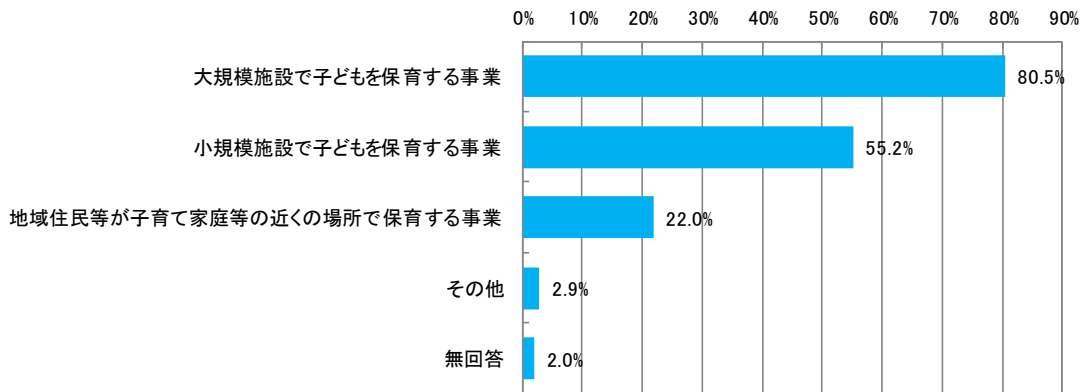
エ. その他

項目	度数	構成比
1日～3日	8	40.0%
4日～7日	4	20.0%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	2	10.0%
21日～30日	1	5.0%
31日以上	2	10.0%
無回答	3	15.0%
回答者数	20	
非該当	1,197	

Ⅱ 就学前児童調査

問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で子どもを預ける場合の事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」の割合が 80.5%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）」が 55.2%となっています。

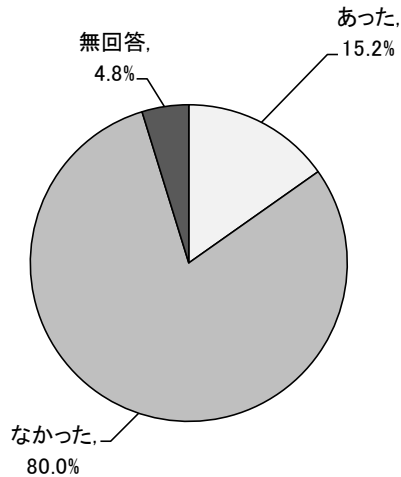


項目	度数	構成比
大規模施設で子どもを保育する事業(例：幼稚園・保育所等)	363	80.5%
小規模施設で子どもを保育する事業(例：地域子育て支援拠点等)	249	55.2%
地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例：ファミリー・サポート・センター等)	99	22.0%
その他	13	2.9%
無回答	9	2.0%
回答者数	451	
非該当	766	

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外に預かってもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含まれます。）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号と記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

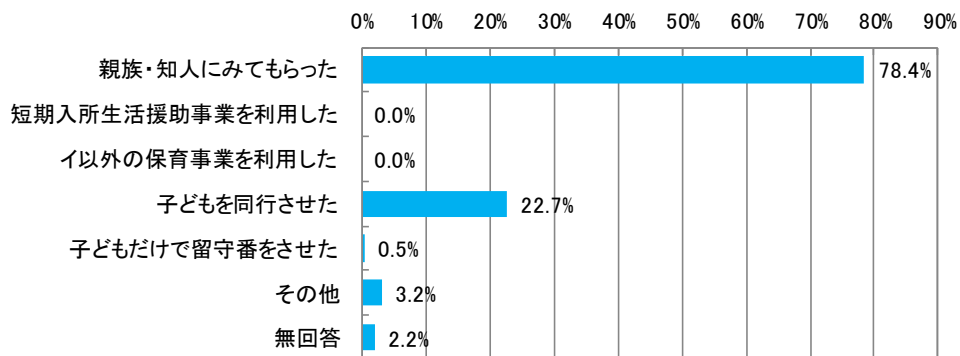
この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった経験は、「あった」の割合が15.2%に対し、「なかった」が80.0%となっています。

また、対処方法については、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」の割合が78.4%と高くなっています。



項目	度数	構成比
あった	185	15.2%
なかった	974	80.0%
無回答	58	4.8%
回答者数	1,217	100.0%

■ 対処方法内容



項目	度数	構成比
(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	145	78.4%
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	0	0.0%
イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	0	0.0%
子どもを同行させた	42	22.7%
子どもだけで留守番をさせた	1	0.5%
その他	6	3.2%
無回答	4	2.2%
回答者数	185	
非該当	1,032	

Ⅱ 就学前児童調査

■年間の対処日数

ア. 親族・知人にみてもらった

項目	度数	構成比
1日～3日	80	55.2%
4日～7日	43	29.7%
8日～10日	5	3.4%
11日～20日	7	4.8%
21日～30日	2	1.4%
31日以上	0	0.0%
無回答	8	5.5%
回答者数	145	
非該当	1,072	

エ. 子どもを同行させた

項目	度数	構成比
1日～3日	31	73.8%
4日～7日	7	16.7%
8日～10日	2	4.8%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	2	4.8%
回答者数	42	
非該当	1,175	

オ. 子どもだけで留守番をさせた

項目	度数	構成比
1日～3日	1	100.0%
4日～7日	0	0.0%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	1	
非該当	1,216	

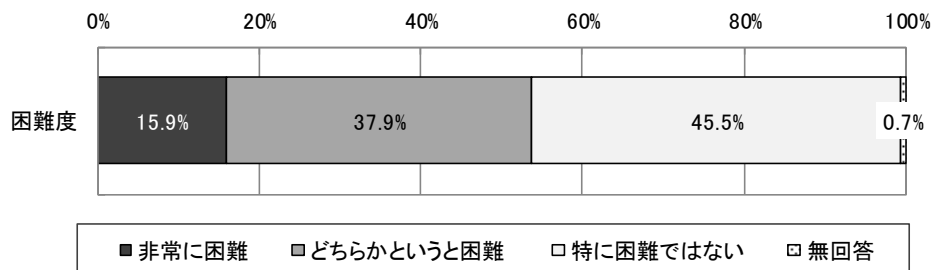
カ. その他

項目	度数	構成比
1日～3日	2	33.3%
4日～7日	1	16.7%
8日～10日	1	16.7%
11日～20日	1	16.7%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	1	16.7%
回答者数	6	
非該当	1,211	

※「イ. 短期入所生活援助事業を利用した」、「ウ. イ以外の保育事業を利用した」の回答なし

問 25-1 問 25で「1. あった ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった困難度は、「特に困難でない」の割合が45.5%と高くなっています。



項目	度数	構成比
非常に困難	23	15.9%
どちらかという困難	55	37.9%
特に困難ではない	66	45.5%
無回答	1	0.7%
回答者数	145	
非該当	1,072	

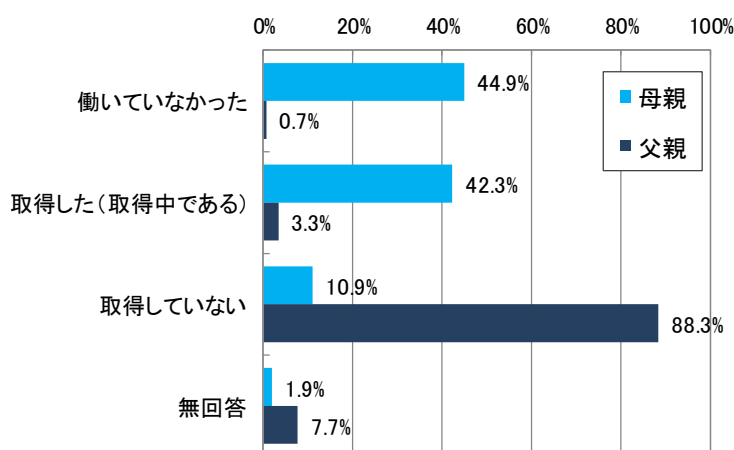
10. すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など、 家庭と職場の両立支援制度について

問 26 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかまたは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

子どもが生まれたときの育児休業の取得状況は、「取得した（取得中である）」の割合は、「母親」が42.3%に対し、「父親」は3.3%と、父親の取得割合が低くなっています。

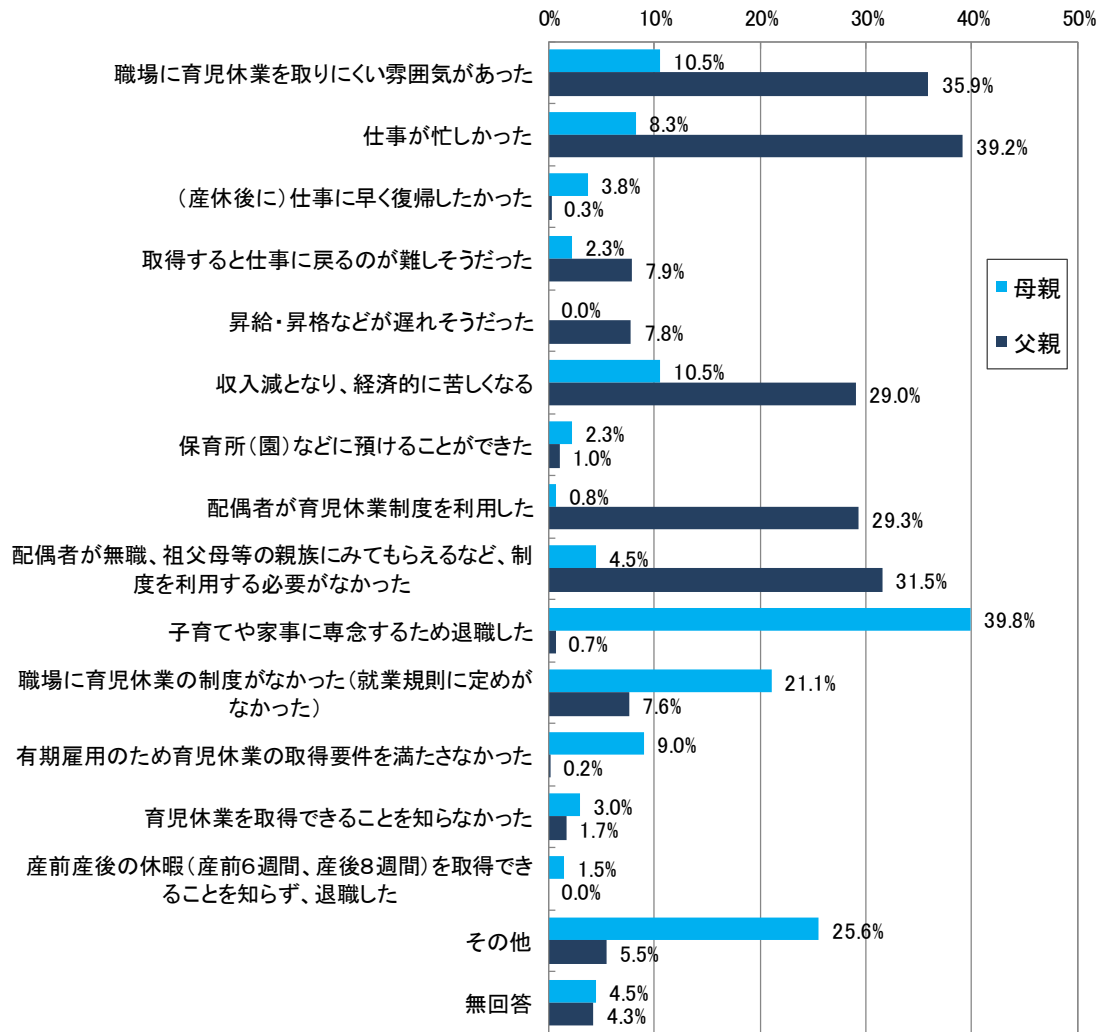
また、「働いていなかった」の割合は、「母親」が44.9%に対し、「父親」が0.7%となっています。

さらに、育児休業を取得していない理由は、「母親」では、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が39.8%と高く、「父親」では、「仕事が忙しかった（39.2%）」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった（35.9%）」「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった（31.5%）」の割合がそれぞれ3割を超え比較的高くなっています。



項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
働いていなかった	546	44.9%	8	0.7%
取得した(取得中である)	515	42.3%	40	3.3%
取得していない	133	10.9%	1,075	88.3%
無回答	23	1.9%	94	7.7%
回答者数	1,217	100.0%	1,217	100.0%

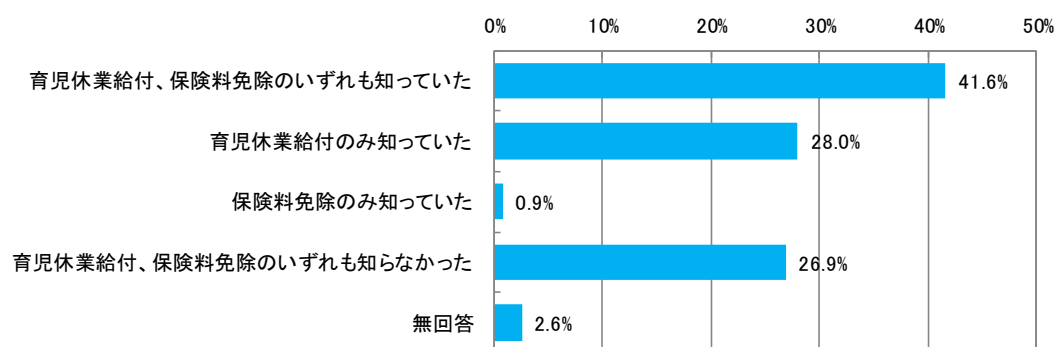
■ 育児休業を取得していない理由



項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	14	10.5%	386	35.9%
仕事が忙しかった	11	8.3%	421	39.2%
(産休後に) 仕事に早く復帰したかった	5	3.8%	3	0.3%
取得すると仕事に戻るのが難しそうだった	3	2.3%	85	7.9%
昇給・昇格などが遅れそうだった	0	0.0%	84	7.8%
収入減となり、経済的に苦しくなる	14	10.5%	312	29.0%
保育所(園)などに預けることができた	3	2.3%	11	1.0%
配偶者が育児休業制度を利用した	1	0.8%	315	29.3%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	6	4.5%	339	31.5%
子育てや家事に専念するため退職した	53	39.8%	7	0.7%
職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	28	21.1%	82	7.6%
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12	9.0%	2	0.2%
育児休業を取得できることを知らなかった	4	3.0%	18	1.7%
産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	2	1.5%	0	0.0%
その他	34	25.6%	59	5.5%
無回答	6	4.5%	46	4.3%
回答者数	133		1,075	
非該当	1,084		142	

問 27-1 子どもが原則 1 歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は 1 歳 6 月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

育児休業給付が支給される仕組み、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みの認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が 41.6%と最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が 28.0%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 26.9%となっています。



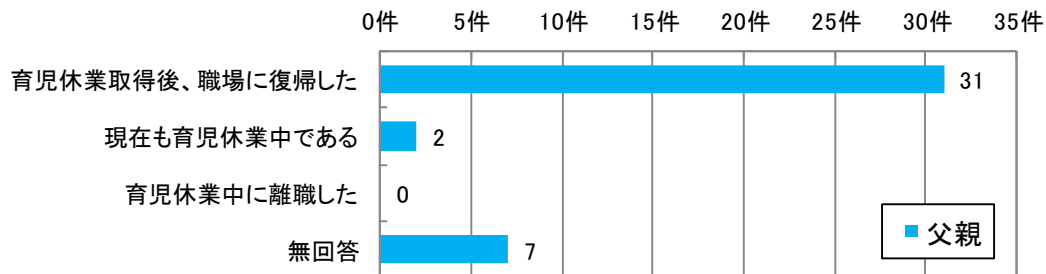
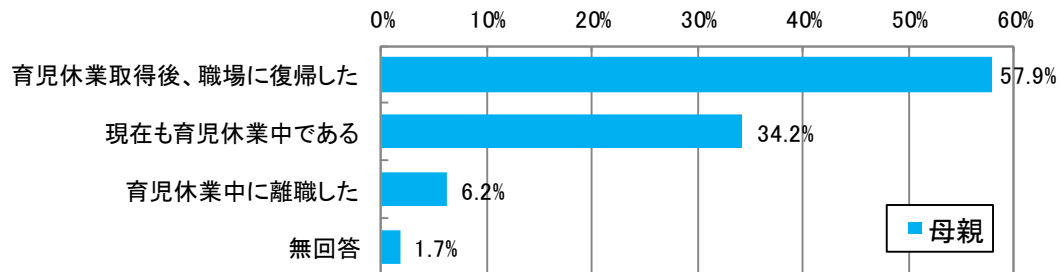
項目	度数	構成比
育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	506	41.6%
育児休業給付のみ知っていた	341	28.0%
保険料免除のみ知っていた	11	0.9%
育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった	327	26.9%
無回答	32	2.6%
回答者数	1,217	100.0%

Ⅱ 就学前児童調査

問 27-2 問 26 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。どちらか1つに○をつけてください。

(1) 母親 (2) 父親

育児休業取得後の職場への復帰状況は、「母親」「父親」ともに、「育児休業取得後、職場に復帰した（母親：57.9%、父親：77.5%）」の回答が高くなっています。

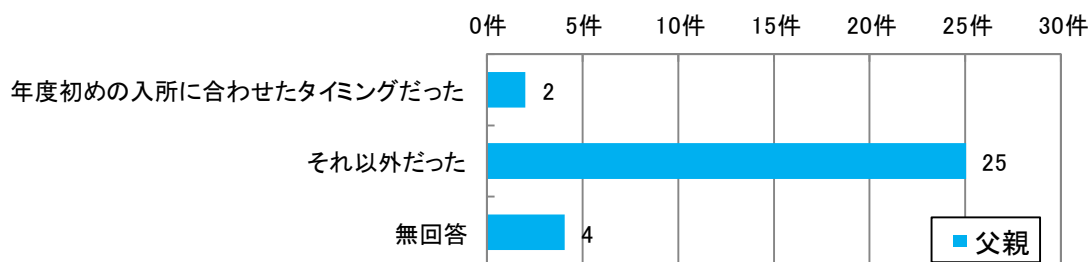
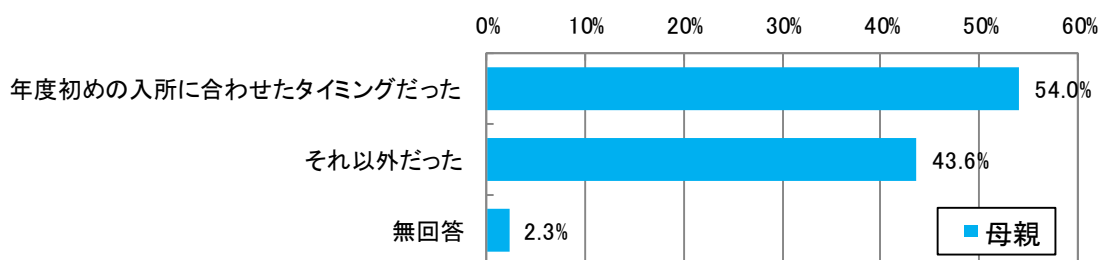


項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
育児休業取得後、職場に復帰した	298	57.9%	31	77.5%
現在も育児休業中である	176	34.2%	2	5.0%
育児休業中に離職した	32	6.2%	0	0.0%
無回答	9	1.7%	7	17.5%
回答者数	515		40	
非該当	702		1,177	

問 27-3 問 27-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。【注】年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1)母親 (2)父親

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングだったかについては、「母親」は「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が54.0%、「父親」は「それ以外だった」が25件の回答が高くなっています。

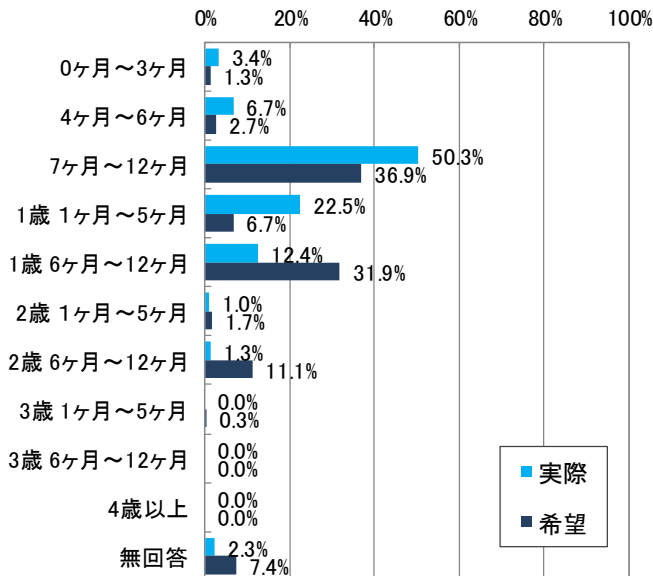


項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	161	54.0%	2	6.5%
それ以外だった	130	43.6%	25	80.6%
無回答	7	2.3%	4	12.9%
回答者数	298		31	
非該当	919		1,186	

問 27-4 問 27-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、
 お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。
 □内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親

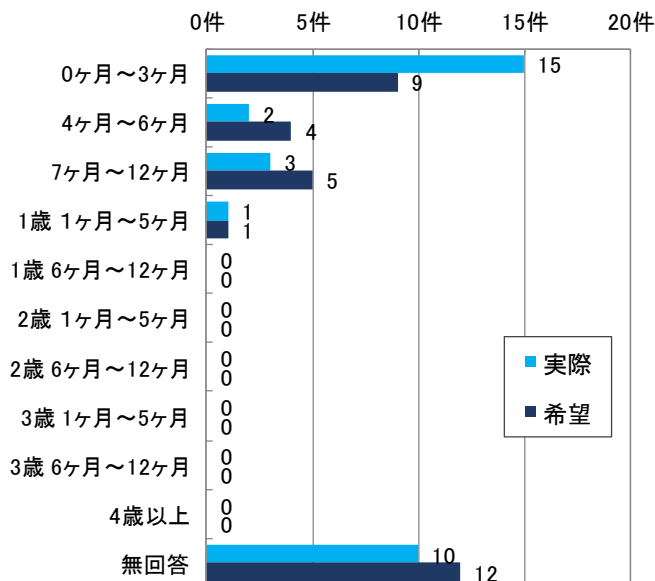
育児休業からの職場復帰時期（子どもの年齢）は、育児休業からの職場復帰時期（子どもの年齢）は、「実際」では「7ヶ月～12ヶ月」の割合が50.3%、「希望」では、「7ヶ月～12ヶ月」が36.9%、「1歳6ヶ月～12ヶ月」が31.9%と、それぞれ高くなっています。



項目	実際		希望	
	度数	構成比	度数	構成比
0ヶ月～3ヶ月	10	3.4%	4	1.3%
4ヶ月～6ヶ月	20	6.7%	8	2.7%
7ヶ月～12ヶ月	150	50.3%	110	36.9%
1歳 1ヶ月～5ヶ月	67	22.5%	20	6.7%
1歳 6ヶ月～12ヶ月	37	12.4%	95	31.9%
2歳 1ヶ月～5ヶ月	3	1.0%	5	1.7%
2歳 6ヶ月～12ヶ月	4	1.3%	33	11.1%
3歳 1ヶ月～5ヶ月	0	0.0%	1	0.3%
3歳 6ヶ月～12ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
4歳以上	0	0.0%	0	0.0%
無回答	7	2.3%	22	7.4%
回答者数	298		298	
非該当	919		919	

(2) 父親

育児休業からの職場復帰時期（子どもの年齢）は、「0ヶ月～3ヶ月」が「実際」（15件）、「希望」（9件）で高くなっています。

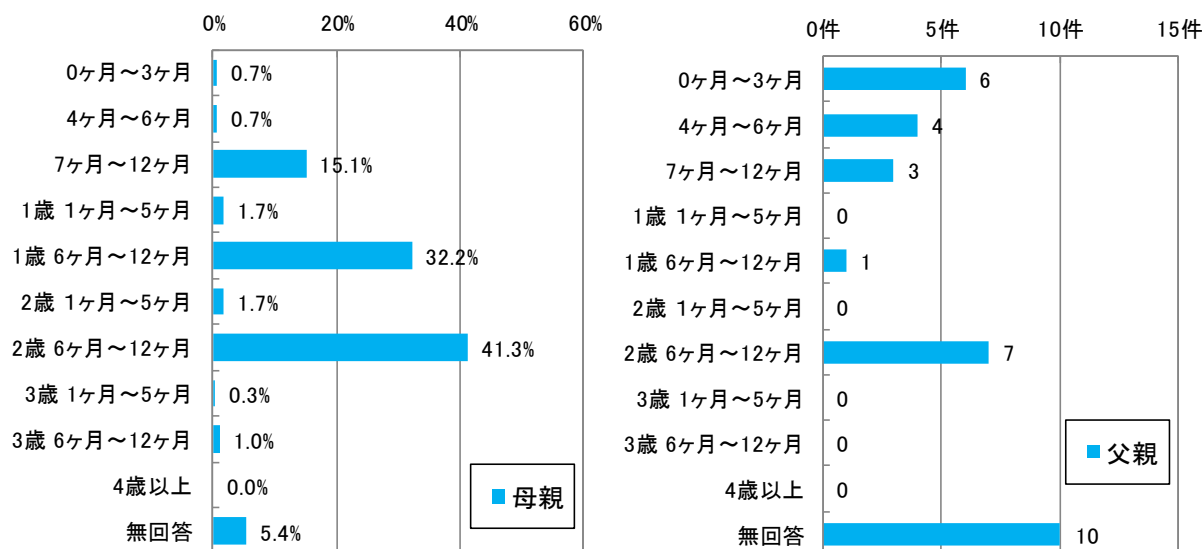


項目	実際		希望	
	度数	構成比	度数	構成比
0ヶ月～3ヶ月	15	48.4%	9	29.0%
4ヶ月～6ヶ月	2	6.5%	4	12.9%
7ヶ月～12ヶ月	3	9.7%	5	16.1%
1歳 1ヶ月～5ヶ月	1	3.2%	1	3.2%
1歳 6ヶ月～12ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
2歳 1ヶ月～5ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
2歳 6ヶ月～12ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
3歳 1ヶ月～5ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
3歳 6ヶ月～12ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
4歳以上	0	0.0%	0	0.0%
無回答	10	32.3%	12	38.7%
回答者数	31		31	
非該当	1,186		1,186	

問 27-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。口内で数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親 (2) 父親

育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の職場復帰の希望時期（子どもの年齢）は、「母親」では「2歳6ヶ月～12ヶ月」の割合が41.3%で最も高くなっています。「父親」では「2歳6ヶ月～12ヶ月」の回答が31件中8件となっています。



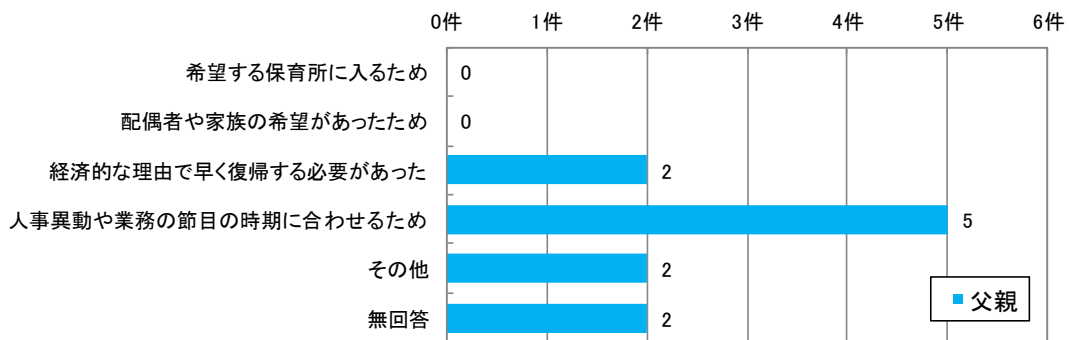
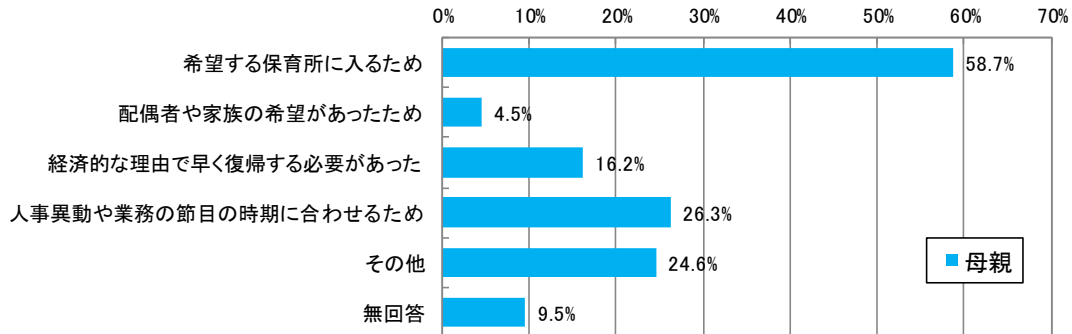
項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
0ヶ月～3ヶ月	2	0.7%	6	19.4%
4ヶ月～6ヶ月	2	0.7%	4	12.9%
7ヶ月～12ヶ月	45	15.1%	3	9.7%
1歳 1ヶ月～5ヶ月	5	1.7%	0	0.0%
1歳 6ヶ月～12ヶ月	96	32.2%	1	3.2%
2歳 1ヶ月～5ヶ月	5	1.7%	0	0.0%
2歳 6ヶ月～12ヶ月	123	41.3%	7	22.6%
3歳 1ヶ月～5ヶ月	1	0.3%	0	0.0%
3歳 6ヶ月～12ヶ月	3	1.0%	0	0.0%
4歳以上	0	0.0%	0	0.0%
無回答	16	5.4%	10	32.3%
回答者数	298		31	
非該当	919		1,186	

問 27-6 問 27-4 で実際の復帰と希望が異なる方について、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方(※当てはまる番号すべてに○をつけてください。)

①母親 ②父親

希望より早く復帰した保護者のうち、希望の時期に職場復帰しなかった理由は、「母親」では、「希望する保育所に入るため」の割合が 58.7%と高くなっています。「父親」では、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 5 件となっています。

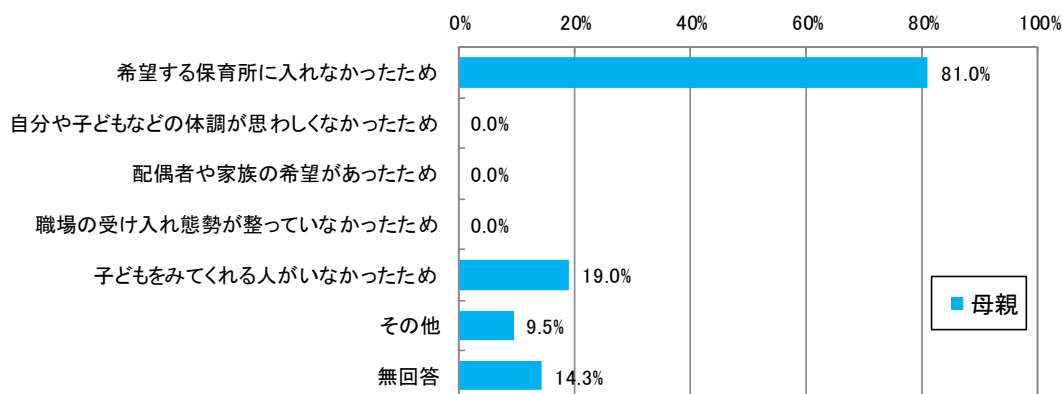


項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
希望する保育所に入るため	105	58.7%	0	0.0%
配偶者や家族の希望があったため	8	4.5%	0	0.0%
経済的な理由で早く復帰する必要があるため	29	16.2%	2	22.2%
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	47	26.3%	5	55.6%
その他	44	24.6%	2	22.2%
無回答	17	9.5%	2	22.2%
回答者数	179		9	
非該当	1,038		1,208	

(2)「希望」より遅く復帰した方 (※当てはまる番号すべてに○をつけてください。)

①母親 ②父親

希望より遅く復帰した保護者のうち、希望の時期に職場復帰しなかった理由は、「母親」では、「希望する保育園に入れなかったため」の割合が81.0%となっています。(※父親の回答はなし)

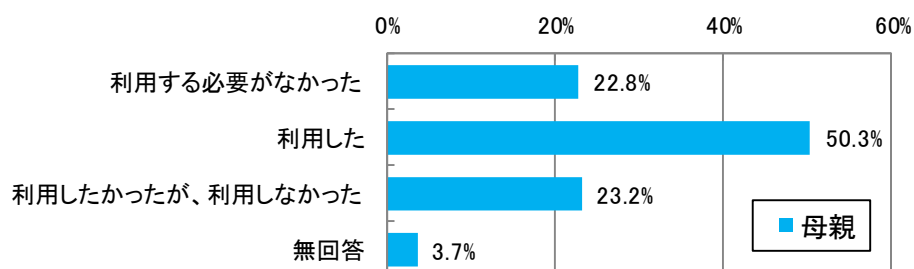


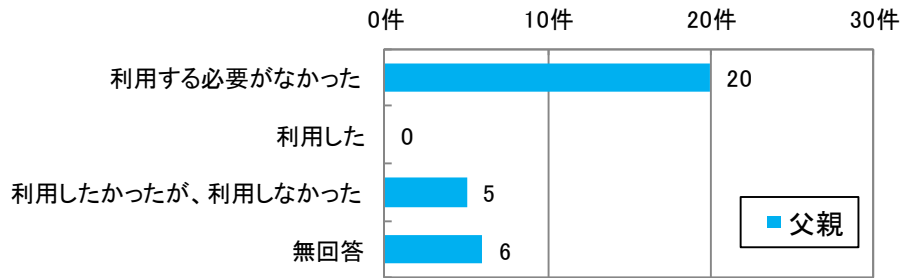
項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
希望する保育園に入れなかったため	34	81.0%	0	—
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	0	0.0%	0	—
配偶者や家族の希望があったため	0	0.0%	0	—
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	0	0.0%	0	—
子どもをみてくれる人がいなかったため	8	19.0%	0	—
その他	4	9.5%	0	—
無回答	6	14.3%	0	—
回答者数	42		0	
非該当	1,175		1,217	

問 27-7 問 27-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1)母親 (2)父親

育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況は、「母親」では「利用した」の割合が50.3%に対し、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が23.2%と、利用した割合が上回っています。「父親」では「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が20件となっています。





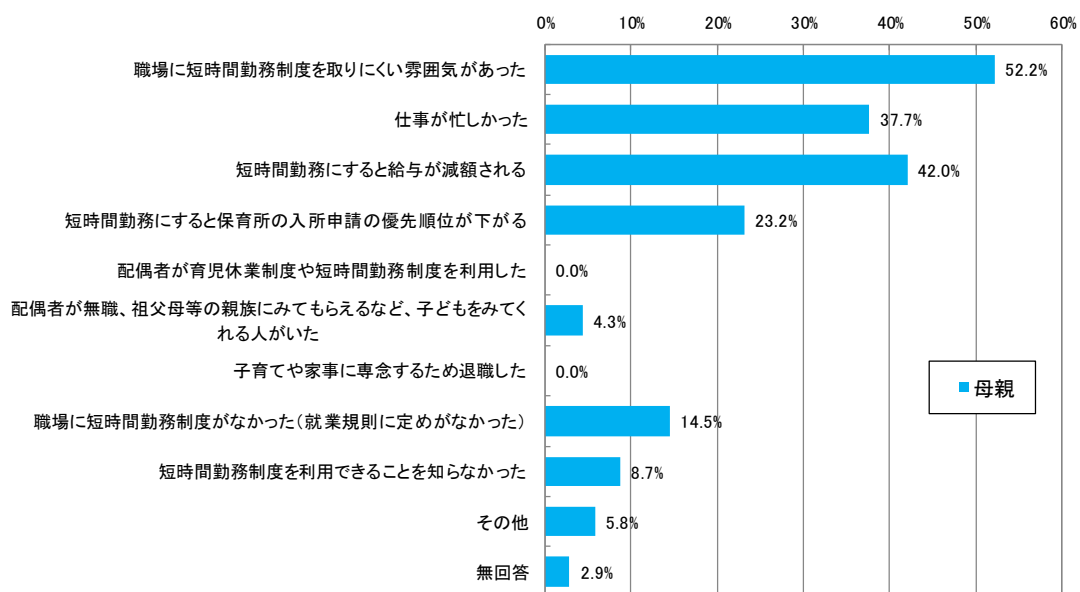
項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	68	22.8%	20	64.5%
利用した	150	50.3%	0	0.0%
利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)	69	23.2%	5	16.1%
無回答	11	3.7%	6	19.4%
回答者数	298		31	
非該当	919		1,186	

問 27-8 問 27-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。当てはまる理由のすべてに○をつけてください。

(1) 母親 (2) 父親

短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は、「母親」では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される(42.0%)」、「仕事が忙しかった(37.7%)」となっています。

また、「父親」では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の回答が 4 件となっています。



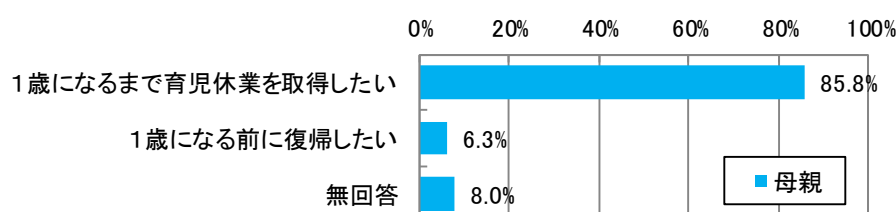
項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	36	52.2%	4	80.0%
仕事が忙しかった	26	37.7%	2	40.0%
短時間勤務にすると給与が減額される	29	42.0%	2	40.0%
短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	16	23.2%	0	0.0%
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	0	0.0%	0	0.0%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	3	4.3%	2	40.0%
子育てや家事に専念するため退職した	0	0.0%	0	0.0%
職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	10	14.5%	2	40.0%
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	6	8.7%	0	0.0%
その他	4	5.8%	1	20.0%
無回答	2	2.9%	0	0.0%
回答者数	69		5	
非該当	1,148		1,212	

問 27-9 問 27-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。宛名のお子さんが1歳になった時に必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親 (2) 父親

お子さんが1歳になった時に必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますかについては、「母親」では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が85.8%と最も高くなっています。

また、「父親」では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」の回答が1件となっています。

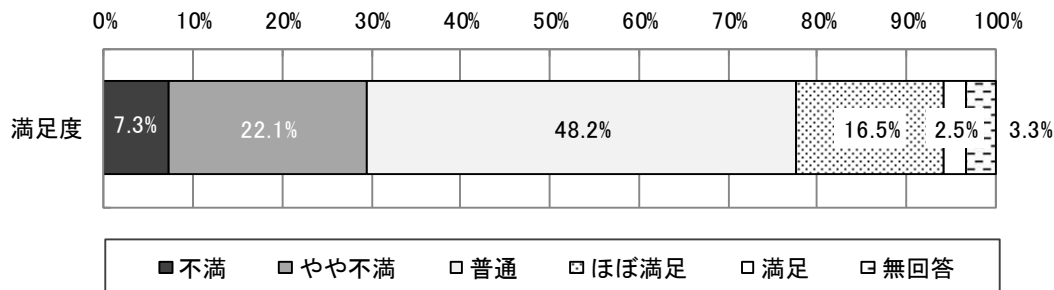


項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
1歳になるまで育児休業を取得したい	151	85.8%	1	50.0%
1歳になる前に復帰したい	11	6.3%	0	0.0%
無回答	14	8.0%	1	50.0%
回答者数	176		2	
非該当	1,041		1,215	

II 就学前児童調査

問 28 熊谷市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

住まいの地域における子育て環境や支援への満足度は、「満足（「ほぼ満足」と「満足」の合計）」の割合が 19.0%に対し、「不満（「不満」と「やや不満」の合計）」が 29.4%と、不満の割合が上回っています。



項目	度数	構成比
不満	89	7.3%
やや不満	269	22.1%
普通	587	48.2%
ほぼ満足	201	16.5%
満足	31	2.5%
無回答	40	3.3%
回答者数	1,217	100.0%

問 29 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください（例えば、保育所や幼稚園、子育て支援拠点、施設への交通アクセスについてなど。）。

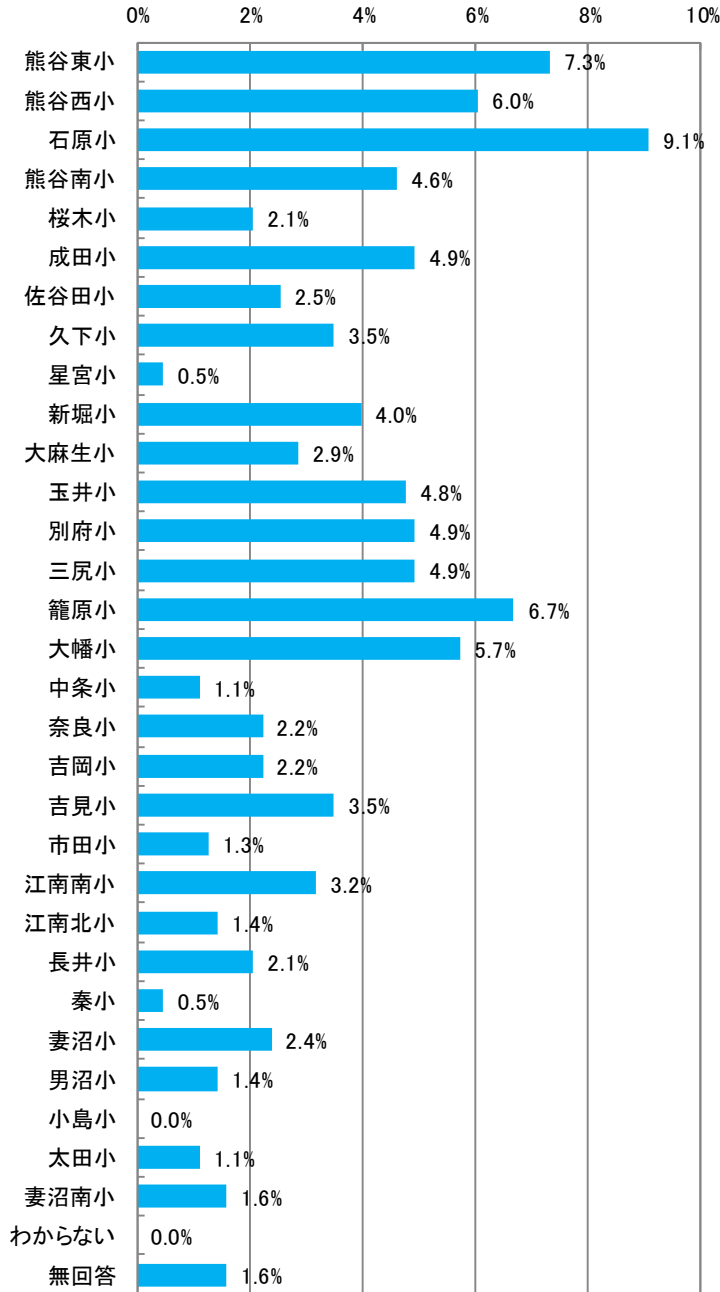
※自由記述編を参照ください。

Ⅲ. 5 歲以上兒童調查

1. お住まいの地区について

問1 お住まいの地区について、あてはまる小学校区名の番号1つに○をつけてください。

居住地区は、「石原小（9.1%）」、「熊谷東小（7.3%）」、「籠原小（6.7%）」の割合が高くなっています。

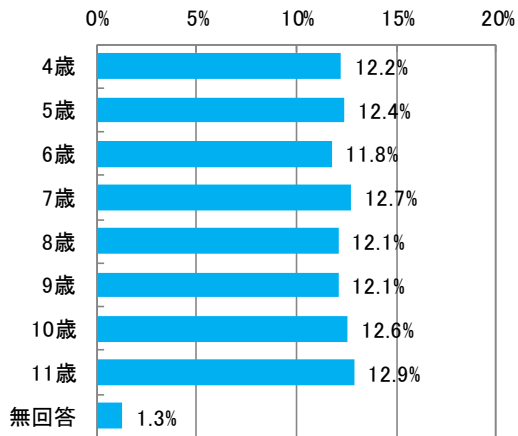


項目	度数	構成比
熊谷東小	46	7.3%
熊谷西小	38	6.0%
石原小	57	9.1%
熊谷南小	29	4.6%
桜木小	13	2.1%
成田小	31	4.9%
佐谷田小	16	2.5%
久下小	22	3.5%
星宮小	3	0.5%
新堀小	25	4.0%
大麻生小	18	2.9%
玉井小	30	4.8%
別府小	31	4.9%
三尻小	31	4.9%
籠原小	42	6.7%
大幡小	36	5.7%
中条小	7	1.1%
奈良小	14	2.2%
吉岡小	14	2.2%
吉見小	22	3.5%
市田小	8	1.3%
江南南小	20	3.2%
江南北小	9	1.4%
長井小	13	2.1%
秦小	3	0.5%
妻沼小	15	2.4%
男沼小	9	1.4%
小島小	0	0.0%
太田小	7	1.1%
妻沼南小	10	1.6%
わからない	0	0.0%
無回答	10	1.6%
回答者数	629	100.0%

2. 封筒の宛名のお子さんをご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）。

子どもの年齢は、「11歳」の割合が12.9%と最も高く、次いで「7歳」が12.7%、「10歳」が12.6%となっています。（※年齢算出基準日：平成30年4月1日）

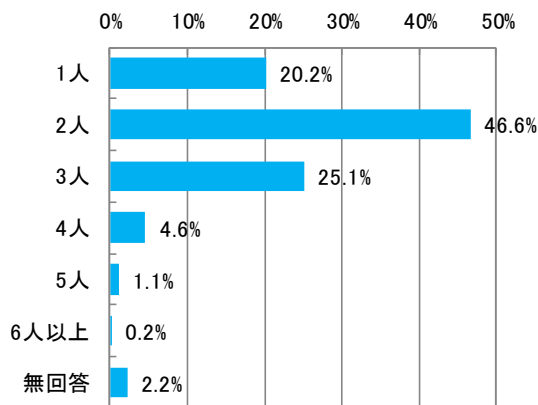


項目	度数	構成比
4歳	77	12.2%
5歳	78	12.4%
6歳	74	11.8%
7歳	80	12.7%
8歳	76	12.1%
9歳	76	12.1%
10歳	79	12.6%
11歳	81	12.9%
無回答	8	1.3%
回答者数	629	100.0%

問3 宛名のお子さんの兄弟姉妹は何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

1世帯あたりの子どもの人数は、「2人」の割合が46.6%と最も高く、次いで「3人」が25.1%、「1人」が20.2%となっています。

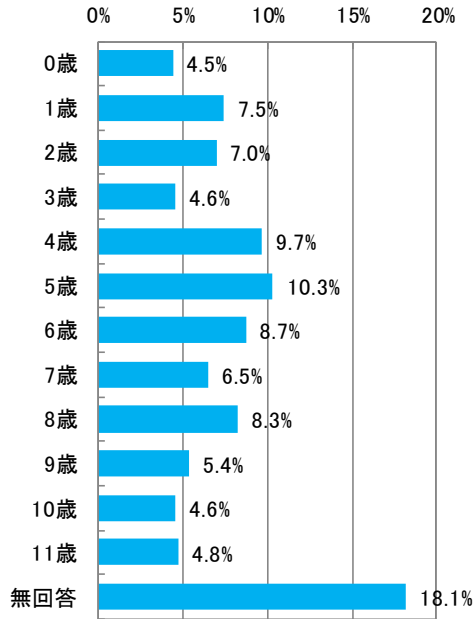
■きょうだいの人数



項目	度数	構成比
1人	127	20.2%
2人	293	46.6%
3人	158	25.1%
4人	29	4.6%
5人	7	1.1%
6人以上	1	0.2%
無回答	14	2.2%
回答者数	629	100.0%

Ⅲ 5歳以上児童調査

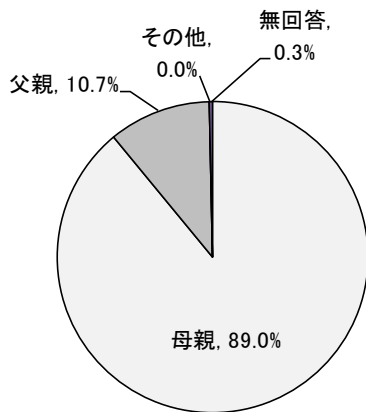
■末子の年齢



項目	度数	構成比
0歳	28	4.5%
1歳	47	7.5%
2歳	44	7.0%
3歳	29	4.6%
4歳	61	9.7%
5歳	65	10.3%
6歳	55	8.7%
7歳	41	6.5%
8歳	52	8.3%
9歳	34	5.4%
10歳	29	4.6%
11歳	30	4.8%
無回答	114	18.1%
回答者数	629	
非該当	141	

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

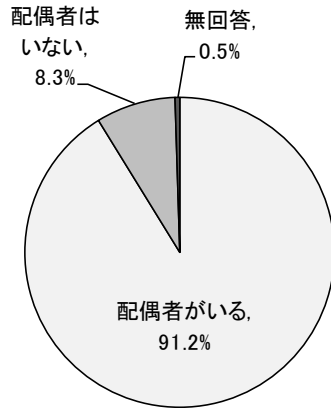
調査票の回答者は、「母親」が89.0%に対し、「父親」が10.7%と、「母親」の割合が大きく上回っています。



項目	度数	構成比
母親	560	89.0%
父親	67	10.7%
その他	0	0.0%
無回答	2	0.3%
回答者数	629	100.0%

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。(問4で「3その他」と回答した方は回答不要です。)

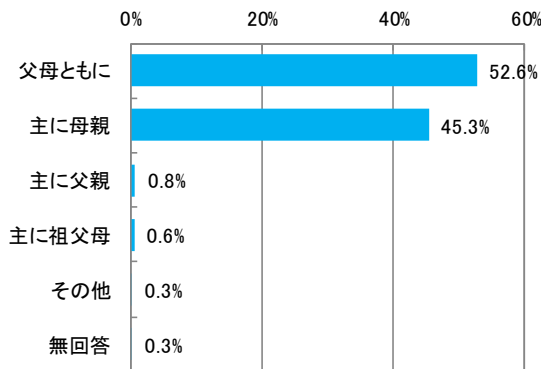
調査票の回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が91.2%に対し、「配偶者はいない」が8.3%となっています。



項目	度数	構成比
配偶者がいる	572	91.2%
配偶者はいない	52	8.3%
無回答	3	0.5%
回答者数	627	
非該当	2	

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む。)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

子どもの子育て(教育を含む。)を主に行っているのは、「父母ともに」の割合が52.6%と高く、次いで「主に母親」の割合が45.3%となっています。

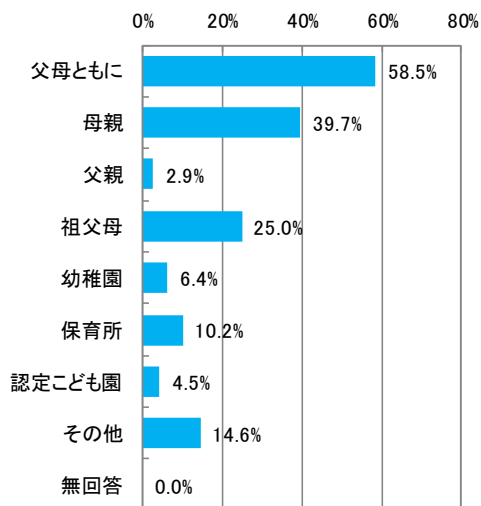


項目	度数	構成比
父母ともに	331	52.6%
主に母親	285	45.3%
主に父親	5	0.8%
主に祖父母	4	0.6%
その他	2	0.3%
無回答	2	0.3%
回答者数	629	100.0%

3. お子さんの育ちをめぐる環境について

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む。）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

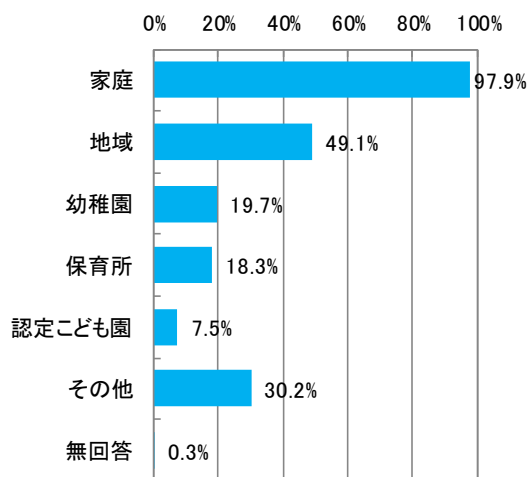
子どもの子育て（教育を含む。）に日常的に関わっている方は、「父母ともに」の割合が58.5%と最も高く、次いで「母親」が39.7%、「祖父母」が25.0%となっています。



項目	度数	構成比
父母ともに	368	58.5%
母親	250	39.7%
父親	18	2.9%
祖父母	157	25.0%
幼稚園	40	6.4%
保育所	64	10.2%
認定こども園	28	4.5%
その他	92	14.6%
無回答	0	0.0%
回答者数	629	

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む。）に影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

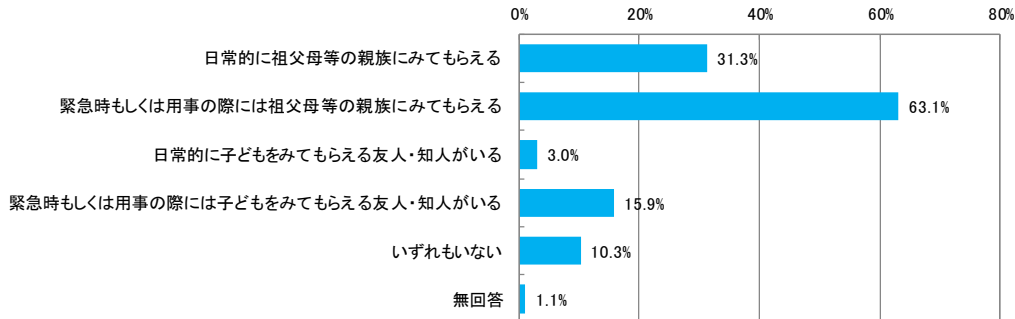
子どもの子育て（教育を含む。）に、もっとも影響すると思われる環境は、「家庭」の割合が97.9%と最も高く、次いで「地域」の割合が49.1%となっています。



項目	度数	構成比
家庭	616	97.9%
地域	309	49.1%
幼稚園	124	19.7%
保育所	115	18.3%
認定こども園	47	7.5%
その他	190	30.2%
無回答	2	0.3%
回答者数	629	

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が63.1%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が31.3%となっています。

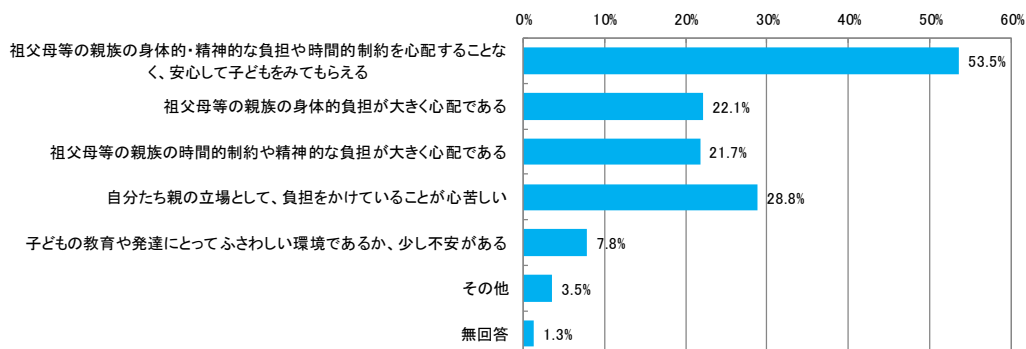


項目	度数	構成比
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	197	31.3%
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	397	63.1%
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	19	3.0%
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	100	15.9%
いずれもない	65	10.3%
無回答	7	1.1%
回答者数	629	

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況は、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が53.5%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が28.8%となっています。

また、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」の割合が7.8%となっています。

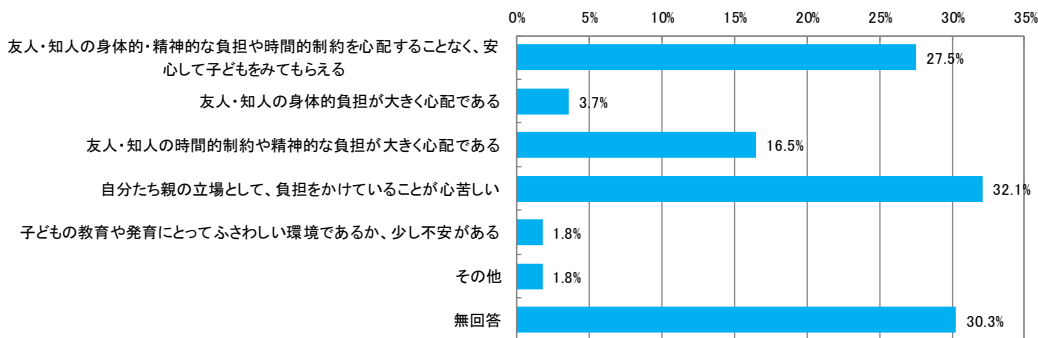


Ⅲ 5歳以上児童調査

項目	度数	構成比
祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	288	53.5%
祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	119	22.1%
祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	117	21.7%
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	155	28.8%
子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	42	7.8%
その他	19	3.5%
無回答	7	1.3%
回答者数	538	
非該当	91	

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

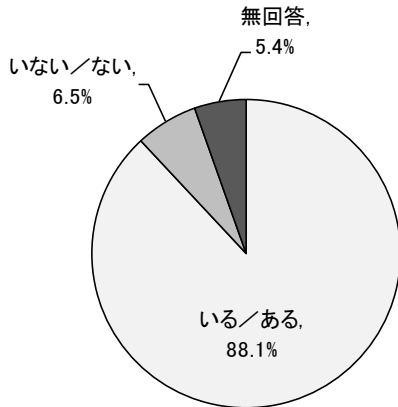
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況は、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が32.1%と高く、次いで、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が27.5%となっています。



項目	度数	構成比
友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	30	27.5%
友人・知人の身体的負担が大きく心配である	4	3.7%
友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	18	16.5%
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	35	32.1%
子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	2	1.8%
その他	2	1.8%
無回答	33	30.3%
回答者数	109	
非該当	520	

問 10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む。）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

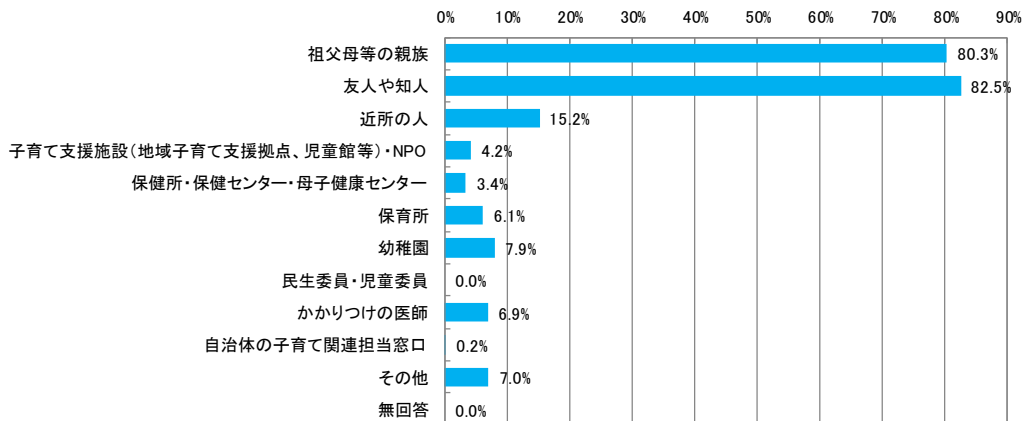
子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人及び場所の有無は、「いる／ある」が88.1%に対し、「いない／ない」が6.5%と、「いる／ある」の割合が大きく上回っています。



項目	度数	構成比
いる／ある	554	88.1%
いない／ない	41	6.5%
無回答	34	5.4%
回答者数	629	100.0%

問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む。）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、「友人や知人」が82.5%、「祖父母等の親族」が80.3%とそれぞれの割合が高くなっています。



Ⅲ 5歳以上児童調査

項目	度数	構成比
祖父母等の親族	445	80.3%
友人や知人	457	82.5%
近所の人	84	15.2%
子育て支援施設(地域子育て支援拠点、児童館等)・NPO	23	4.2%
保健所・保健センター・母子健康センター	19	3.4%
保育所	34	6.1%
幼稚園	44	7.9%
民生委員・児童委員	0	0.0%
かかりつけの医師	38	6.9%
自治体の子育て関連担当窓口	1	0.2%
その他	39	7.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	554	
非該当	75	

問 11 子育て(教育を含む。)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

※自由記述編を参照ください。

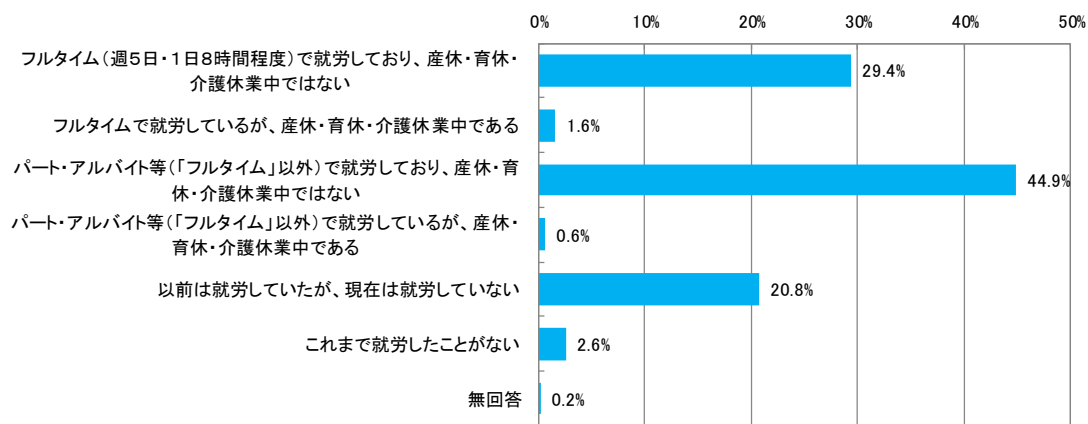
4. 宛名のお子さんの保護者の方の就労状況について

問 12 宛名のお子さんの保護者の方の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む。）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です。】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の就労状況は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合は29.4%と高く、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が44.9%となっています。

産休・育休・介護休業中の割合は、フルタイムとパートタイムを含め2.2%となっています。また、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合は20.8%となっています。



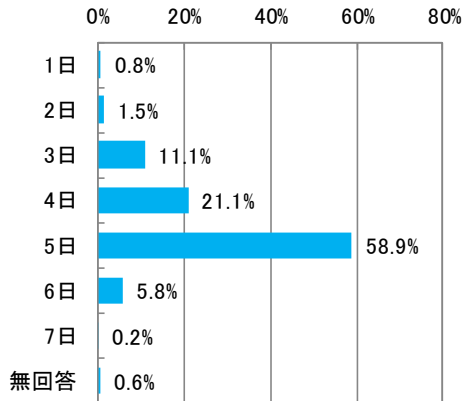
項目	度数	構成比
フルタイム(週5日・1日8時間程度)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	184	29.4%
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	10	1.6%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	281	44.9%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	0.6%
以前は就労していたが、現在は就労していない	130	20.8%
これまで就労したことがない	16	2.6%
無回答	1	0.2%
回答者数	626	
非該当	3	

Ⅲ 5歳以上児童調査

(1)-1 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。

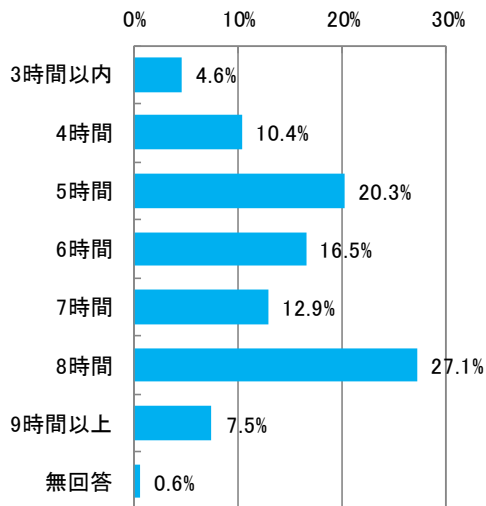
現在就労している「母親」の1週あたり就労日数は、「5日」が58.9%と最も高く、1日あたり就労時間(残業を含む)は「8時間」の割合が27.1%と高くなっています。

■ 1週あたり就労日数



項目	度数	構成比
1日	4	0.8%
2日	7	1.5%
3日	53	11.1%
4日	101	21.1%
5日	282	58.9%
6日	28	5.8%
7日	1	0.2%
無回答	3	0.6%
回答者数	479	
非該当	150	

■ 1日当たりの就労時間(残業時間を含む)

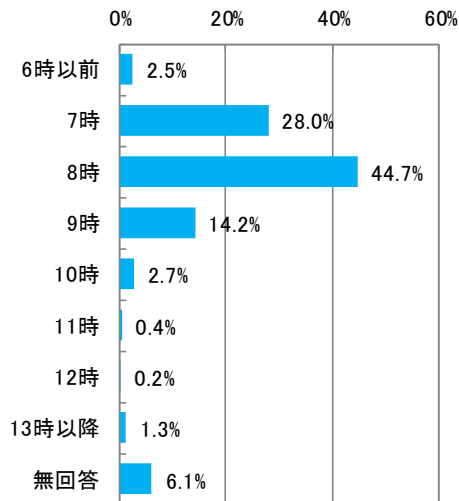


項目	度数	構成比
3時間以内	22	4.6%
4時間	50	10.4%
5時間	97	20.3%
6時間	79	16.5%
7時間	62	12.9%
8時間	130	27.1%
9時間以上	36	7.5%
無回答	3	0.6%
回答者数	479	
非該当	150	

(1)-2 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は(例)08時15分頃~18時30分頃のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。

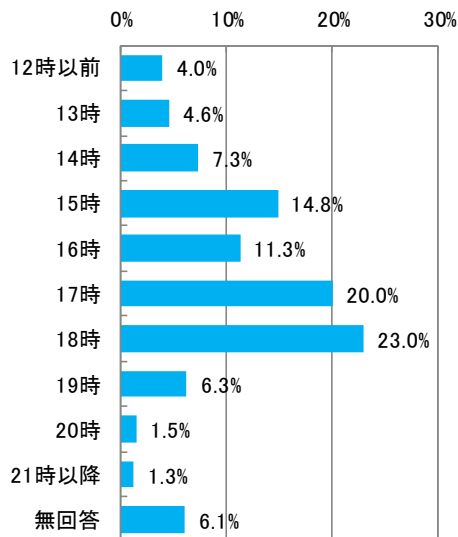
現在就労している「母親」の家を出る時刻は、「8時(44.7%)」、帰宅時刻は、「18時(23.0%)」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

■ 家を出る時刻



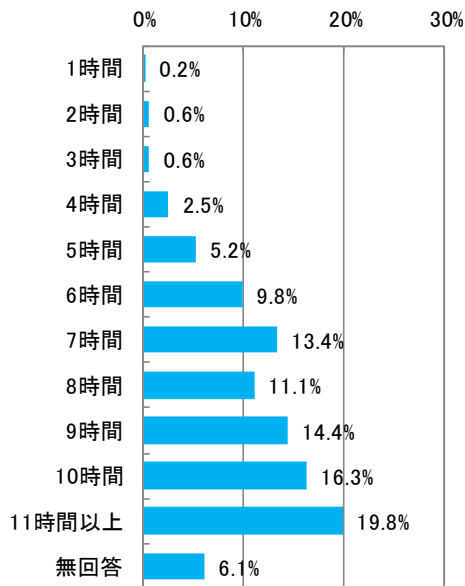
項目	度数	構成比
6時以前	12	2.5%
7時	134	28.0%
8時	214	44.7%
9時	68	14.2%
10時	13	2.7%
11時	2	0.4%
12時	1	0.2%
13時以降	6	1.3%
無回答	29	6.1%
回答者数	479	
非該当	150	

■ 帰宅時刻



項目	度数	構成比
12時以前	19	4.0%
13時	22	4.6%
14時	35	7.3%
15時	71	14.8%
16時	54	11.3%
17時	96	20.0%
18時	110	23.0%
19時	30	6.3%
20時	7	1.5%
21時以降	6	1.3%
無回答	29	6.1%
回答者数	479	
非該当	150	

■家を出てから帰宅するまでの時間

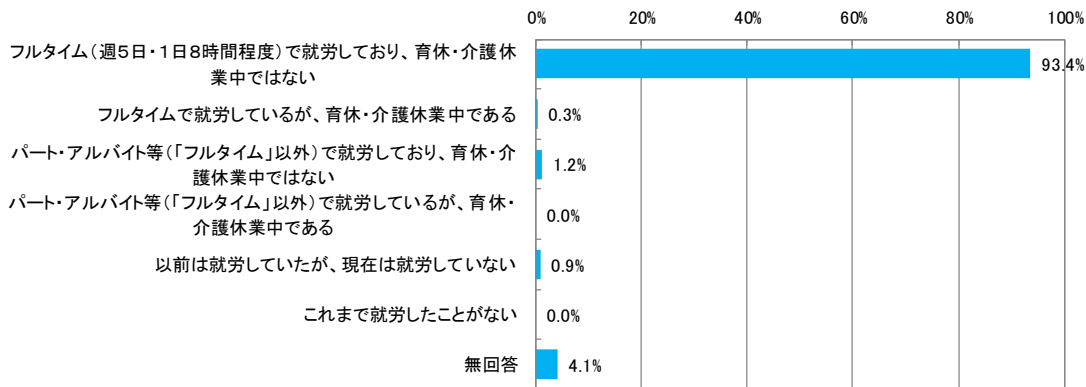


項目	度数	構成比
1時間	1	0.2%
2時間	3	0.6%
3時間	3	0.6%
4時間	12	2.5%
5時間	25	5.2%
6時間	47	9.8%
7時間	64	13.4%
8時間	53	11.1%
9時間	69	14.4%
10時間	78	16.3%
11時間以上	95	19.8%
無回答	29	6.1%
回答者数	479	
非該当	150	

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です。】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父親」の就労状況は、「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が93.4%と最も高くなっています。

育休・介護休業中の割合は、フルタイムとパート・アルバイトを含め0.3%となっています。

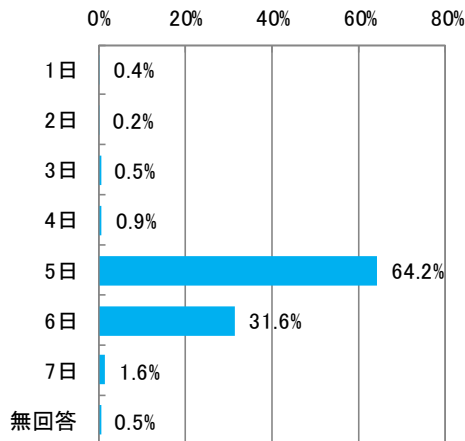


項目	度数	構成比
フルタイム(週5日・1日8時間程度)で就労しており、育休・介護休業中ではない	542	93.4%
フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である	2	0.3%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しており、育休・介護休業中ではない	7	1.2%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しているが、育休・介護休業中である	0	0.0%
以前は就労していたが、現在は就労していない	5	0.9%
これまで就労したことがない	0	0.0%
無回答	24	4.1%
回答者数	580	
非該当	49	

(2)-1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。

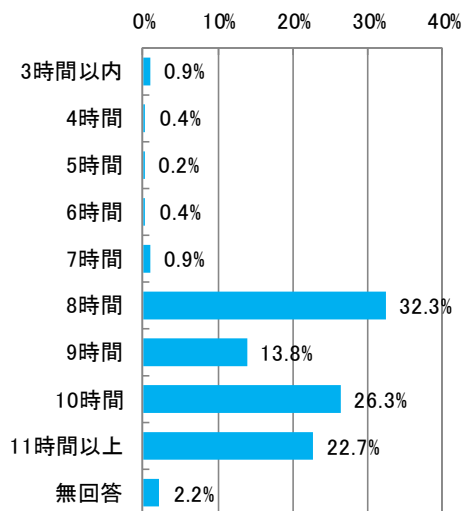
現在就労している「父親」の1週あたり就労日数は、「5日」の割合が64.2%、1日あたり就労時間(残業を含む)は「8時間」の割合が32.3%とそれぞれ高くなっています。

■ 1週あたり就労日数



項目	度数	構成比
1日	2	0.4%
2日	1	0.2%
3日	3	0.5%
4日	5	0.9%
5日	354	64.2%
6日	174	31.6%
7日	9	1.6%
無回答	3	0.5%
回答者数	551	
非該当	78	

■ 1日当たりの就労時間(残業時間を含む)



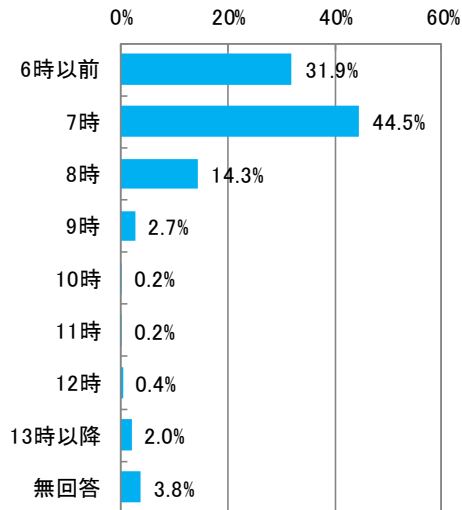
項目	度数	構成比
3時間以内	5	0.9%
4時間	2	0.4%
5時間	1	0.2%
6時間	2	0.4%
7時間	5	0.9%
8時間	178	32.3%
9時間	76	13.8%
10時間	145	26.3%
11時間以上	125	22.7%
無回答	12	2.2%
回答者数	551	
非該当	78	

Ⅲ 5歳以上児童調査

(2)-2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は(例)08時15分頃~18時30分頃のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。

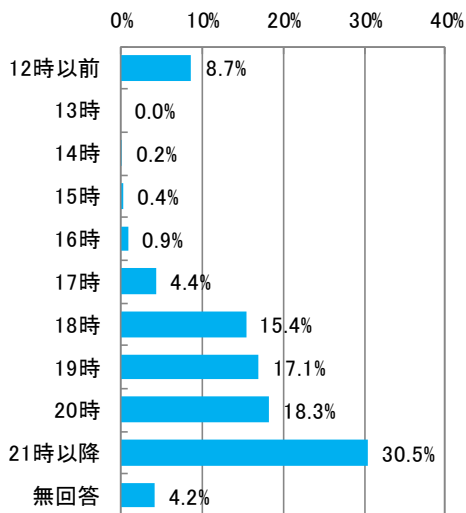
現在就労している「父親」の家を出る時刻は、「7時」の割合が44.5%、帰宅時刻は、「21時以降」の割合が30.5%とそれぞれ高くなっています。

■家を出る時刻



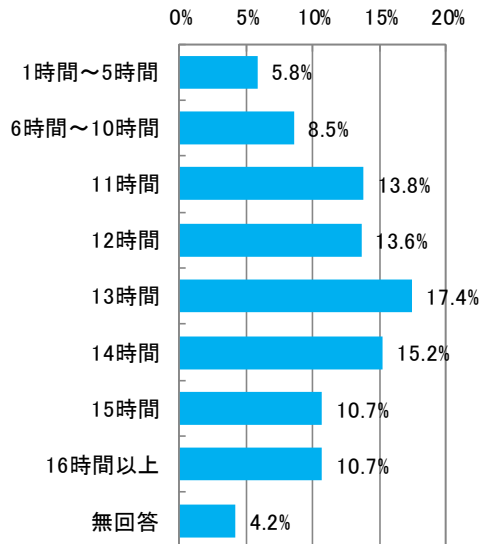
項目	度数	構成比
6時以前	176	31.9%
7時	245	44.5%
8時	79	14.3%
9時	15	2.7%
10時	1	0.2%
11時	1	0.2%
12時	2	0.4%
13時以降	11	2.0%
無回答	21	3.8%
回答者数	551	
非該当	78	

■帰宅時刻



項目	度数	構成比
12時以前	48	8.7%
13時	0	0.0%
14時	1	0.2%
15時	2	0.4%
16時	5	0.9%
17時	24	4.4%
18時	85	15.4%
19時	94	17.1%
20時	101	18.3%
21時以降	168	30.5%
無回答	23	4.2%
回答者数	551	
非該当	78	

■家を出てから帰宅するまでの時間

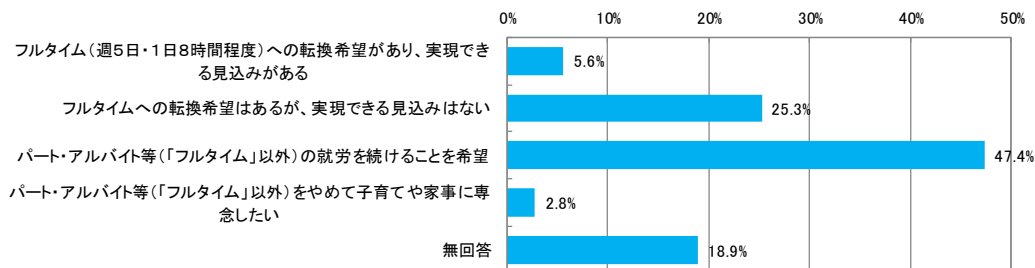


項目	度数	構成比
1時間～5時間	32	5.8%
6時間～10時間	47	8.5%
11時間	76	13.8%
12時間	75	13.6%
13時間	96	17.4%
14時間	84	15.2%
15時間	59	10.7%
16時間以上	59	10.7%
無回答	23	4.2%
回答者数	551	
非該当	78	

問 13 問 12 の (1) または (2) で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

パート・アルバイト等で就労している「母親」のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が 47.4%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 25.3%となっています。



項目	度数	構成比
フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある	16	5.6%
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	72	25.3%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	135	47.4%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	8	2.8%
無回答	54	18.9%
回答者数	285	
非該当	344	

(2) 父親

パート・アルバイト等で就労している「父親」のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の回答が2件となっています。

項目	度数	構成比
フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある	1	14.3%
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	1	14.3%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	2	28.6%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0%
無回答	3	42.9%
回答者数	7	
非該当	622	

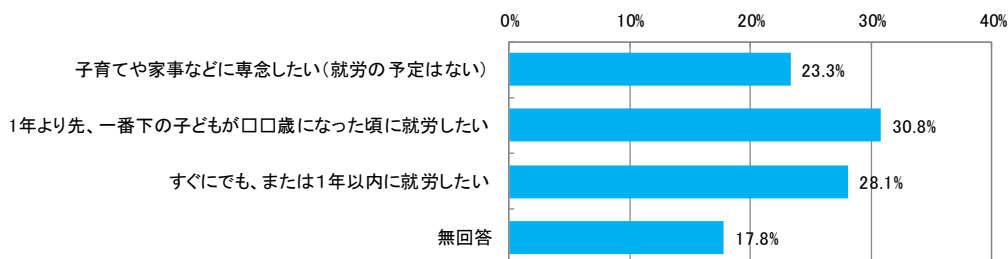
問 14 問 12 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一桁に一宇）。

(1) 母親

「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した「母親」の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい」の割合が30.8%と高く、次いで「すぐにでも、または1年以内に就労したい」が28.1%となっています。

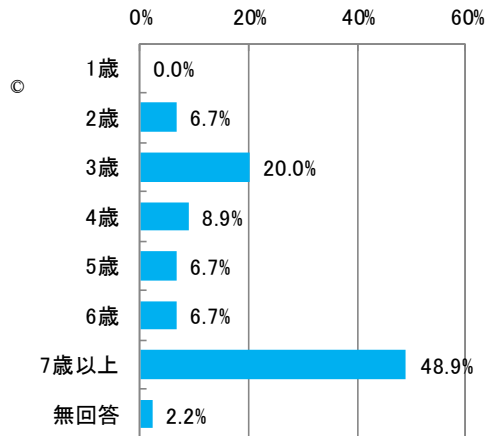
また、就労を希望する時期（一番下の子どもの年齢）は、「7歳以上」の割合が48.9%と高くなっています。

さらに、現在就労していない「母親」の今後希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」の割合が73.2%と最も高くなっています。希望する就労形態がパートタイム・アルバイト等の場合の、1週あたりの勤務日数及び1日あたりの勤務時間は、「3日(31.7%)」、「3～5時間(61.0%)」の割合がいずれも高くなっています。



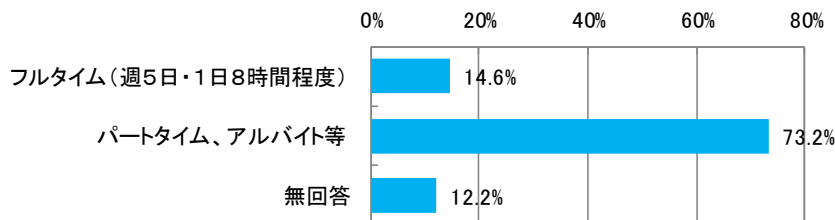
項目	度数	構成比
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	34	23.3%
1年より先、一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい	45	30.8%
すぐにでも、または1年以内に就労したい	41	28.1%
無回答	26	17.8%
回答者数	146	
非該当	483	

■就労を希望する時期（一番下の子どもの年齢）



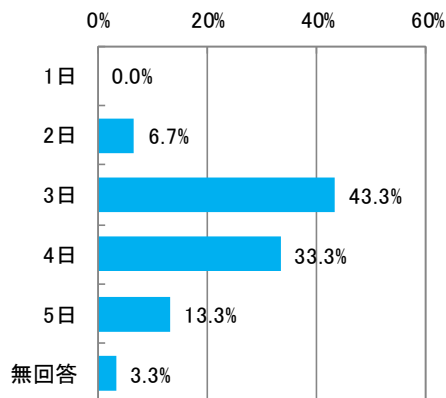
項目	度数	構成比
1歳	0	0.0%
2歳	3	6.7%
3歳	9	20.0%
4歳	4	8.9%
5歳	3	6.7%
6歳	3	6.7%
7歳以上	22	48.9%
無回答	1	2.2%
回答者数	45	
非該当	584	

■希望する就労形態（すぐにでも、または1年以内）



項目	度数	構成比
フルタイム（週5日・1日8時間程度）	6	14.6%
パートタイム、アルバイト等	30	73.2%
無回答	5	12.2%
回答者数	41	
非該当	588	

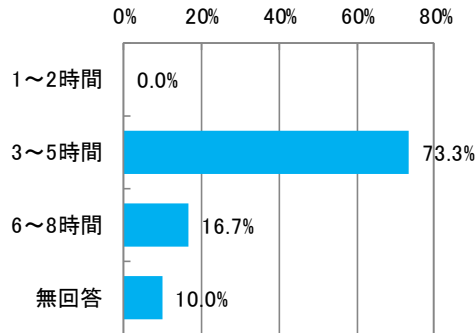
■1週当たり勤務日数（パート・アルバイト）



項目	度数	構成比
1日	0	0.0%
2日	2	6.7%
3日	13	43.3%
4日	10	33.3%
5日	4	13.3%
無回答	1	3.3%
回答者数	30	
非該当	599	

Ⅲ 5歳以上児童調査

■ 1日当たり勤務時間（パート・アルバイト）



項目	度数	構成比
1～2時間	0	0.0%
3～5時間	22	73.3%
6～8時間	5	16.7%
無回答	3	10.0%
回答者数	30	
非該当	599	

(2) 父親

「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した「父親」の就労希望は、「すぐにでも、または1年以内に就労したい」の回答が4件となっています。

項目	度数	構成比
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	0	0.0%
1年より先、一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい	0	0.0%
すぐにでも、または1年以内に就労したい	4	80.0%
無回答	1	20.0%
回答者数	5	
非該当	624	

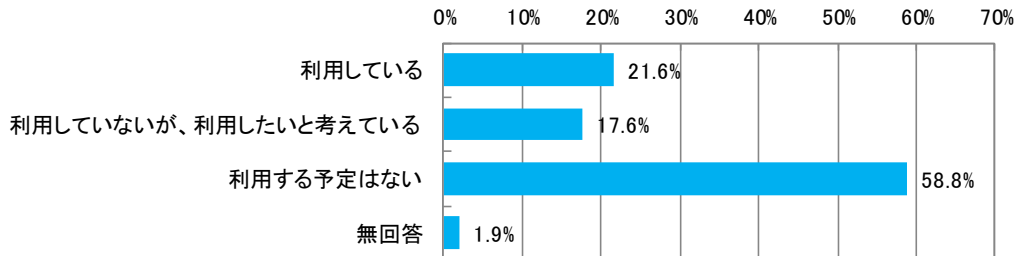
■ 希望する就労形態（すぐにでも、または1年以内）

項目	度数	構成比
フルタイム(週5日・1日8時間程度)	3	75.0%
パートタイム、アルバイト等	0	0.0%
無回答	1	25.0%
回答者数	4	
非該当	625	

5. 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望について

問 15 宛名のお子さんについて、現在、放課後児童クラブ（学童保育）を利用していますか。当てはまる番号一つに○をつけてください。

現在、放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況は、「利用する予定はない」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「利用している」が 21.6%、「利用していないが、利用したいと考えている」が 17.6%となっています。

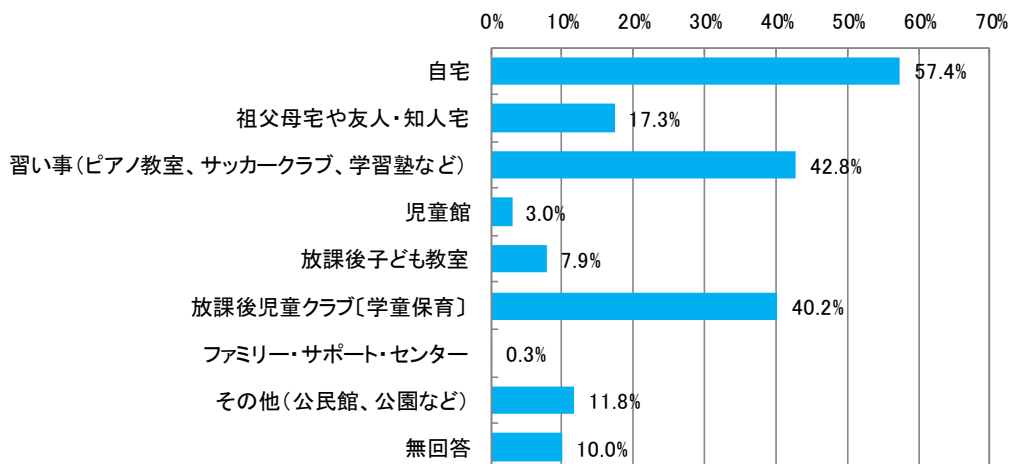


項目	度数	構成比
利用している	136	21.6%
利用していないが、利用したいと考えている	111	17.6%
利用する予定はない	370	58.8%
無回答	12	1.9%
回答者数	629	100.0%

問 16 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は（例）18時30分のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。

小学校低学年（1～3年生）のうちの希望する子どもの放課後の過ごし方は、「自宅」の割合が 57.4%と最も高く、次いで、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 42.8%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が 40.2%となっています。



Ⅲ 5歳以上児童調査

項目	度数	構成比
自宅	361	57.4%
祖父母宅や友人・知人宅	109	17.3%
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	269	42.8%
児童館	19	3.0%
放課後子ども教室	50	7.9%
放課後児童クラブ〔学童保育〕	253	40.2%
ファミリー・サポート・センター	2	0.3%
その他(公民館、公園など)	74	11.8%
無回答	63	10.0%
回答者数	629	

■自宅

項目	度数	構成比
1日	53	14.7%
2日	74	20.5%
3日	58	16.1%
4日	37	10.2%
5日	112	31.0%
6日	5	1.4%
7日	9	2.5%
無回答	13	3.6%
回答者数	361	
非該当	268	

■祖父母宅や友人・知人宅

項目	度数	構成比
1日	57	52.3%
2日	29	26.6%
3日	6	5.5%
4日	3	2.8%
5日	11	10.1%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	3	2.8%
回答者数	109	
非該当	520	

■習い事

項目	度数	構成比
1日	90	33.5%
2日	112	41.6%
3日	40	14.9%
4日	15	5.6%
5日	9	3.3%
6日	1	0.4%
7日	0	0.0%
無回答	2	0.7%
回答者数	269	
非該当	360	

■児童館

項目	度数	構成比
1日	3	15.8%
2日	2	10.5%
3日	2	10.5%
4日	1	5.3%
5日	8	42.1%
6日	1	5.3%
7日	0	0.0%
無回答	2	10.5%
回答者数	19	
非該当	610	

■放課後子ども教室

項目	度数	構成比
1日	26	52.0%
2日	9	18.0%
3日	6	12.0%
4日	1	2.0%
5日	7	14.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	1	2.0%
回答者数	50	
非該当	579	

■放課後児童クラブ〔学童保育〕

項目	度数	構成比
1日	4	1.6%
2日	21	8.3%
3日	37	14.6%
4日	37	14.6%
5日	144	56.9%
6日	5	2.0%
7日	0	0.0%
無回答	5	2.0%
回答者数	253	
非該当	376	

■放課後児童クラブ
〔学童保育〕利用希望時間

項目	度数	構成比
14時以前	0	0.0%
15時	0	0.0%
16時	30	11.9%
17時	99	39.1%
18時	86	34.0%
19時	20	7.9%
20時	0	0.0%
21時以降	0	0.0%
無回答	18	7.1%
回答者数	253	
非該当	376	

■ファミリー・サポート・センター

項目	度数	構成比
1日	1	50.0%
2日	0	0.0%
3日	1	50.0%
4日	0	0.0%
5日	0	0.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	2	
非該当	627	

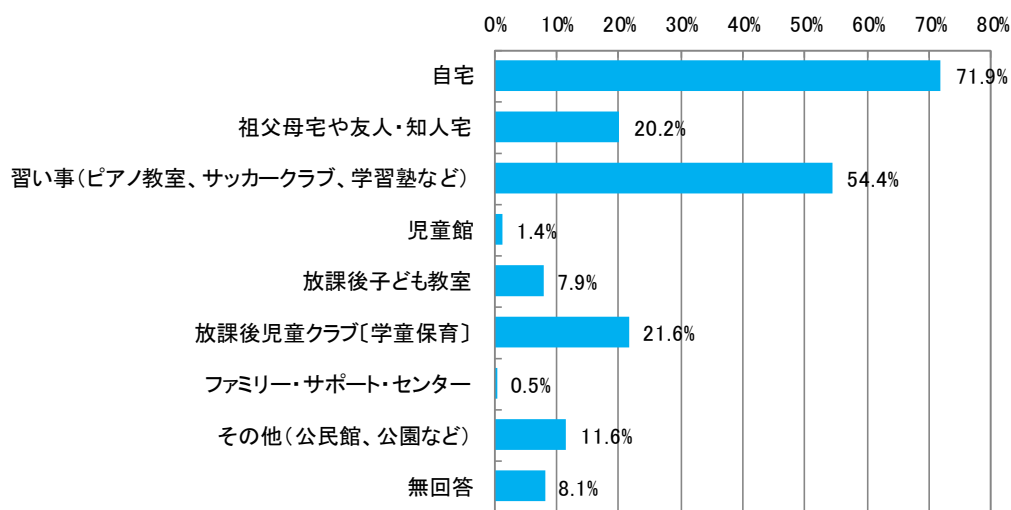
■その他(公民館、公園など)

項目	度数	構成比
1日	22	29.7%
2日	31	41.9%
3日	12	16.2%
4日	0	0.0%
5日	6	8.1%
6日	1	1.4%
7日	0	0.0%
無回答	2	2.7%
回答者数	74	
非該当	555	

問 17 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は（例）18時30分のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。

小学校高学年（4～6年生）になったら希望する子どもの放課後の過ごし方は、「自宅」の割合が71.9%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が54.4%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が21.6%となっています。「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合は、1～3年生（40.2%）の回答と比べ減少しています



項目	度数	構成比
自宅	452	71.9%
祖父母宅や友人・知人宅	127	20.2%
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	342	54.4%
児童館	9	1.4%
放課後子ども教室	50	7.9%
放課後児童クラブ〔学童保育〕	136	21.6%
ファミリー・サポート・センター	3	0.5%
その他(公民館、公園など)	73	11.6%
無回答	51	8.1%
回答者数	629	
回答計	1,243	

Ⅲ 5歳以上児童調査

■自宅

項目	度数	構成比
1日	59	13.1%
2日	78	17.3%
3日	94	20.8%
4日	37	8.2%
5日	156	34.5%
6日	5	1.1%
7日	12	2.7%
無回答	11	2.4%
回答者数	452	
非該当	177	

■祖父母宅や友人・知人宅

項目	度数	構成比
1日	62	48.8%
2日	36	28.3%
3日	11	8.7%
4日	3	2.4%
5日	12	9.4%
6日	1	0.8%
7日	0	0.0%
無回答	2	1.6%
回答者数	127	
非該当	502	

■習い事

項目	度数	構成比
1日	80	23.4%
2日	146	42.7%
3日	73	21.3%
4日	26	7.6%
5日	13	3.8%
6日	2	0.6%
7日	0	0.0%
無回答	2	0.6%
回答者数	342	
非該当	287	

■児童館

項目	度数	構成比
1日	1	11.1%
2日	5	55.6%
3日	1	11.1%
4日	0	0.0%
5日	1	11.1%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	1	11.1%
回答者数	9	
非該当	620	

■放課後子ども教室

項目	度数	構成比
1日	29	58.0%
2日	12	24.0%
3日	5	10.0%
4日	1	2.0%
5日	3	6.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	50	
非該当	579	

■放課後児童クラブ〔学童保育〕

項目	度数	構成比
1日	6	4.4%
2日	16	11.8%
3日	28	20.6%
4日	13	9.6%
5日	71	52.2%
6日	2	1.5%
7日	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	136	
非該当	493	

■放課後児童クラブ〔学童保育〕 利用希望時間

項目	度数	構成比
14時以前	0	0.0%
15時	0	0.0%
16時	9	6.6%
17時	45	33.1%
18時	56	41.2%
19時	15	11.0%
20時	0	0.0%
21時以降	0	0.0%
無回答	11	8.1%
回答者数	136	
非該当	493	

■ファミリー・サポート・センター

項目	度数	構成比
1日	1	33.3%
2日	2	66.7%
3日	0	0.0%
4日	0	0.0%
5日	0	0.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	3	
非該当	626	

■その他（公民館、公園など）

項目	度数	構成比
1日	30	41.1%
2日	22	30.1%
3日	15	20.5%
4日	0	0.0%
5日	4	5.5%
6日	1	1.4%
7日	0	0.0%
無回答	1	1.4%
回答者数	73	
非該当	556	

問 18 問 16 または問 17 で「6 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）0 8 時 3 0 分、1 8 時 3 0 分のように 2 4 時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

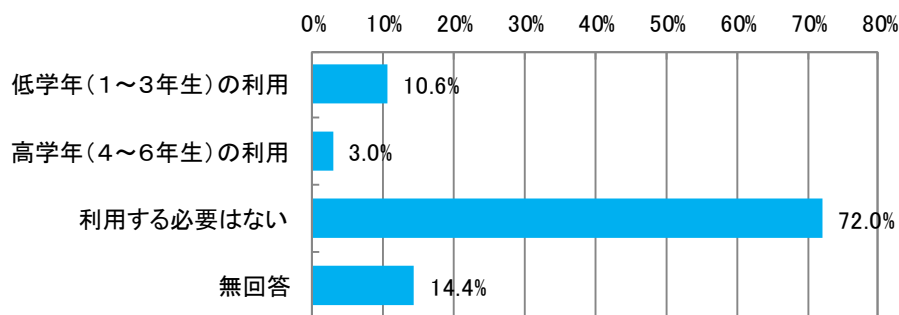
（1）土曜日

子どもの放課後の過ごし方で、放課後児童クラブを望んでいる保護者のうち、土曜日の利用希望は、「低学年（1～3年生）の利用」の割合が 10.6% に対し、「高学年（4～6年生）の利用」の割合が 3.0% となっています。

また、「利用する必要はない」の割合が 72.0% と高くなっています。

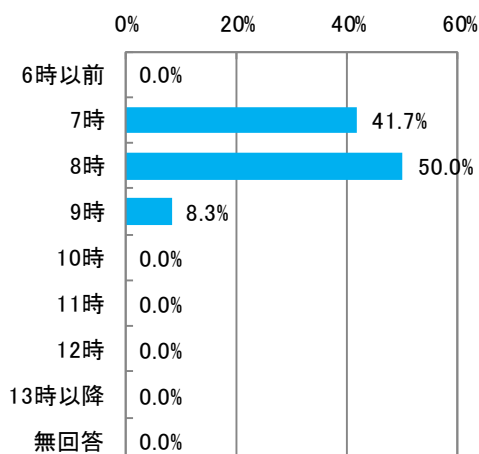
希望する登所時刻については、「8 時」が 50.0%、帰所時刻については、「18 時」が 41.7% となっています。最も高く、次いで「16 時」が 25.0%、「17 時」が 13.9% となっています。

1 日あたりの利用希望時間は、「7 時間～10 時間」の割合が 66.7% と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
低学年(1～3年生)の利用	28	10.6%
高学年(4～6年生)の利用	8	3.0%
利用する必要はない	190	72.0%
無回答	38	14.4%
回答者数	264	
非該当	365	

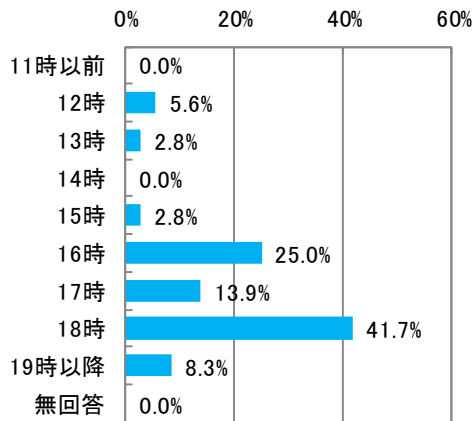
■ 利用したい時間帯（開始時刻）



項目	度数	構成比
6時以前	0	0.0%
7時	15	41.7%
8時	18	50.0%
9時	3	8.3%
10時	0	0.0%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時以降	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	36	
非該当	593	

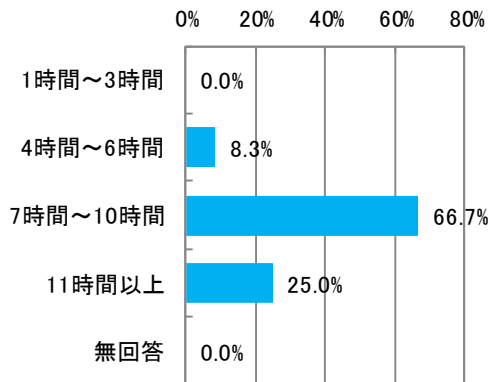
Ⅲ 5歳以上児童調査

■ 利用したい時間帯(終了時刻)



項目	度数	構成比
11時以前	0	0.0%
12時	2	5.6%
13時	1	2.8%
14時	0	0.0%
15時	1	2.8%
16時	9	25.0%
17時	5	13.9%
18時	15	41.7%
19時以降	3	8.3%
無回答	0	0.0%
回答者数	36	
非該当	593	

■ 1日あたり利用時間



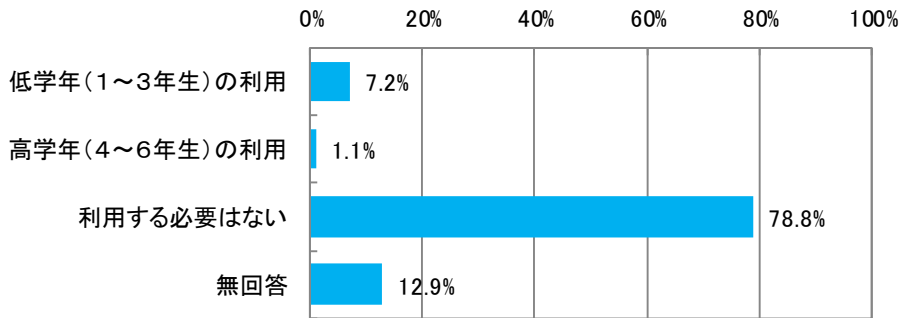
項目	度数	構成比
1時間～3時間	0	0.0%
4時間～6時間	3	8.3%
7時間～10時間	24	66.7%
11時間以上	9	25.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	36	
非該当	593	

(2)日曜・祝日

子どもの放課後の過ごし方で、放課後児童クラブを望んでいる保護者のうち、日曜・祝日の利用希望は、「低学年（1～3年生）の利用」の割合が7.2%に対し、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が1.1%となっています。

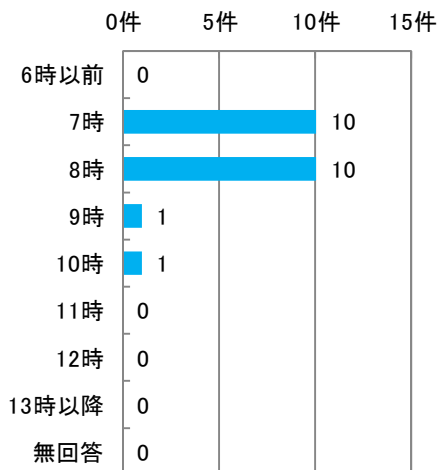
また、「利用する必要はない」が78.8%と高くなっています。

希望する登所時刻については、「7時」「8時」がそれぞれ10件、帰所時刻については、「18時」が9件となっています。1日あたりの利用希望時間は、「7時間～10時間」で17件となっています。



項目	度数	構成比
低学年(1～3年生)の利用	19	7.2%
高学年(4～6年生)の利用	3	1.1%
利用する必要はない	208	78.8%
無回答	34	12.9%
回答者数	264	
非該当	365	

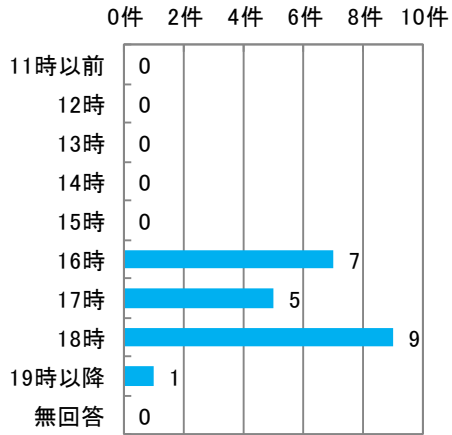
■利用したい時間帯(開始時刻)



項目	度数	構成比
6時以前	0	0.0%
7時	10	45.5%
8時	10	45.5%
9時	1	4.5%
10時	1	4.5%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時以降	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	22	
非該当	607	

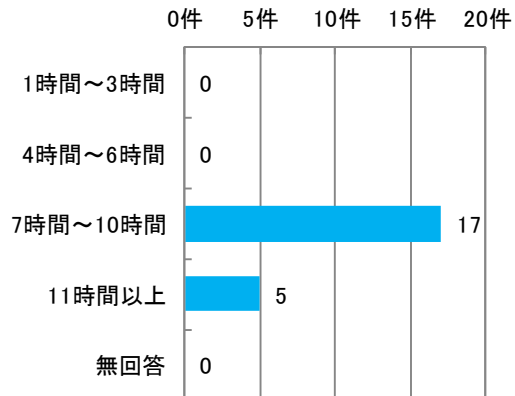
Ⅲ 5歳以上児童調査

■ 利用したい時間帯(終了時刻)



項目	度数	構成比
11時以前	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時	0	0.0%
14時	0	0.0%
15時	0	0.0%
16時	7	31.8%
17時	5	22.7%
18時	9	40.9%
19時以降	1	4.5%
無回答	0	0.0%
回答者数	22	
非該当	607	

■ 1日あたり利用時間



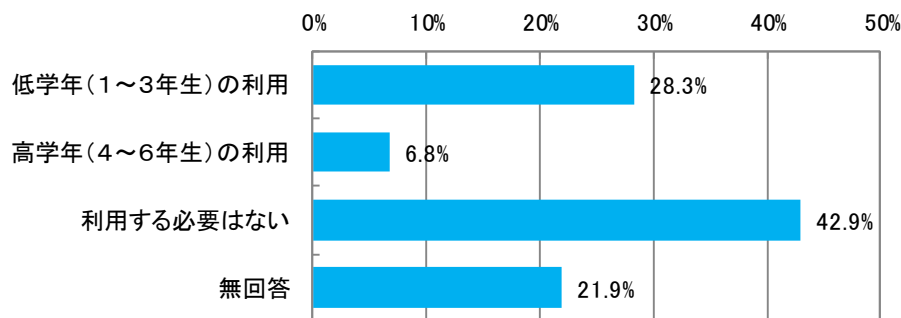
項目	度数	構成比
1時間～3時間	0	0.0%
4時間～6時間	0	0.0%
7時間～10時間	17	77.3%
11時間以上	5	22.7%
無回答	0	0.0%
回答者数	22	
非該当	607	

問 19 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。

子どもの放課後の過ごし方で、放課後児童クラブを望んでいる保護者のうち、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の利用希望は、「低学年（1～3年生）の利用」が28.3%に対し、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が6.8%となっています。

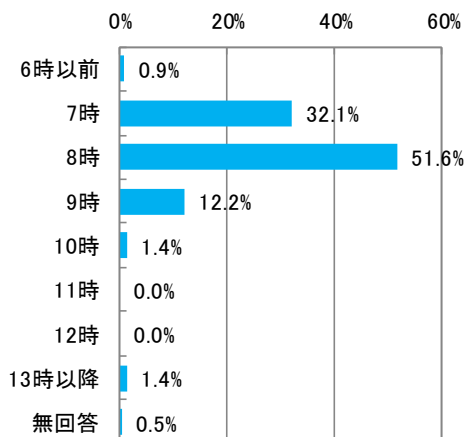
また、「利用する必要はない」が42.9%と高くとなっています。

希望する登所時刻については、「8時」が51.6%、帰所時刻については、「18時」が35.3%、「17時」が31.2%となっています。1日あたりの利用希望時間は、「7時間～10時間」の割合が70.1%と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
低学年(1～3年生)の利用	178	28.3%
高学年(4～6年生)の利用	43	6.8%
利用する必要はない	270	42.9%
無回答	138	21.9%
回答者数	629	100.0%

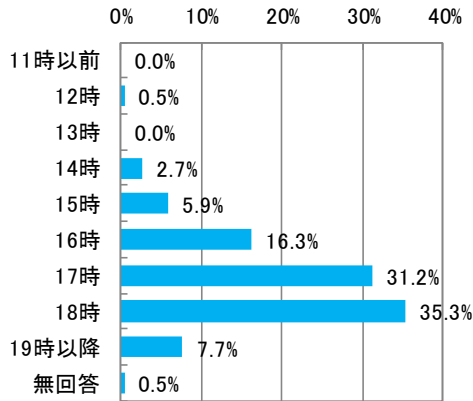
■利用したい時間帯(開始時刻)



項目	度数	構成比
6時以前	2	0.9%
7時	71	32.1%
8時	114	51.6%
9時	27	12.2%
10時	3	1.4%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時以降	3	1.4%
無回答	1	0.5%
回答者数	221	
非該当	408	

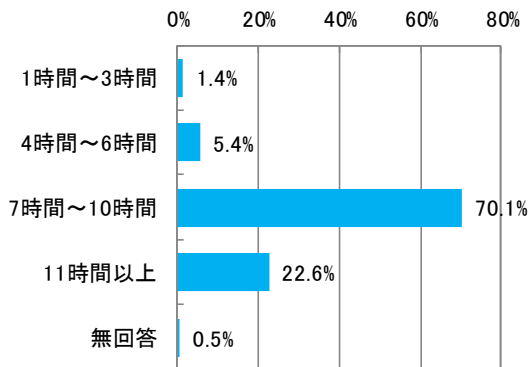
Ⅲ 5歳以上児童調査

■ 利用したい時間帯(終了時刻)



項目	度数	構成比
11時以前	0	0.0%
12時	1	0.5%
13時	0	0.0%
14時	6	2.7%
15時	13	5.9%
16時	36	16.3%
17時	69	31.2%
18時	78	35.3%
19時以降	17	7.7%
無回答	1	0.5%
回答者数	221	
非該当	408	

■ 1日あたり利用時間



項目	度数	構成比
1時間～3時間	3	1.4%
4時間～6時間	12	5.4%
7時間～10時間	155	70.1%
11時間以上	50	22.6%
無回答	1	0.5%
回答者数	221	
非該当	408	

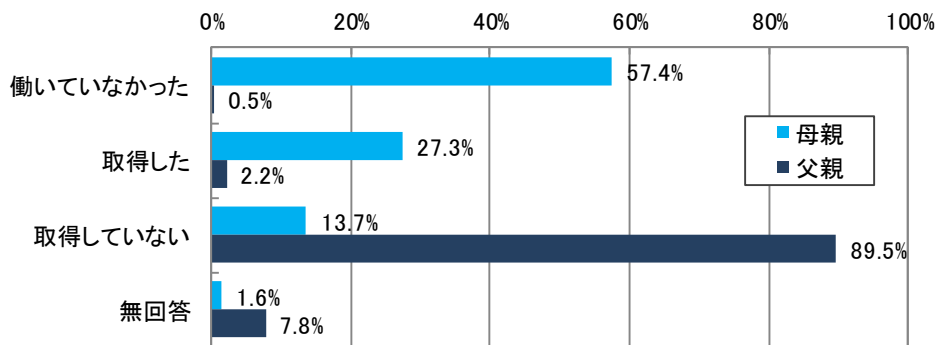
6. すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など、家庭と職場の両立支援制度について

問 20 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

子どもが生まれたときの育児休業の取得状況は、「取得した」の割合は、「母親」が27.3%に対し、「父親」は2.2%と、父親の取得割合が低くなっています。

また、「働いていなかった」の割合は、「母親」が57.4%に対し、「父親」は0.5%となっています。

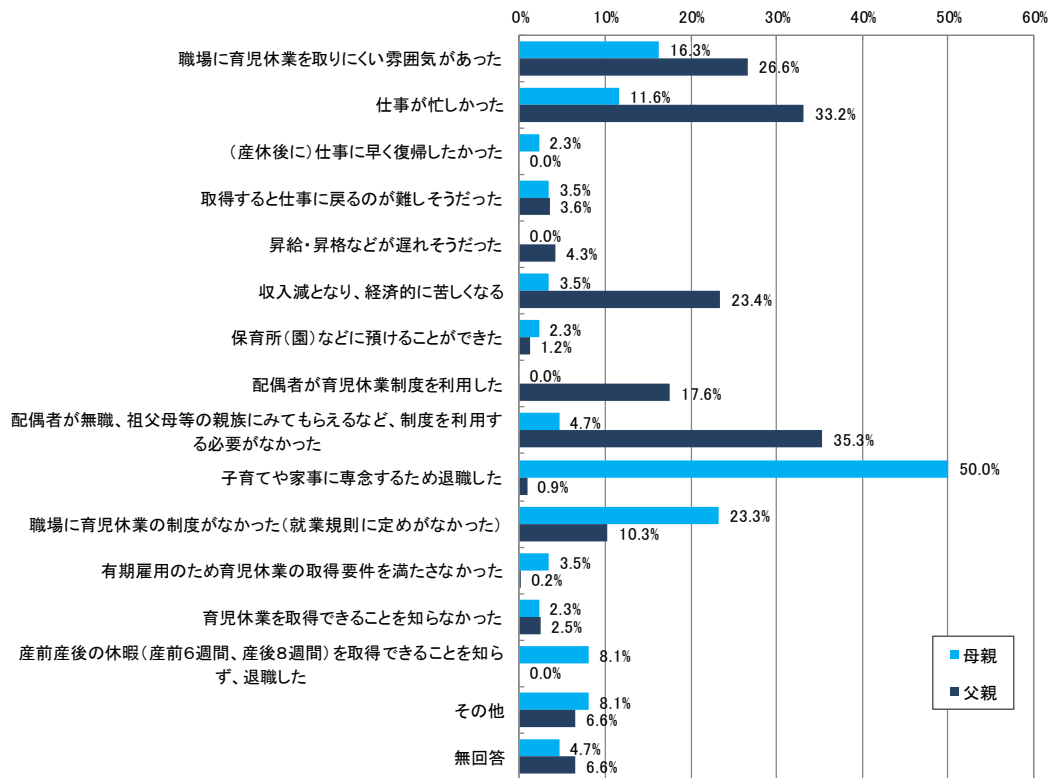
さらに、育児休業を取得していない理由は、「母親」では、「子育てや家事に専念するため退職した」が50.0%と最も高く、「父親」では、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が35.3%、「仕事が忙しかった」が33.2%とそれぞれ3割を超え比較的高くなっています。



項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
働いていなかった	361	57.4%	3	0.5%
取得した	172	27.3%	14	2.2%
取得していない	86	13.7%	563	89.5%
無回答	10	1.6%	49	7.8%
回答者数	629	100.0%	629	100.0%

Ⅲ 5歳以上児童調査

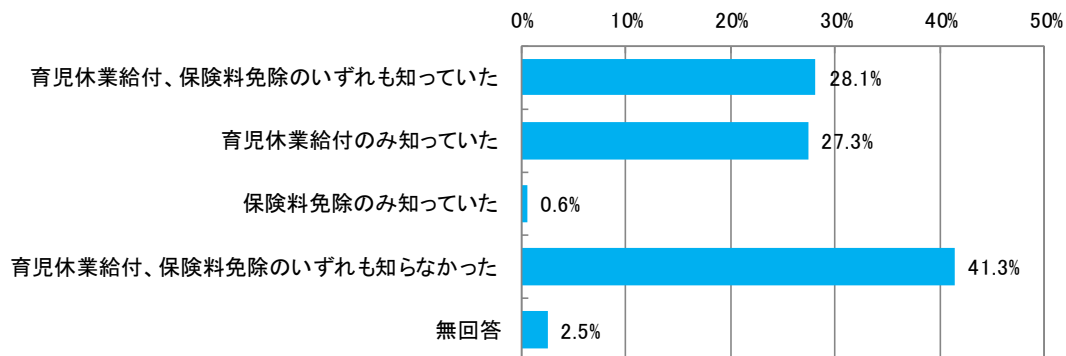
■育児休業を取得していない理由



項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	14	16.3%	150	26.6%
仕事が忙しかった	10	11.6%	187	33.2%
(産休後に)仕事に早く復帰したかった	2	2.3%	0	0.0%
取得すると仕事に戻るのが難しそうだった	3	3.5%	20	3.6%
昇給・昇格などが遅れそうだった	0	0.0%	24	4.3%
収入減となり、経済的に苦しくなる	3	3.5%	132	23.4%
保育所(園)などに預けることができた	2	2.3%	7	1.2%
配偶者が育児休業制度を利用した	0	0.0%	99	17.6%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	4	4.7%	199	35.3%
子育てや家事に専念するため退職した	43	50.0%	5	0.9%
職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	20	23.3%	58	10.3%
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	3	3.5%	1	0.2%
育児休業を取得できることを知らなかった	2	2.3%	14	2.5%
産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	7	8.1%	0	0.0%
その他	7	8.1%	37	6.6%
無回答	4	4.7%	37	6.6%
回答者数	86		563	
非該当	543		66	

問 20-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

育児休業給付が支給される仕組み、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みの認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が41.3%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が28.1%、「育児休業給付のみ知っていた」が27.3%、「保険料免除のみ知っていた」が0.6%、「無回答」が2.5%となっています。



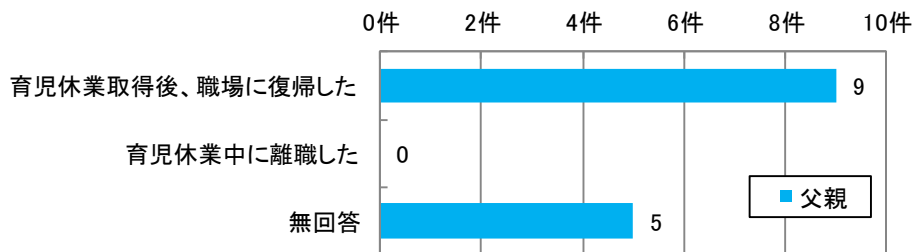
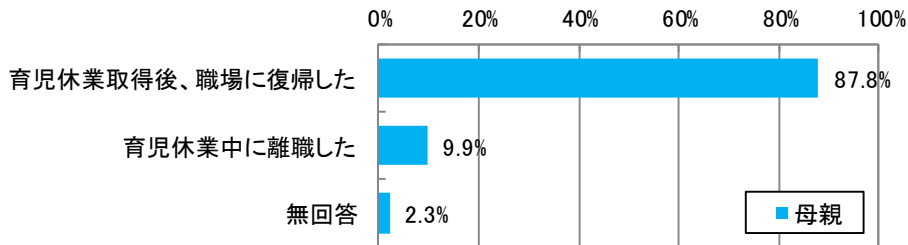
項目	度数	構成比
育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	177	28.1%
育児休業給付のみ知っていた	172	27.3%
保険料免除のみ知っていた	4	0.6%
育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった	260	41.3%
無回答	16	2.5%
回答者数	629	100.0%

Ⅲ 5歳以上児童調査

問 20-2 問 20 で「2.取得した」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。どちらか1つに○をつけてください。

(1)母親 (2)父親

育児休業取得後の職場への復帰状況は、「母親」「父親」ともに、「育児休業取得後、職場に復帰した（母親：87.8%、父親：9件）」の回答が高くなっています。

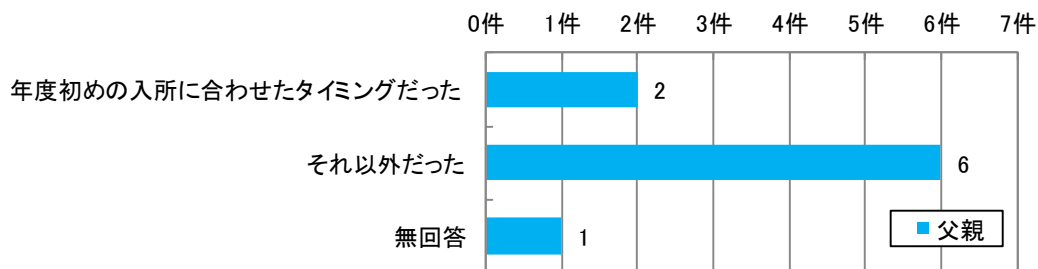
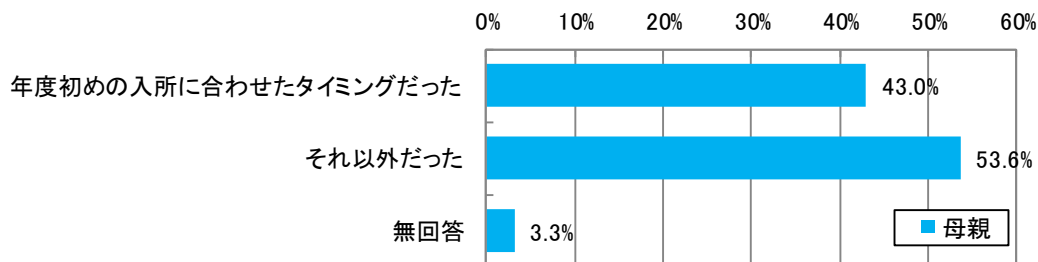


項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
育児休業取得後、職場に復帰した	151	87.8%	9	64.3%
育児休業中に離職した	17	9.9%	0	0.0%
無回答	4	2.3%	5	35.7%
回答者数	172		14	
非該当	457		615	

問 20-3 問 20-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。【注】年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親 (2) 父親

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングだったかについては、「母親」「父親」とともに、「それ以外だった（母親：53.6%、父親：6件）」の回答が高くなっています。

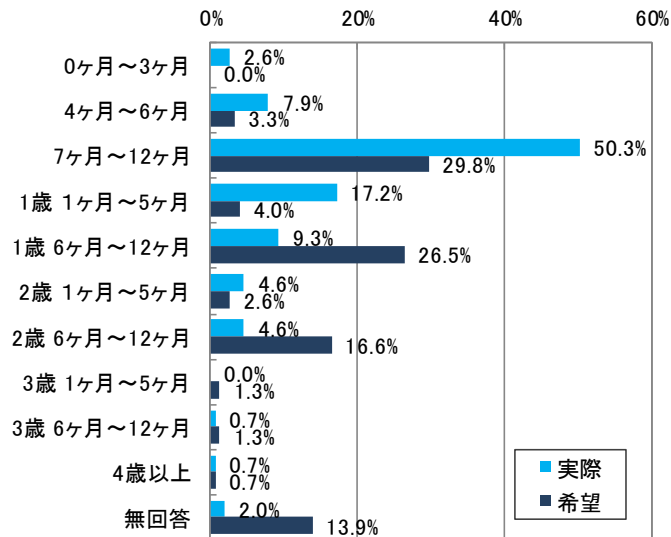


項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	65	43.0%	2	22.2%
それ以外だった	81	53.6%	6	66.7%
無回答	5	3.3%	1	11.1%
回答者数	151		9	
非該当	478		620	

問 20-4 問 20-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、
 お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。
 □内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親

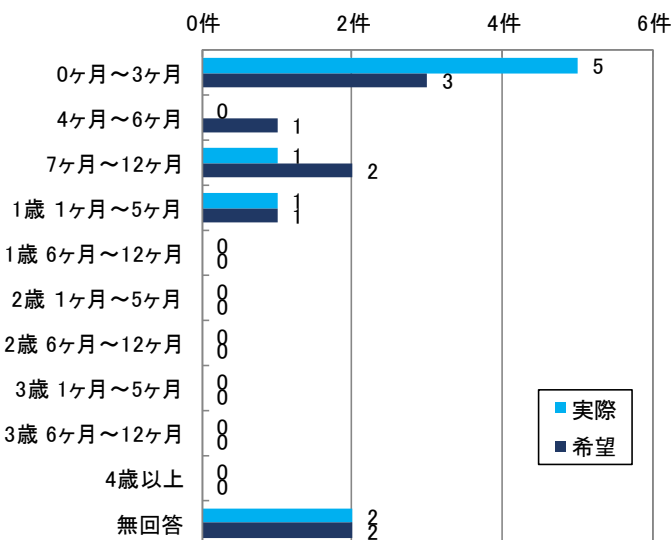
育児休業からの職場復帰時期（子どもの年齢）は、「実際」では「7ヶ月～12ヶ月」の割合が50.3%、「希望」でも「7ヶ月～12ヶ月」の割合が29.8%と、それぞれ最も高くなっています。



項目	実際		希望	
	度数	構成比	度数	構成比
0ヶ月～3ヶ月	4	2.6%	0	0.0%
4ヶ月～6ヶ月	12	7.9%	5	3.3%
7ヶ月～12ヶ月	76	50.3%	45	29.8%
1歳 1ヶ月～5ヶ月	26	17.2%	6	4.0%
1歳 6ヶ月～12ヶ月	14	9.3%	40	26.5%
2歳 1ヶ月～5ヶ月	7	4.6%	4	2.6%
2歳 6ヶ月～12ヶ月	7	4.6%	25	16.6%
3歳 1ヶ月～5ヶ月	0	0.0%	2	1.3%
3歳 6ヶ月～12ヶ月	1	0.7%	2	1.3%
4歳以上	1	0.7%	1	0.7%
無回答	3	2.0%	21	13.9%
回答者数	151		151	
非該当	478		478	

(2) 父親

育児休業からの職場復帰時期（子どもの年齢）は、「実際」では「0ヶ月～3ヶ月」の回答が5件、「希望」でも「0ヶ月～3ヶ月」の回答が3件となっています。

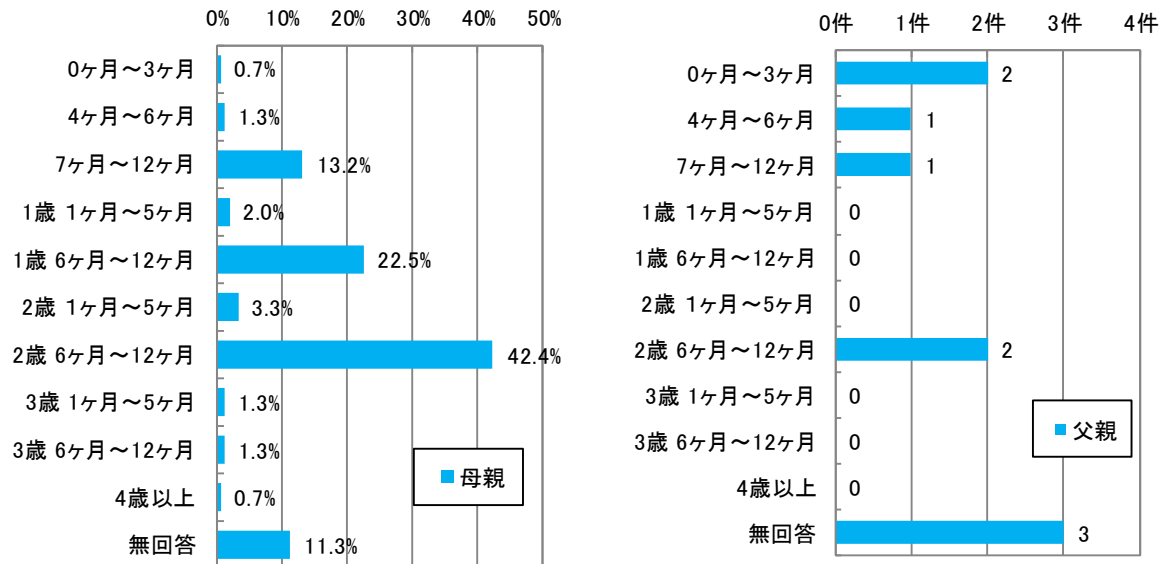


項目	実際		希望	
	度数	構成比	度数	構成比
0ヶ月～3ヶ月	5	55.6%	3	33.3%
4ヶ月～6ヶ月	0	0.0%	1	11.1%
7ヶ月～12ヶ月	1	11.1%	2	22.2%
1歳 1ヶ月～5ヶ月	1	11.1%	1	11.1%
1歳 6ヶ月～12ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
2歳 1ヶ月～5ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
2歳 6ヶ月～12ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
3歳 1ヶ月～5ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
3歳 6ヶ月～12ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
4歳以上	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	22.2%	2	22.2%
回答者数	9		9	
非該当	620		620	

問 20-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。口内で数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1)母親 (2)父親

育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の職場復帰の希望時期（子どもの年齢）は、「母親」では「2歳6ヶ月～12ヶ月」の割合が42.4%で最も高くなっています。「父親」では「0ヶ月～3ヶ月」「2歳6ヶ月～12ヶ月」の回答がいずれも2件となっています。



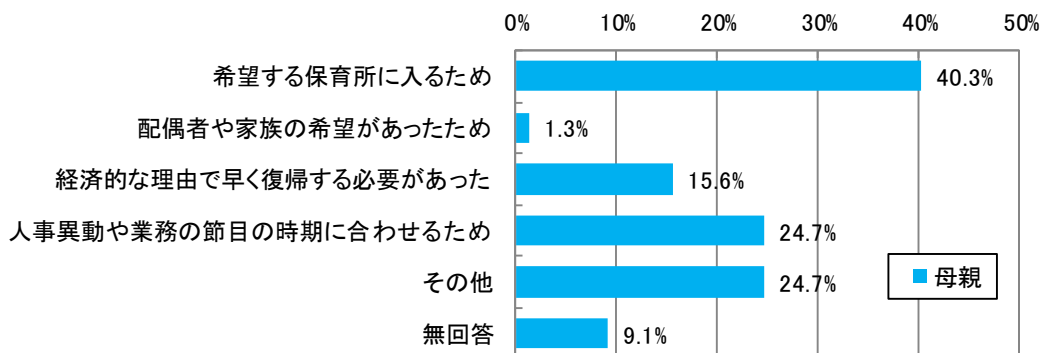
項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
0ヶ月～3ヶ月	1	0.7%	2	22.2%
4ヶ月～6ヶ月	2	1.3%	1	11.1%
7ヶ月～12ヶ月	20	13.2%	1	11.1%
1歳 1ヶ月～5ヶ月	3	2.0%	0	0.0%
1歳 6ヶ月～12ヶ月	34	22.5%	0	0.0%
2歳 1ヶ月～5ヶ月	5	3.3%	0	0.0%
2歳 6ヶ月～12ヶ月	64	42.4%	2	22.2%
3歳 1ヶ月～5ヶ月	2	1.3%	0	0.0%
3歳 6ヶ月～12ヶ月	2	1.3%	0	0.0%
4歳以上	1	0.7%	0	0.0%
無回答	17	11.3%	3	33.3%
回答者数	151		9	
非該当	478		620	

問 20-6 問 20-4 で実際の復帰と希望が異なる方について、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方(※当てはまる番号すべてに○をつけてください。)

①母親 ②父親

希望より早く復帰した保護者のうち、希望の時期に職場復帰しなかった理由は、「母親」では、「希望する保育所に入るため(40.3%)」の割合が高く、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため(24.7%)」の割合も高くなっています。「父親」では、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」の回答が3件となっています。

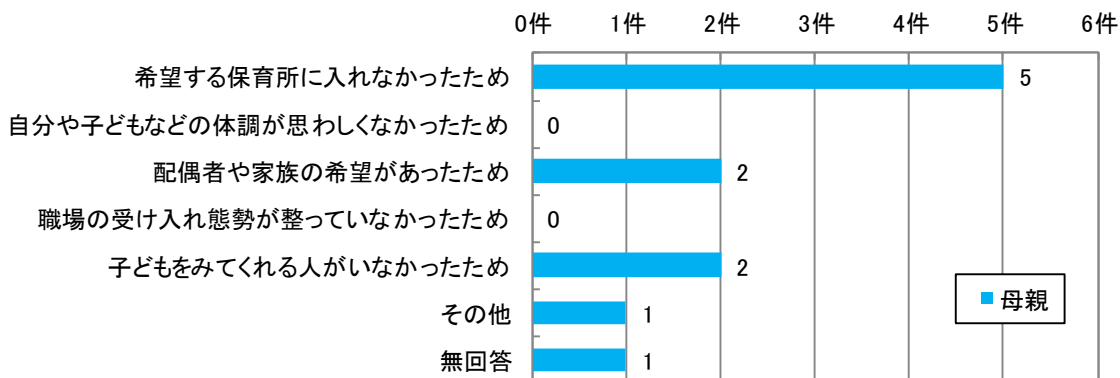


項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
希望する保育所に入るため	31	40.3%	0	0.0%
配偶者や家族の希望があったため	1	1.3%	1	25.0%
経済的な理由で早く復帰する必要があるため	12	15.6%	3	75.0%
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	19	24.7%	0	0.0%
その他	19	24.7%	1	25.0%
無回答	7	9.1%	1	25.0%
回答者数	77		4	
非該当	552		625	

(2)「希望」より遅く復帰した方(※当てはまる番号すべてに○をつけてください。)

①母親 ②父親

希望より遅く復帰した保護者のうち、希望の時期に職場復帰しなかった理由は、「母親」では、「希望する保育所に入れなかったため」の回答が5件となっています。(※父親の回答はなし)

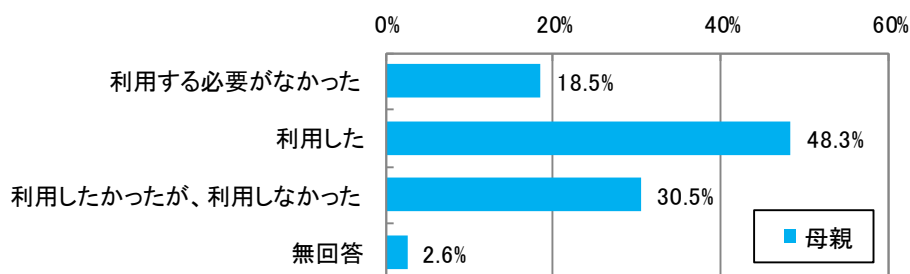


項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
希望する保育所に入れなかったため	5	55.6%	0	—
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	0	0.0%	0	—
配偶者や家族の希望があったため	2	22.2%	0	—
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	0	0.0%	0	—
子どもをみてくれる人がいなかったため	2	22.2%	0	—
その他	1	11.1%	0	—
無回答	1	11.1%	0	—
回答者数	9		0	
非該当	620		629	

問 20-7 問 20-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号
 1つに○をつけてください。

(1)母親 (2)父親

育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況は、「母親」では「利用した」の割合が48.3%に対し、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が30.5%と、利用した割合が上回っています。「父親」では、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の回答が4件、「利用する必要がなかった」の回答が2件となっています。



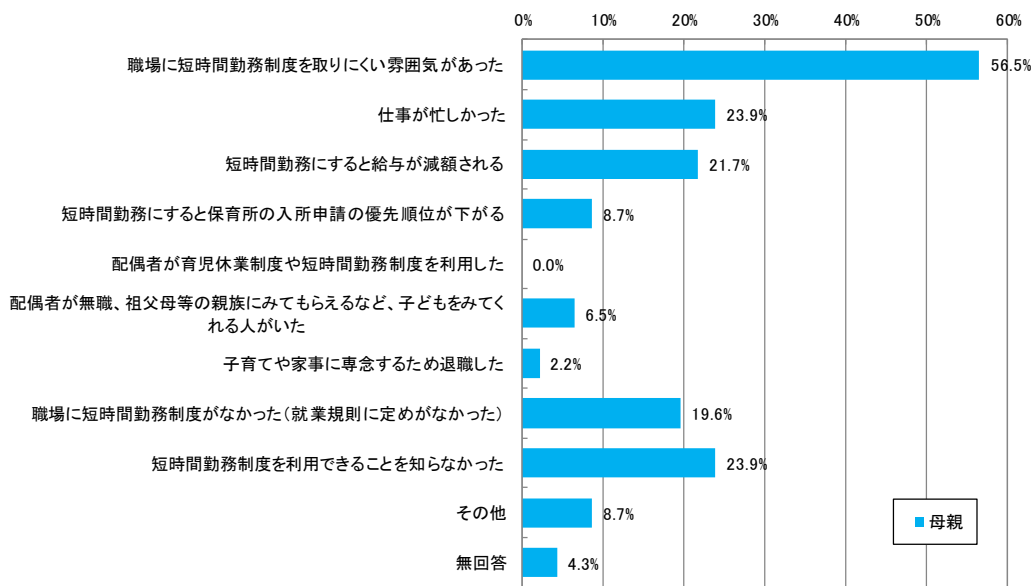
項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	28	18.5%	2	22.2%
利用した	73	48.3%	0	0.0%
利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)	46	30.5%	4	44.4%
無回答	4	2.6%	3	33.3%
回答者数	151		9	
非該当	478		620	

問 20-8 問 20-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由のすべてに○をつけてください。

(1) 母親 (2) 父親

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は、「母親」では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 56.5%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」、「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」がそれぞれ 23.9%となっています。

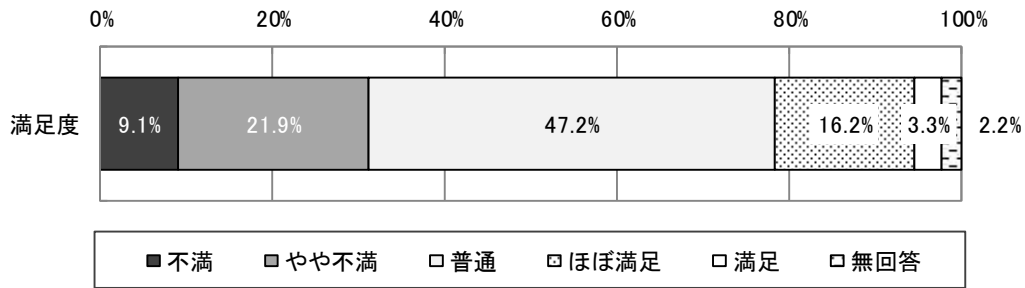
また、「父親」では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」、「短時間勤務にすると給与が減額される」の回答がそれぞれ3件となっています。



項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	26	56.5%	3	75.0%
仕事が忙しかった	11	23.9%	3	75.0%
短時間勤務にすると給与が減額される	10	21.7%	3	75.0%
短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	4	8.7%	0	0.0%
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	0	0.0%	1	25.0%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	3	6.5%	0	0.0%
子育てや家事に専念するため退職した	1	2.2%	0	0.0%
職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	9	19.6%	1	25.0%
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	11	23.9%	0	0.0%
その他	4	8.7%	1	25.0%
無回答	2	4.3%	0	0.0%
回答者数	46		4	
非該当	583		625	

問 21 熊谷市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

住まいの地域における子育て環境や支援への満足度は、「満足（「ほぼ満足」と「満足」の合計）」の割合が19.5%に対し、「不満（「不満」と「やや不満」の合計）」が31.0%と、不満の割合が上回っています。



項目	度数	構成比
不満	57	9.1%
やや不満	138	21.9%
普通	297	47.2%
ほぼ満足	102	16.2%
満足	21	3.3%
無回答	14	2.2%
回答者数	629	100.0%

問 22 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください（例えば、放課後児童クラブ、放課後子供教室、児童館についてなど。）。

※自由記述編を参照ください

熊谷市 子ども・子育て支援事業に関する
ニーズ調査報告書

平成 31 年 1 月

熊谷市 福祉部こども課
〒360-8601 埼玉県熊谷市宮町二丁目 47 番地 1
TEL : 048-524-1111
FAX : 048-521-0520
